SONY ポータブルミニディスクレコーダー MZ-N1

SONY®

3-234-039-**02**(2)

ポータブルミニディスクレコーダー

取扱説明書/Operating Instructions

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

WALKMAN

“WALKMAN”は、ソニー株式会社の登録商標です。

MZ-N1

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

6〜9ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターやUSBクレードルなどが破損しているのに気づいたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

➡

❶ 電源を切る

❷ ACパワーアダプターをコンセントから抜く/パソコンからUSBケーブルを抜く

❸ テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

強制

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

付属のソフトウェアについて

□ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
□ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
□ 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
□ 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
□ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
□ 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。

- OpenMGおよびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- “WALKMAN”はソニー株式会社の登録商標です。
- 本機はドルビー・ラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

この取扱説明書では、ポータブルミニディスクレコーダー本体の操作について説明しています。付属のOpenMG Jukeboxソフトウェアについては別冊の「OpenMG Jukebox取扱説明書」をご覧ください。

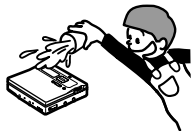
目次

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜き、パソコンからUSBケーブルを外して、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

国内専用機は海外で使用しない

ワールドモデル以外のACアダプターは、日本国内専用です。
交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

指定以外のUSBクレードル、ACパワーアダプター、カーバッテリーコードなどを使わない

破裂・液漏れや過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACパワーアダプターやUSBクレードルをさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

本体やACパワーアダプター、USBクレードルを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

禁止

通電中のACパワーアダプターやUSBクレードル、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

禁止

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池
ニカド
(Ni-Cd)
ニッケル水素
(Ni-MH)
リチウムイオン
(Li-ion)

乾電池
アルカリ
マンガン

ボタン型電池
アルカリ、リチウムなど

⚠危険 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 指定されたUSBクレードル、ACパワーアダプター以外で充電しない。
- 充電式電池用キャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯・保管する。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 指定された種類以外の充電式電池は使用しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。

⚠警告 乾電池・ボタン型電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池を使用しない。
- 液漏れした電池は使わない。

アルカリ電池の液が漏れたときは

素手で液を触らない

- アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときはすぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

⚠注意 全ての電池について

- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

こんなことができます

本機は、パソコンと接続して編集したり、パソコン内に取り込んだ音楽データをミニディスクに転送して、手軽に持ち運んで楽しめるポータブルミニディスクレコーダーです。

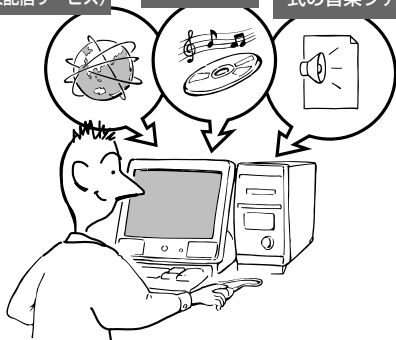
1 パソコンに音楽を保存*

EMDサービス（音楽配信サービス）

音楽CD

MP3、WAV、Windows Media形式の音楽ファイル

最新の音楽をダウンロード！

お気に入りの音楽を保存！

2 ミニディスクレコーダーに転送

音楽データをチェックアウト!

USBケーブルで接続

3 音楽を持ち出して聞こう！

* SDMI (Secure Digital Music Initiative) の規格に準拠した著作権保護技術「OpenMG（オープンエムジー）」の搭載により、著作権者の意思に沿った音楽データの記録、再生が可能です。

- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償についてはご容赦ください。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
  （お問い合わせ先　（社）私的録音補償金管理協会　Tel.03-5353-0336）

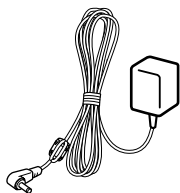
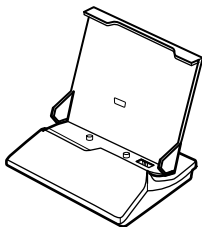
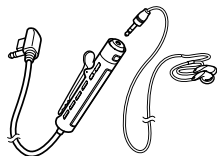
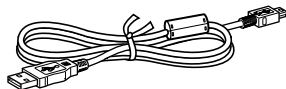
使用上のご注意

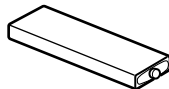
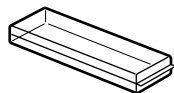
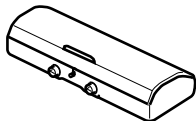
以下の場合、正常に録音されなかったり、録音した音楽データが失われることがあります。

— 読み込み中や書き込み中にディスクを抜いたり、USBクレードルから本体を外したり、USBケーブルを抜いた場合。

— 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合。

付属品を確かめる

●ACパワーアダプター

●USBクレードル

●リモコン付きヘッドホン（カナ・漢字表示対応）

●USBケーブル

●キャリングポーチ

●充電式ニッケル水素電池 NH-14WM(A)

●充電池ケース（Battery carrying case）

●乾電池ケース（DC INジャックなし）

●MZ-N1 取扱説明書
●CD-ROM*
●OpenMG Jukebox 取扱説明書
●MD知っ得Q&A（2）
●保証書
●ソニーご相談窓口のご案内
●カスタマー登録のお願い
●カスタマー登録はがき

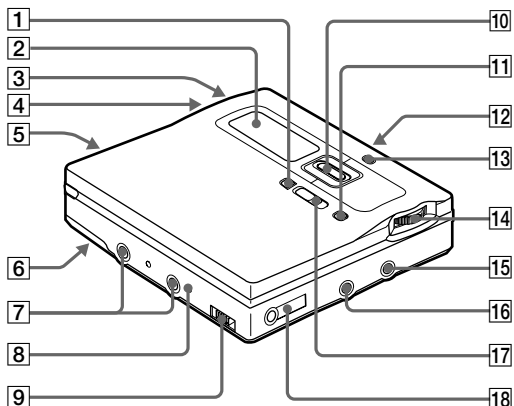
＊ CD-ROMは音楽CDプレーヤーで再生しないでください。

安全のために

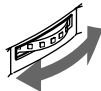
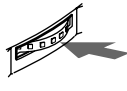
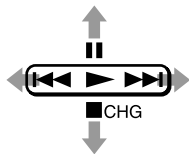
⚠危険

- USBクレードルにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かないでください。USBクレードルの端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。
- 付属の充電式電池を持ち運ぶときは、必ず付属の充電池ケースに入れてください。ケースに入れずにコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、電池の+と−がショートし、発熱することがあります。
- 乾電池や乾電池ケース、本体はコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。乾電池の+と−、または乾電池ケースの端子と本体の乾電池ケース用の端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

各部のなまえ

本体

1 END SEARCHボタン
2 表示窓
3 VOLUME＋*/－ボタン
4 電池入れ
5 T MARKボタン
6 HOLDスイッチ（裏面）
7 乾電池ケース取り付け端子
8 DC IN 3Vジャック
9 USBクレードル接続用ジャック
10 集中コントロールキー

操作	意味
►*を押す	再生／決定
◄◄を押す	早戻し
►►を押す	早送り
■CHG側に倒す	停止
❚❚側に倒す	一時停止

11 GROUP/CANCELボタン
12 OPENつまみ
13 充電ランプ
14 ジョグダイヤル
(MENU（メニュー）/ENTER（決定））

回して選択

押して決定

15 LINE IN (OPT)ジャック
16 MIC (PLUG IN POWER)ジャック*
17 RECつまみ
18 ♫/LINE OUTジャック

* 凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

表示窓（本体）

1 文字情報表示部
ディスク名や曲名、日付、エラー表示、曲番などが文字で表示されます。

2 グループ表示

3 ディスク表示
録音、再生、編集のとき、ディスクが回転していることを示します。

4 録音表示
録音時に表示されます。録音一時停止のときは点滅します。

5 シンクロ録音表示

6 再生モード表示
シャッフル再生、プログラム再生、リピート再生などの再生状態を表示します。

7 レベル表示

8 LP2ステレオ/LP4ステレオ、モノラル表示

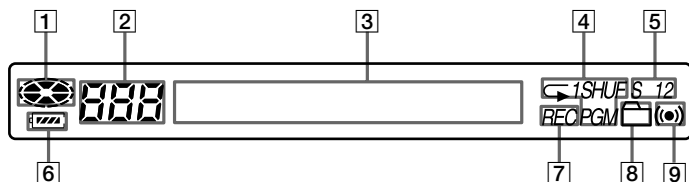
9 サウンド表示
デジタルサウンドプリセットが選ばれていることを示します。

10 電池残量表示
充電池や乾電池の残量の目安を表示します。

11 メロディータイマー表示

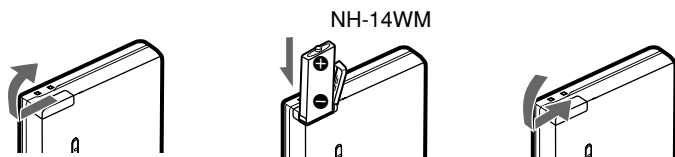
リモコン

1 DISPLAYボタン
2 PLAY MODEボタン
3 REP/ENT（repeat（リピート）/ enter（決定））ボタン
4 SOUNDボタン
5 ❚❚（一時停止）ボタン
6 ■（停止）ボタン
機能によっては決定ボタンとしても働きます。
7 クリップ
8 回転つまみ（⏮/▶⏭）
▶⏭：再生、早送り、頭出し
⏮：早戻し、頭出し
回す／回してそのままにして、再生、頭出し、早送り、早戻しをします。
再生音を聞かずに高速で早送りや早戻しもできます。
9 回転つまみ（VOL（音量）+/–）
引いて回すと音量を調節できます。
10 表示窓
11 HOLDスイッチ

表示窓（リモコン）

1 ディスク表示
2 曲番表示部
3 文字情報表示部
4 再生状態表示
5 サウンド表示
6 電池残量表示
7 録音表示
8 グループ表示
9 メロディータイマー表示

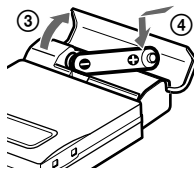
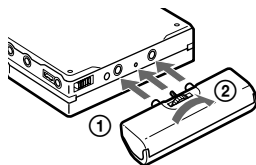
準備する

お買い上げ時には、まず充電式電池を充電してください。ただし、ACパワーアダプターを本体につなげば、充電しなくても使用できます。

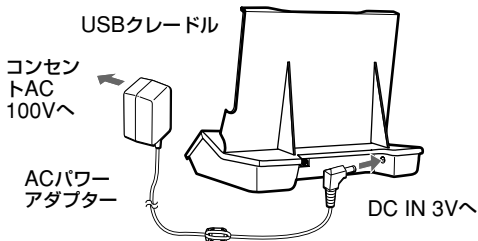
充電式電池を入れる

⊖側を奥にして入れてください。

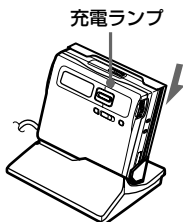
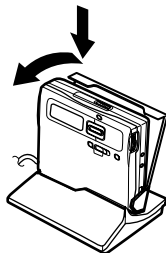
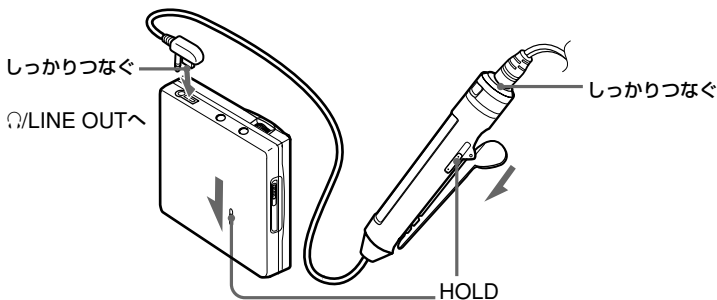
アルカリ乾電池で使うときは

乾電池ケースを本体に取り付ける

図のように必ず⊖側から入れる

ソニーアルカリ乾電池(単3形)を1本入れます。
充電式電池と一緒に使うと長時間使用できます。

2 充電式電池を充電する

① **USBクレードルとACパワーアダプターをつなぎ、コンセントにつなぐ**

② **本体をUSBクレードルにのせる。**
押しながら後ろに倒し、はめ込みます。

③ **充電ランプが点灯したことを確認する。**
約3時間半で充電が完了し、充電ランプが消えます。

④ **本体を押し下げてから手前に倒すようにして、USBクレードルからはずす。**

3 リモコンをつなぎ、ホールドを解除する

ACパワーアダプターを直接つないで充電することもできます。
本体のDC IN 3VジャックにACパワーアダプターをつなぎ、停止中に集中コントロールキーを■CHG側に倒します。充電ランプが点灯し充電が始まります。放電しきった状態から充電が完了するまで約3時間半かかります。▭表示が消えて、充電ランプが消えたら充電完了です。充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。

ご注意

- 付属のUSBクレードルは本機専用です。他機の充電はできません。
- 付属のUSBクレードルでは、付属または指定の電池（NH-14WM）以外は充電しないでください。
- 充電中は本体やUSBクレードル、充電式電池が熱くなりますが、危険はありません。
- 充電には必ず付属のACパワーアダプターをお使いください。
- お買い上げ時や長い間使わなかった充電式電池では、持続時間が短いことがあります。これは、電池の特性によるもので、何回か充放電をくり返すと充分充電されるようになります。
- 充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と取り換えてください。
- 長い間お使いにならないときはACパワーアダプターをコンセントから抜き、本体をUSBクレードルからはずしてください。
- 本体の充電ランプは本体をUSBクレードルにおいた時点から約3時間半後に消えます。途中で3分以上はずした場合には、置きなおした時点から約3時間半後に消えます。
- ご使用中「LOW BATT」表示で停止した場合、充電してからご使用ください。充電をしなくても、しばらくはご使用できる場合がありますが、充電式電池を使い切ってしまうと充電できなくなることがあります。充電できなかった場合は、一度充電式電池を取り出してから再度充電をしてください。
- 本体にACパワーアダプターを直接つないで充電する場合は、次の点に注意してください。
  — 充電が終了し、液晶表示（▭）と充電ランプが消えた後すぐに集中コントロールキーを■CHG側に倒すと、再び充電が始まりますが、充電は完了していますので集中コントロールキーを■CHG側に倒して停止させてください。
  — 充電中に他の操作を行うと、充電は解除されます。

電池の持続時間*

録音

使用電池	ステレオ	LP2 ステレオ	LP4 ステレオ
充電式ニッケル水素電池	約12時間	約17時間	約21時間
アルカリ乾電池	約12時間	約19時間	約23時間
充電式ニッケル水素電池＋アルカリ乾電池	約30時間	約43時間	約52時間

再生

使用電池	ステレオ	LP2 ステレオ	LP4 ステレオ
充電式ニッケル水素電池	約30時間	約38時間	約42時間
アルカリ乾電池	約44時間	約52時間	約62時間
充電式ニッケル水素電池＋アルカリ乾電池	約79時間	約95時間	約110時間

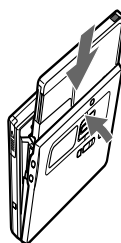
＊ 詳しくは72ページをご覧ください。

録音する（シンクロ録音）

光デジタルケーブルを使って、CDプレーヤーやBSチューナーなどとつないでデジタル録音する方法を説明します（「デジタル録音の制限について」（92ページ）もあわせてご覧ください）。シンクロ録音すると、再生側の機器に合わせて録音を始めたり止めたりします。再生側と同じ位置に頭出しマーク（曲番）がつきます。
録音の際は、ACパワーアダプターを家庭用電源（コンセント）につないでご使用になることをおすすめします。

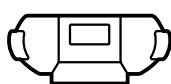
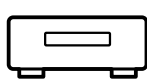
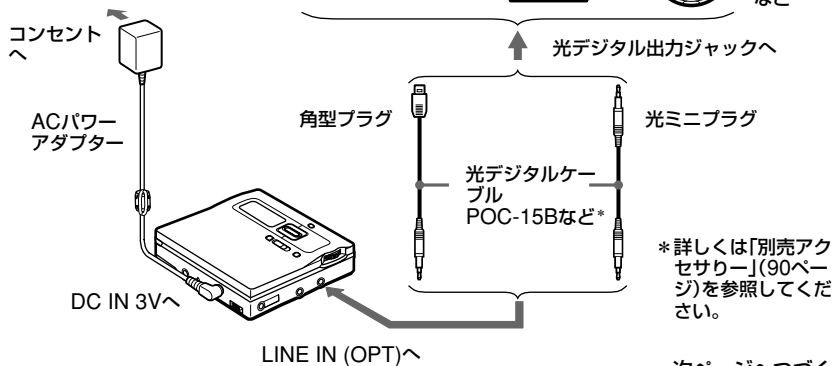
カセットデッキやラジオなどとつないで録音する場合→「アナログで録音する」（28ページ）
グループ機能を使って録音する場合→「「グループ機能」を使って録音する」（30ページ）

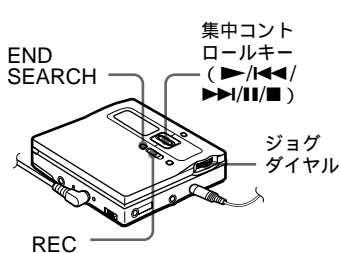
1 ミニディスクを入れる

① OPENつまみをずらす。
ふたが開きます。

誤消去防止つまみが閉じていることを確認

② ディスクのラベル面をふた側にして矢印の向きに奥まで押し入れ、ふたを閉める。

2 つなぐ（奥までしっかりと差し込んでください。）

＊詳しくは「別売アクセサリー」（90ページ）を参照してください。

次ページへつづく

3 録音する

① **ジョグダイヤルを押す。**
メニューが表示されます。

② **ジョグダイヤルを回して「SYNC REC」を点滅させ、押して決定する。**

③ **ジョグダイヤルを回して「SYNC ON」を点滅させ、押して決定する。**
「SYNC」が表示されます。

④ **停止中にRECつまみの中央のボタンを押しながら、右にずらす。**
「REC」表示とRECつまみ中央部のREC LEDが点灯し、録音が始まります。

⑤ **録音したいCDなどを再生する。**
再生側で音が出ると、自動的に本機で録音が始まります。

止めるには、■側に倒す。
停止してから、電池使用時では約10秒後、ACパワーアダプター使用時では約3分後に、自動的に電源が切れます。

シンクロ録音を解除するには
手順③で「SYNC OFF」を点滅させ、ジョグダイヤルを押します。

ご注意

すでに録音済みのディスクに録音をすると、ディスクの内容が上書きされます（お買い上げ時の設定）。録音済み部分の後ろから録音したい場合は、手順3の「録音する」の前に「上書きをせずに録音する」（32ページ）の設定を行ってください。

こんなときは	操作
録音済み部分の後ろに新しく録音する	録音開始位置（「REC-Posi」）の設定が「From Here」になっている場合は、END SEARCHを押し、RECつまみの中央のボタンを押しながら右にずらす。[1] 録音開始位置（「REC-Posi」）の設定が「From End」になっている場合は、RECつまみの中央のボタンを押しながら右にずらす。
録音した内容の途中から続けて上書き録音する[1]	►を押す、またはI◄◄／►►Iを押して録音を始めたい位置を探し、■側に倒す。次に、RECつまみを右にずらす。
一時停止する	II 側に倒す。[2] もう一度押すと解除されます。
ディスクを取り出す	■側に倒してから、本体のOPENつまみをずらしてふたを開ける。[3] (「TOC Edit」の表示が消えるまでふたは開きません。)

1) 録音開始位置（「REC-Posi」）の設定が「From End」になっているときは、END SEARCHボタンを押さなくても常に録音済み部分の後ろから新しく録音を始めます（32ページ）。

2) 一時停止したところで曲番（頭出しマーク）が1つ増え、そこから次の曲として記録されます。

3) ふたを開けると、次の録音はディスクの最初から始まります（録音開始位置（「REC-Posi」）の設定が「From Here」になっているとき）。

録音が始められないときは

- ホールド（誤動作防止）スイッチを確認してください。（17、71ページ）。
- ディスクの誤消去防止つまみを確認してください。（92ページ）。
- 再生専用のミニディスクは録音できません。

録音状態を確認する

REC LEDが点灯または点滅して、録音の状態をお知らせします。

録音の状態	表示
録音中	点灯 マイク録音中は音の強弱に合わせて点滅（ボイスミラー）
録音一時停止	点滅
録音中ディスクが残り3分以下のとき	ゆっくり点滅
頭出しマーク(曲番)が追加されたとき	一瞬 消灯
チェックアウト時	速く点滅

ATRAC用DSP TYPE-Rとは？

MDサウンドの心臓部DSP (Digital Signal Processor) に、ソニーのハイスペックMDデッキなどに搭載されている「TYPE-R」を採用。信号処理能力が従来比約2倍にアップし、MDデッキに迫る高音質を実現しています。本機能は、通常のステレオ録音での録音、再生時にのみ働きます。MDLPモード（29ページ）時は「TYPE-R」での処理は行われません。また、OpenMG Jukeboxからステレオでチェックアウトした場合も、「TYPE-R」での処理は行われません。

ご注意

- シンクロ録音中は、手動で一時停止および一時停止を解除することはできません。録音をやめるには集中コントロールキーを■側に倒します。
- 録音中は、「SYNC REC」の設定を切り換えないでください。正しく録音されないことがあります。
- シンクロ録音中に録音もとで無音（91ページ）状態が続いても、録音もとの雑音が原因で、自動的に録音一時停止にならない場合があります。
- CDやMD以外からのシンクロ録音中に、録音もとの同一曲内で約2秒の無音（91ページ）が続くと、再び音が出たところで頭出しマーク（曲番）が1つ増えます。
- MIC（PLUG IN POWER）ジャックを使用したり、光デジタルケーブル以外のケーブルを使用した場合は、シンクロ録音できません。
- 録音中は、録音モード（29ページ）を切り換えることはできません。
- 「Data Save」「TOC Edit」表示の点滅中は、録音した情報（曲の開始・終了位置など）を ディスクに記録しています。衝撃を与えたり、電源を抜いたりすると、それまで録音した内容が記録されません。
- 録音終了後、「TOC Edit」の表示が消えるまでふたは開きません。
- 録音中や編集中、また、その後集中コントロールキーを■側に倒してから「TOC Edit」の表示が消えるまえに電池をはずしたり、ACパワーアダプターを抜いたり、電池が消耗したときは、次に電源を入れるまでふたは開きません。
- 光（オプティカル）タイプ以外のデジタル出力につなぐことはできません。
- ポータブルCDプレーヤーから録音するときは、CDプレーヤーを一時停止にしてから録音の操作をしてください。デジタル録音中は、音源のCDやMDと同じ曲番が自動的につきます。

- ポータブルCDプレーヤーから録音するときは
  - ACパワーアダプターを接続していないと、光出力ができないポータブルCDプレーヤーもあります。その場合は、ポータブルCDプレーヤーにACパワーアダプターをつなぎ、家庭用電源でお使いください。
  - 音飛びガード機能（ESPやG-PROTECTIONなど）がONになっていると、光出力ができないポータブルCDプレーヤーもあります。その場合は、音飛びガード機能をOFFにしてください。

- シンクロ録音中に録音もとで約3秒の無音（91ページ）が続くと、本機は自動的に録音一時停止になります。再び音を検知すると、シンクロ録音に戻ります。録音一時停止状態が5分以上続くと、自動的に録音が止まります。
- 長時間録音する場合は、「長時間録音する」（29ページ）の手順1、2を行ってから、シンクロ録音の手順を行ってください。
- 本機のLINE IN (OPT)ジャックはデジタル・アナログ両用です。つなぐケーブルの種類により、光デジタル入力またはアナログ入力（LINE IN）に自動的に切り変わります。
- 録音される音の大きさは自動的に調節されます。音の大きさを変えたいときは、「手動で録音レベルを調節する」（34ページ）をご覧ください。
- 録音中に音を聞くことができます。
  ◠/LINE OUTジャックにリモコン付きヘッドホンをつなぎます。聞こえる音の大きさはVOLUME＋/－ボタンで調節できます。ただし、録音される音の大きさは影響されません。

基本的な使いかた

パソコンからミニディスクに音楽を転送する（チェックアウト）

1 付属のOpenMG Jukeboxソフトウェアをパソコンにインストールする

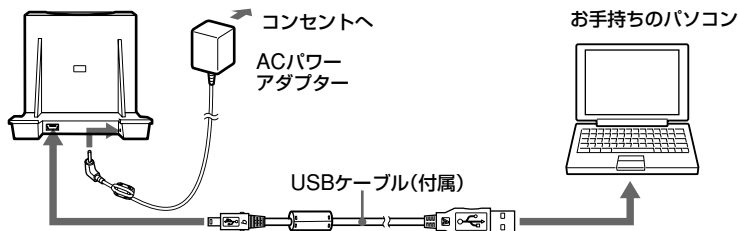
操作の方法は別冊の「OpenMG Jukebox取扱説明書」をご覧ください。

ご注意

本機を初めてパソコンに接続するときは、接続前に必ず付属のCD-ROMを使用して「OpenMG Jukeboxソフトウェア」と「Net MD用のドライバ」をインストールしてください。すでにOpenMG Jukeboxソフトウェアがインストールされている場合も、必ずNet MD用のドライバをインストールしてから本機をパソコンに接続してください。インストールせずに本機をパソコンに接続しても、正しく動作しません。

2 つなぐ

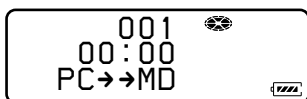
操作の方法は別冊の「OpenMG Jukebox取扱説明書」をご覧ください。

①本体にミニディスクを入れる。
②充電された充電式電池を入れる。
③ACパワーアダプターをUSBクレードルにつなぐ。
④USBクレードルとお手持ちのパソコンをUSBケーブルでつなぐ。
⑤停止状態の本体をホールドを解除してUSBクレードルに装着する。

ご注意

- USBクレードルには必ずACパワーアダプターを接続し、コンセントにつないでください。
- 本機はUSB 2.0 Full Speed（従来のUSB 1.1）をサポートしています。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず、付属のUSBケーブルのみで接続してください。
- パソコンには1台のNet MDのみ接続してください。2台以上接続した場合の動作保証はいたしかねます。

次ページへつづく

3 OpenMG Jukeboxに音楽データを取り込む

操作の方法は別冊の「OpenMG Jukebox取扱説明書」をご覧ください。

パソコンにつないでいるときは、本体の表示窓に「PC→→MD」と表示されます。

4 音楽データをミニディスクに転送する（チェックアウト）

操作の方法は別冊の「OpenMG Jukebox取扱説明書」をご覧ください。

ご注意

- パソコンと接続中は、本体のVOLUME +/–ボタン、およびリモコンのVOLつまみ、SOUNDボタンしか操作できません。
- チェックアウト中は本体に触れたり、電源を抜いたりしないでください。それまで記録した内容が消えてしまいます。
- パソコンと接続して編集を行っているときは、ふたは開きません。

5 本体をUSBクレードルから外す

① 集中コントロールキーを■側に倒す。
「TOC Edit」が表示されたら、表示が消えるまで本体をUSBクレードルから外さないでください。

② 本体を押し下げてから、手前に倒すようにしてUSBクレードルから外す。

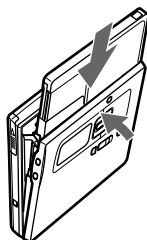
ご注意

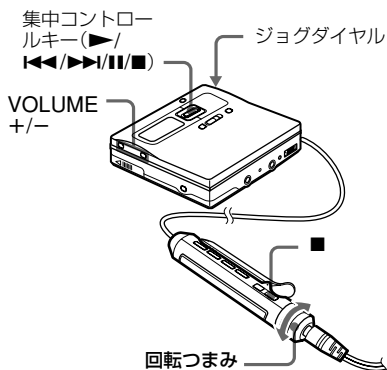
ディスクを交換するときは、本体を停止させてから、USBクレードルから外して交換してください。このとき、充電式電池が入っていないと、編集内容が正しく反映されなかったり、ディスクが取りだせないことがありますので、必ず充電式電池を入れておいてください。

再生する

1 ミニディスクを入れる

録音済みのディスクを入れます。

① OPENつまみをずらす。
ふたが開きます。

② ディスクのラベル面をふた側にして矢印の向きに奥まで押し入れ、ふたを閉める。

2 聞く

① **►を押す。**
リモコンでは回転つまみを►►►I側に回す。
操作すると「ピ」と確認音がします。

② **VOLUME＋/－を押して、音量を調節する。**
リモコンでは回転つまみを引いた状態で、VOL ＋/－側に回して、音量を調節する。
表示窓で音量を確認できます。回転つまみは音量調節後、もとに戻します。

止めるには、■側に倒す。
操作すると「ピー」と確認音がします。
停止してから、電池使用時では約10秒後、ACパワーアダプター使用時では約3分後に、自動的に電源が切れます。

次に再生するときは、止めたところの続きから始まります。ディスクの1曲めから再生を始めたいときは、本体では►を2秒以上押したままにするか、リモコンでは回転つまみを►►►I側に2秒以上回したままにして再生を始めてください。

次ページへつづく

こんなときは	本体操作	リモコン操作
曲番や曲名を直接選ぶ	ジョグダイヤルを回して聞きたい曲を表示させ、押す。	—
今聞いている曲、またはさらに前の曲を頭出しする[1]	⏮を押す。またはさらに戻したい曲数だけ⏮を押す。	回転つまみを⏮側に回す。またはさらに戻したい曲数だけ⏮側に回す。
次の曲を頭出しする[2]	⏭を押す。	回転つまみを▶⏭側に回す。
再生しながら早戻しする	⏮を押したままにする。	回転つまみを⏮側に回したままにする。
再生しながら早送りする	⏭を押したままにする。	回転つまみを▶⏭側に回したままにする。
一時停止する	⏸側に倒す。もう一度倒すと解除されます。	⏸を押す。もう一度押すと解除されます。
ディスクを取り出す	■側に倒してからOPENつまみをずらしてふたを開ける[3]。	■を押してから本体のOPENつまみをずらしてふたを開ける[3]。

[1] 1曲目を再生中に⏮を続けて2回押すと、ディスクの最後の曲になります。

[2] 最後の曲で⏭を押すと、ディスクの1曲目になります。

[3] ふたを開けると、次の再生はディスクの最初から始まります（パーソナルディスクメモリーに登録しているときを除く）。

再生が始められないときは

ホールド（誤操作防止）スイッチを確認してください（17、71ページ）。

音飛びを抑える（G-PROTECTION機能）

G-PROTECTIONはジョギング時の衝撃を想定して開発された音飛びガード機能です。従来の音飛びガード機能よりさらに音飛びに強くなっています。

ご注意

次のような場合、音が飛ぶことがあります。
- 強い衝撃が連続的に与えられた場合
- 傷や汚れのあるディスクを聞いている場合

ヘッドホンを直接本体につないで使うときは

1 ジョグダイヤルを押す。
2 ジョグダイヤルを回して「AUDIO OUT」を点滅させ、押して決定する。
3 ジョグダイヤルを回して「HeadPhone」を点滅させ、押して決定する。

- ステレオ再生／LP2ステレオ再生／LP4ステレオ再生／モノラル再生は自動的に切り換わります。
- グループ内の曲だけを再生するには「「グループ機能」を使う」（38ページ）をご覧ください。
- 音量の設定は、パーソナルディスクメモリーに登録することができます（68ページ）。

デジタル録音とアナログ録音について
（光デジタル入力とアナログ入力）

本機をCDプレーヤーやラジカセなど録音もとの機器とつなぐには、光デジタル入力を使うつなぎかたとアナログ入力(LINE IN)を使うつなぎかたの2つの方法があります。それぞれの録音のしかたは、光デジタル入力を使うときは「録音する」（19ページ）、アナログ入力（LINE IN）を使うときは「アナログで録音する」（28ページ）をご覧ください。

光デジタル入力とアナログ入力の比較

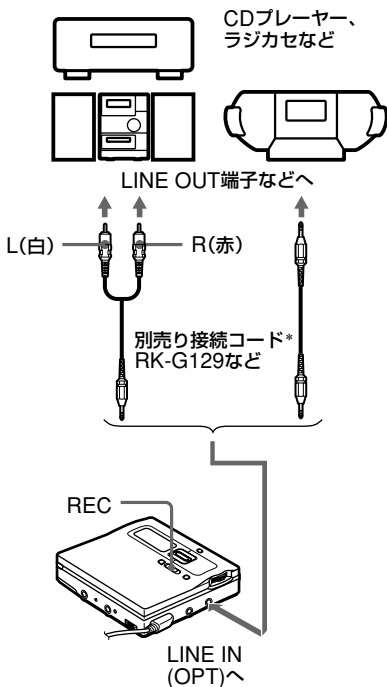
相違点＼入力の種類	光デジタル入力	アナログ入力（LINE IN）
つなぐことができる機器	光デジタル出力ジャックのある機器（CDプレーヤー、DVDプレーヤー、CDラジカセなど）	出力（LINE OUT）ジャックのある機器（カセットデッキ、レコードプレーヤーなど）
使用するコード	光デジタルケーブル（録音もとの機器に角形プラグまたはミニプラグをつなぐ）（19ページ）	接続コード（録音もとの機器にピンプラグまたはステレオミニプラグをつなぐ）（28ページ）
録音もとから送られる信号	デジタル信号	アナログ信号 CDなどデジタル方式のものを録音もととしても、本機にはアナログ信号として送られる。
頭出しマーク（曲番）のつきかた[1]	• 音源がCDやMDの場合、録音もとと同じ場所に自動的につく。 • 音源がCDやMD以外の場合、2秒以上の無音（91ページ）や小さな音が続いた場所につく。 • 録音を一時停止したところで自動的につく。（シンクロ録音中は3秒以上の無音が続いた場合）	• 2秒以上の無音（91ページ）や小さな音が続いた場所につく。 • 録音を一時停止したところで自動的につく。
録音される音の大きさ	録音もとと同じ。 手動でも調節できます（デジタルRECレベルコントロール）（「手動で録音レベルを調節する」34ページ）。	自動調節される。 手動でも調節できます（「手動で録音レベルを調節する」34ページ）。

[1] 不要なマークがついた場合、録音後に消してください(「頭出しマーク(曲番)を消す」62ページ)。

ご注意

次のような場合、録音もとと同じ位置に頭出しマーク（曲番）が記録されないことがあります。
- 一部のCDプレーヤーやマルチディスクプレーヤーから、光デジタル入力で録音する場合
- CDやMDソフトをプログラム演奏などにして光デジタル入力で録音する場合 (このような場合には、録音もとを通常の再生状態にしてミニディスクに録音してください。)
- BS、CS放送の番組を光デジタル入力で録音する場合

アナログで録音する
（アナログ録音）

つないだ機器の出力端子から録音する音はアナログ信号で送られますが、ミニディスクにはデジタル方式で記録されます。
つなぐには別売りの接続コードが必要です。コード類をつなぐときは、奥までしっかりと差し込んでください。

* ポータブルCDプレーヤーなどのステレオミニジャックにつなぐときは、別売りの接続コードRK-G136をお使いください。
接続コードには抵抗の入っていないものをお使いください。詳しくは「別売りアクセサリー」（90ページ）を参照してください。

1 **RECつまみの中央のボタンを押しながら右にずらす。**
「REC」が表示され、本体のREC LEDが点灯し、録音が始まります。

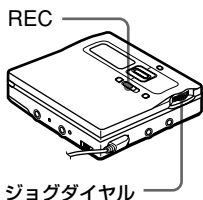
2 **録音したいCDやテープを再生する。**
その他の操作は「録音する（シンクロ録音）」19ページを参照してください。

本機のLINE IN (OPT)ジャックはデジタル・アナログ両用です。
つなぐケーブルの種類により、光デジタル入力またはアナログ入力（LINE IN）に自動的に切り換わります。

ご注意

集中コントロールキーを❚❚側に倒したあと、もう一度倒して一時停止を解除すると、解除したところで曲番が1つ増え、そこから次の曲として記録されます。

長時間録音する（MDLP）

通常のSPステレオ録音に加えて、録音時間を2倍(LP2)または4倍(LP4)長くしてステレオ録音することができます（MDLP録音）。またモノラル録音でも通常のSPステレオ録音よりも2倍長く録音することができます。
本機で長時間録音した内容は、長時間再生に対応していない他の機器では再生できません。

1 **停止中にジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「REC MODE」を点滅させ、押して決定する。**

3 **ジョグダイヤルを回してお好みの録音モードを点滅させ、押して決定する。**

録音モード[1]	本体液晶表示[2]	録音時間[3]
ステレオ録音	SP	約80分
LP2ステレオ録音	LP2	約160分
LP4ステレオ録音	LP4	約320分
モノラル録音[4]	MONO	約160分

[1] より高音質の録音を行いたい場合は、ステレオ録音、LP2ステレオ録音を選んでください。

[2] ジョグダイヤルで選ぶ表示。

[3] 80分ディスク使用時。

[4] ステレオの音源をモノラル録音すると、左右の音がミックスされて録音されます。

4 **RECつまみの中央のボタンを押しながら右にずらす。**

5 **録音もとの機器の再生を始める。**

録音を止めるには

集中コントロールキーを■側に倒します。
次に録音するときまで、録音モードは記憶されています。

曲名の最初に「LP:」をつけないようにする

MDLP録音をすると、曲名の最初に自動的に「LP:」がつき、MDLP録音に対応していない機器でその内容を再生・編集しようとすると「LP:」と表示され、再生・編集できないことが一目でわかるようになります。お買い上げ時は自動的に「LP:」をつけて録音する設定（「Stamp ON」）になっています。

1 **停止中にジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「OPTION」を点滅させ、押して決定する。**

3 **ジョグダイヤルを回して「LP Stamp」を点滅させ、押して決定する。**

4 **ジョグダイヤルを回して、「Stamp OFF」を点滅させ、押して決定する。**

曲名の最初に「LP:」をつけて録音するには、手順4で「Stamp ON」を点滅させ、ジョグダイヤルを押します。

ご注意

パソコンからMDLPでチェックアウトした曲はこの設定に関わらず、全て「LP:」がつきます。消したいときは「名前を変更する」（51ページ）に従って、消してください。

💡

- MDLPまたはMDLPロゴのある機器が「LP2ステレオ」、「LP4ステレオ」に対応しています。
- 「LP:」をつけない設定にすると、制限入力文字数を有効に使うことができます（48ページ）。
- ステレオ録音（またはモノラル録音）をすると、新開発ATRAC用DSP TYPE-R（21ページ）により、高音質で豊かな音質を再現することができます。

ご注意

- 長時間録音するときはACパワーアダプターをDC IN 3Vジャックにつないでお使いになることをおすすめします。
- 光デジタル入力で録音中の音は、録音元がステレオの場合、モノラル録音中でも🎧/LINE OUTジャックからステレオ音声で出力されます。
- LP4ステレオ録音は、通常の4倍の長時間ステレオ録音を実現するために、特殊な圧縮方式を採用しています。そのため、録音元の音源によってはごくまれに瞬間的なノイズが発生することがあります。より高音質の録音を行いたい場合は、ステレオ録音またはLP2ステレオ録音を選んでください。

「グループ機能」を使って録音する

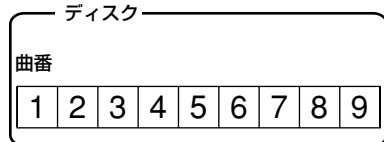
グループ機能とは

1枚のディスクに録音された複数の曲をいくつかのグループにまとめて録音、再生、編集する機能です。

グループモードOFF時

ディスク

曲番

1	2	3	4	5	6	7	8	9

グループモードON時

多数の曲を録音するときに、CDアルバム別やアーティスト別などのグループに分けて録音することができます。
1枚のディスクには約99個のグループを作ることができます。

グループ情報の記録のされかた

グループ機能を使って録音すると、グループ情報は「ディスク名」としてディスク名の記録領域に自動的に記録されます。
具体的には次のような文字列が書き込まれます。

ディスク名の記録領域
例）

0;Favorites//1-5;Rock//6-9;Pops//

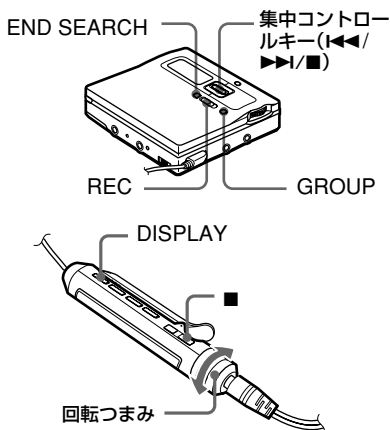
①　②　③

① ディスク名：「Favorites」
② 1曲めから5曲めのグループ名：「Rock」
③ 6曲めから9曲めのグループ名：「Pops」

そのため、グループ機能を使って録音したMDをグループ機能未対応機器で読み込むときや、グループ機能を働かせていないときに本機で編集しようとすると、上の文字列がそのまま「ディスク名」として表示されます。

「名前をつける・変える」の「名前を変更する」（51ページ）の手順を行ってこの文字列を変更することができます。もし、この文字列を誤って書き換えてしまうと、そのMDではグループ機能が使えなくなる場合がありますのでご注意ください。

ご注意

- グループモードON/OFFの設定は、MDを取り出したり本機の電源を切っても記憶されています。
- グループモードがONのとき、ディスク中のグループ設定されていない曲は一時的に1つのグループとしてまとめられ、一番最後のグループとして扱われます。このとき最終グループ名は「Group – –」と表示されます。曲番はグループごとの番号ではなく、ディスクの通し番号で表示されます。
- 1枚のディスク内の曲名、ディスク名の合計が本機の最大入力文字数を超えている場合は、グループ設定はできません。

グループモードをONにする（グループモード録音）

グループ機能を使って録音するには、まずグループモードをONにします。

本体で操作する

1 GROUPを2秒以上押す。
「🗀」と「GROUP ON」が点灯し、グループモードがONになります。もう一度2秒以上押すとOFFになります。

リモコンで操作する

1 DISPLAYを2秒以上押す。

2 **回転つまみを回して「GROUP」を点滅させ、■を押して決定する。**

3 **回転つまみを回して「GROUP ON」を点滅させ、■を押して決定する。**
「🗀」が点灯し、グループモードがONになります。
手順3で「GROUP OFF」を選ぶとグループモードがOFFになります。

グループにして録音する

- 本体でのみ操作できます。
- グループモードをONにしてください。

1 **停止中にEND SEARCHを押す。**

2 **RECつまみの中央のボタンを押しながら右にずらす。**

3 **録音もとの機器の再生を始める。**

録音を止めるには

集中コントロールキーを■側に倒します。
録音を止めると、そこまでが1つのグループとして記録されます。

既存のグループ内に曲を録音する

- 本体でのみ操作できます。
- グループ設定されたディスクを入れてください。
- グループモードをONにしてください。

1 **GROUPを短く押す。**

「🗀」が点滅し、グループを選べる状態になります（グループスキップモード）（39ページ）。

2 **5秒以内に|◀◀または▶▶|を繰り返し押して、録音を追加したいグループを表示させる。**

しばらくすると「🗀」の点滅が点灯に変わります。

3 **RECつまみの中央のボタンを押しながら右にずらす。**

4 **録音もとの機器の再生を始める。**

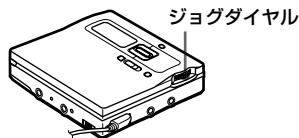
選んだグループの最後に追加されます。

ご注意

- 上書き録音する設定（「REC-Posi」が「From Here」）になっていても、録音した曲は、グループ内の最後に追加され、上書きされません（このページ）。
- 手順2で5秒以内に操作をしないと、グループスキップモードは解除されます。そのときは、手順1からやり直してください。

現在聞いているグループに曲を追加して録音するときは、再生を停止して手順3から行ってください。

上書きをせずに録音する

録音開始位置を、上書きをせずに常に録音済み部分の後ろから録音する設定に変更することができます。お買い上げ時は上書きで録音する設定になっています。

1 **停止中にジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「OPTION」を点滅させ、押して決定する。**

3 **ジョグダイヤルを回して「REC-Posi」を点滅させ、押して決定する。**

4 **ジョグダイヤルを回して「From End」を点滅させ、押して決定する。**

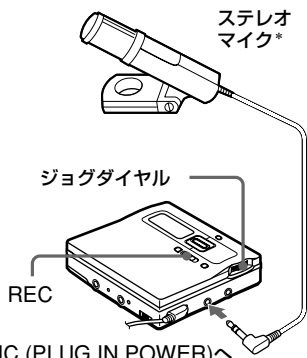
上書き録音にするには

手順4で「From Here」を点滅させ、ジョグダイヤルを押します。

- 録音開始位置が「From Here」に設定されていても、一時的に上書き録音したくないときは、END SEARCHボタンを押してから録音を開始すると、録音済み部分の後ろから録音を始めることができます。またEND SEARCHボタンを押したとき、録音できる残り時間が表示されます。
- グループモードがONのときは、上書き録音されません。新しくグループを作るか（31ページ）、既存のグループに録音する（このページ）ことになります。

ご注意

- 電源を切っても設定は解除されません。
- 録音開始位置を「From End」に設定していても、再生一時停止状態から録音すると、一時停止位置から録音が始まります。

マイクで録音する

* 詳しくは「別売りアクセサリー」（90ページ）を参照してください。

1 **別売りのステレオマイクの電源をOFFにし、本体につなぐ。**
入力は自動的にマイク入力に切り換わります。

2 **RECつまみの中央のボタンを押しながら右にずらす。**
その他の操作は「録音する（シンクロ録音）」（19ページ）をご覧ください。

マイク感度を変える

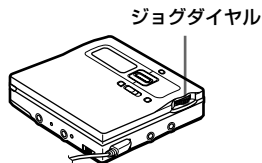
1 **停止中または録音中にジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「MIC SENS」を点滅させ、押して決定する。**

3 **ジョグダイヤルを回して「SENS HIGH」または「SENS LOW」を点滅させ、押して決定する。**
- 「SENS HIGH」：会話など、通常の音量のものを録音するとき
- 「SENS LOW」：ライブ録音など、大音量を録音するとき

ご注意
- 光デジタル入力、マイク入力、アナログ入力の順に優先して自動的に選択します。光デジタルケーブルがLINE IN (OPT)ジャックにつながっていると、マイク入力になりません。
- 本体の動作音を収音することがあります。そのときは、マイクを本体から遠ざけて録音してください。ダイレクト接続のマイクはノイズを拾うことがあるので、お使いにならないでください。
- モノラルマイクで録音すると、左チャンネルしか録音できません。

頭出しマークを自動でつける（オートタイムトラックマーク）

長い録音をするときに、一定時間ごとに頭出しマークを自動的につけて、途中に区切りをつけることができます。マイク録音、またはアナログ録音中にのみ設定することができます。

1 **録音中または録音一時停止中にジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「TIME MARK」を点滅させ、押して決定する。**
「OFF」が点滅します。

次ページへつづく

3 **ジョグダイヤルを回してお好みの時間を点滅させ、押して決定する。**
ジョグダイヤルを回すと表示は次のように変わります。

表示	時間
OFF	—
5min. ON	約5分
10min. ON	約10分
15min. ON	約15分

設定を解除するには

手順3で「OFF」を点滅させ、ジョグダイヤルを押します。または集中コントロールキーを■側に倒して録音を停止します。

録音中のオートタイムトラックマークのつきかた

- 録音している時間が頭出しマークの設定時間を超えていたとき：
  設定をしたところで頭出しマークがつき、以後設定時間ごとに頭出しマークがつく
  例）録音時間8分、頭出しマークの設定時間5分のとき
  実際に頭出しマークがつくのは、8分、13分、18分、23分・・・
- 録音している時間が頭出しマークの設定時間より短いとき：
  頭出しマークの設定時間に達したときから設定時間毎に頭出しマークがつく
  例）録音時間3分、頭出しマークの設定時間5分のとき
  実際に頭出しマークがつくのは、5分、10分、15分・・・

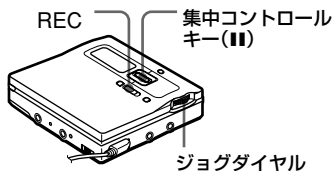
オートタイムトラックマークで頭出しマークをつけると、本体の表示窓では時間表示の前に「T」がつきます。リモコンの表示窓では、時間表示の後ろに「T」がつきます。

ご注意

- 録音の途中にT MARKボタンを押したり、集中コントロールキーを❚❚側に倒して、頭出しマークがついてしまったときは、その時点から設定した時間ごとにオートタイムトラックマークがつきます。
- 録音を止めると、設定は解除されます。

手動で録音レベルを調節する（マニュアル録音）

録音するときは、録音レベルは最適な値になるように自動的に調整されますが、必要に応じて手動で調整できます。アナログ録音のときはもちろん、デジタル録音のときでも調整できます（デジタルRECレベルコントロール）。

- 本体でのみ操作できます。

1 **❚❚側に倒しながら、RECつまみの中央のボタンを押しながら右にずらす。**
録音一時停止になります。

2 **ジョグダイヤルを押す。**

3 **ジョグダイヤルを回して「RecVolume」を点滅させ、押して決定する**

4 **ジョグダイヤルを回して、「ManualREC」を点滅させ、押して決定する。**

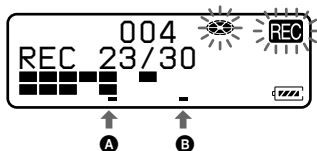
5 **録音したい音を出す。**

6 **表示窓を見ながらジョグダイヤルを回して録音レベルを調節する。**

録音レベルは、Ⓐから Ⓑの間を目安にレベル表示のバーが点灯するように調整します。Ⓑより右が点灯するときは、録音レベルを下げてください。

画面に表示されるレベル表示のバーは次のように分かれています。

上段：L（左）のレベル

下段：R（右）のレベル

7 **❚❚側に倒して録音を始める。**

他の機器とつないで録音するときは、本機が録音を始めた後で、録音元の音を最初から出し直してください。

自動調節にするには

手順4で「Auto REC」を点滅させ、ジョグダイヤルを押します。

ご注意

- 集中コントロールキーを■側に倒して録音を止めると、次の録音からは自動レベル調節に戻ります。
- シンクロ録音中に手動で調節するときは次の操作を行ってください。

1 20ページの手順3、「録音する」の①、②を行い、③で「SYNC OFF」を選ぶ。

2 上記の手順1〜6を行った後、もう一度20ページの手順3、「録音する」を行い、③で「SYNC ON」を選ぶ。

再生側の機器から音が出たら、自動的に本機で録音が始まります。

録音可能な時間を調べる

録音または停止中、表示窓で残り時間や曲番などの情報を確認できます。グループ機能に関係する表示は、グループ設定された曲を再生し、停止したときに表示されます。

本体で操作する

1 **ジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「DISPLAY」を点滅させ、押して決定する。**

3 **ジョグダイヤルを回して確認したい情報を点滅させる。**

回すたびに、表示は次のように変わります。

LapTime（経過時間）

RecRemain（録音できる残り時間）

GP Remain（グループ内で再生できる残り時間）

AllRemain（再生できる全残り時間）

Clock（現在時刻）

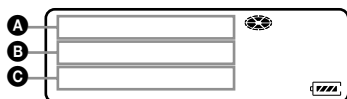
次ページへつづく

ご注意

グループモードON/OFFの状態や動作状態により、表示が選択できないことがあります。

4 **ジョグダイヤルを押して決定する。**

Ⓒに手順3で選んだ情報が表示されます。ただし、手順3で「LapTime」を選んだときは、何も表示されません。

本体の表示窓

選んだ情報（Ⓒ）	Ⓐ	Ⓑ
—* (LapTime)	曲番	経過時間
RecRemain	曲番	録音できる残り時間
GP Remain	グループ内の残り曲数	グループ内で再生できる残り時間
AllRemain	残り曲数	再生できる全残り時間
Clock	年月日	現在時刻

* 曲名があるときは、曲名が表示されます。

ご注意

グループモードON/OFFの状態や動作状態、設定状況により、表示が異なることがあります。

リモコン表示は本体表示と異なります。リモコン表示については、次の「リモコンで操作する」をご覧ください。

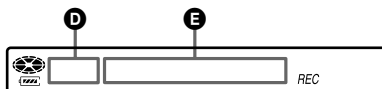
リモコンで操作する

1 **DISPLAYを押す。**

押すたびに、表示は次のように変わります。

リモコンの表示窓

表示Ⓓ/Ⓔ

録音中

停止中

曲番/経過時間

↓

曲番/曲名

↓

グループの全曲数／グループ名

↓

—/ディスク名

↓

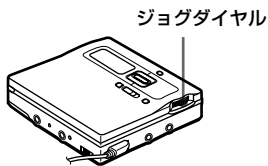
—/現在時刻

ご注意

グループモードON/OFFの状態や動作状態、設定状況により、表示が選択できない、または表示が異なることがあります。

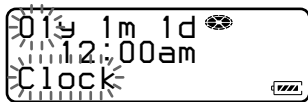
- 再生中の表示については、45ページの「残り時間や再生位置を調べる」をご覧ください。
- 本体表示はリモコン表示と異なります。本体表示については35ページの「本体で操作する」をご覧ください。

録音日時を記録する（時計合わせ）

時計を合わせておくと、録音の際に録音日時が自動で記録されます。録音日時は、一度時計を合わせると常に記録されるようになります。パソコンからチェックアウトした曲には録音日時は記録されません。

1 **停止中にジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「OPTION」を点滅させ、押して決定する。**

3 **ジョグダイヤルを回して「CLOCK SET」を点滅させ、押して決定する。**

西暦年の数字が点滅します。

4 **ジョグダイヤルを回して年を合わせ、押して決定する。**

月の数字が点滅します。

5 **手順4をくりかえして月、日、時、分を合わせる。**

分を合わせてジョグダイヤルを押すと、時計が0秒からスタートします。

途中で間違えたときは

集中コントロールキーの⏮を押して、前の項目に戻って入れ直します。変更する必要のない数字は⏭を押して先に進めてください。

現在の日時を表示するには

本体で操作する

1 **停止中または録音中にジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「DISPLAY」を点滅させ、押して決定する。**

3 **ジョグダイヤルを回して「Clock」を点滅させ、押して決定する。**

リモコンで操作する

1 **停止中または録音中ににDISPLAYをくり返し押す。**

時計を24時間表示に変えるには

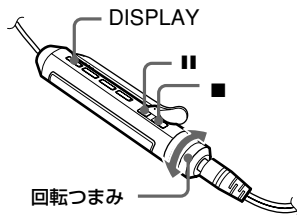
時計合わせ中にT MARKボタンを押します。もう一度押すと12時間表示に戻ります。

時計の設定を保つために

一度時計を合わせると、コンセントや充電式電池、乾電池のいずれかの電源がつないであれば、時計の設定は保たれます。ただし、いずれの電源もつないでいないと、約3分で時計の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。
充電式電池や乾電池の交換は3分以内で行ってください。

ご注意

- 特に大切な録音で録音日時を記録したいときは、現在の日時を表示させ、時計が合っていることを確認してください。
- 月に3分程度の誤差が生じることがあります。

聞きたい曲や場所を高速で探す（高速サーチ）

高速サーチは2種類あります。リモコンを使っていずれかの高速サーチを選ぶことができます。

- **インデックスサーチ (Index)**：曲番や曲名を見ながら聞きたい曲を探す。（お買い上げ時の設定）
- **タイムサーチ (Time)**：経過時間を見ながら聞きたい場所を探す。

停止中、再生中、再生一時停止中にリモコンでのみ設定することができます。

1 DISPLAYを2秒以上押す。

2 回転つまみを回して「SEARCH」を表示させ、■を押して決定する。

3 回転つまみを回して「Index」（インデックスサーチ）または「Time」（タイムサーチ）を表示させ、■を押して決定する。

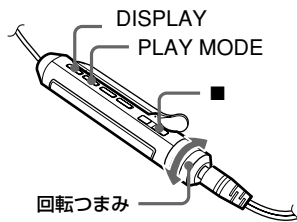
4 再生中に❚❚を押して一時停止させる。

5 回転つまみを回したままにして、聞きたい曲番／曲名（インデックスサーチ）または聞きたい場所の経過時間（タイムサーチ）を表示させる。

6 ❚❚を押して一時停止を解除する。
選んだ曲の再生が始まります。

シャッフル再生中に行うと、選んだ曲からシャッフル再生が始まります。

「グループ機能」を使う

グループ設定されたディスクでは「グループ機能」を使っていろいろな再生を行うことができます。グループ機能について、詳しくは「「グループ機能」を使って録音する」（30ページ）をご覧ください。

グループ機能を使って聞く（グループモード再生）

- グループ設定されたディスクを入れてください。

本体で操作する

1 再生を始める

2 **GROUPを2秒以上押してグループモードをONにする。**
再生中の曲が入っているグループの最後の曲まで再生して停止します。
別のグループを聞きたいときは「グループを選んで聞く（グループスキップモード）」（このページ）をご覧ください。

リモコンで操作する

1 **再生を始める。**

2 **DISPLAYを2秒以上押す。**

3 **回転つまみを回して「GROUP」を点滅させ、■を押して決定する。**

4 **回転つまみを回して「GROUP ON」を点滅させ、■を押してグループモードをONにする。**
再生中の曲が入っているグループの最後の曲まで再生して停止します。
別のグループを聞きたいときは「グループを選んで聞く（グループスキップモード）」（このページ）をご覧ください。

- グループ内でリピート再生、シャッフル再生、プログラム再生をすることができます。詳しくは「再生モードを選ぶ」（40ページ）をご覧ください。
- 最後の曲を再生中に集中コントロールキーの▶▶Iを押す（リモコンでは回転つまみを▶▶▶Iに回す）と、グループの１曲目から再生し、1曲目を再生中にI◀◀を続けて2回押す（リモコンでは回転つまみをI◀◀側に続けて2回、回す）と、グループの最後の曲を再生します。
- 本体表示窓の左上にグループ番号が表示されます。
- 設定は、パーソナルディスクメモリーに登録することができます（68ページ）。

グループ機能をOFFにするには

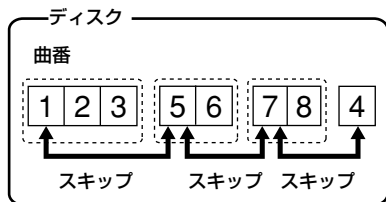
- 本体では
GROUPを2秒以上押します。
- リモコンでは
手順4で「GROUP OFF」を選び、■を押して決定します。

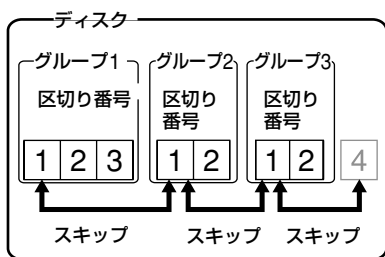
ご注意

グループモードがONのとき、ディスク中でグループに設定されていない曲は一時的に1つのグループとしてまとめられ、一番最後のグループとして扱われます。このとき「Group – –」と表示されます。曲番はグループごとの番号ではなく、ディスクの通し番号で表示されます。

グループを選んで聞く（グループスキップモード）

再生中に聞きたいグループを選ぶことができます。
グループON/OFFに関係なく操作できます。グループモードONとOFFでは再生のしかたが次のように違います。
グループON：選んだグループの1曲めから再生が始まり、そのグループの最後の曲まで再生して停止。
グループOFF：選んだグループの1曲めから再生が始まり、ディスクの最後の曲まで再生して停止。

グループモードOFF時

次ページへつづく

グループモードON時

ここでは、グループモードON時の操作の説明をします。

- グループ設定されたディスクを入れてください。

本体で操作する（ダイレクトグループ選択）

1 **再生中に、GROUPを短く押す。**
「🗀」が点滅し、グループスキップモードがONになります。

2 **5秒以内にジョグダイヤルを回して、再生したい曲があるグループを表示させ、押して決定する。**
選択されたグループの1曲めから再生が始まります。

手順2で集中コントロールキーの⏮/⏭を使っても、グループを選ぶことができます。

リモコンで操作する

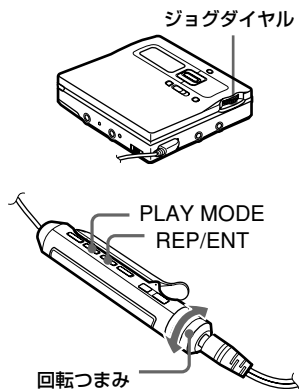
1 **再生中に、PLAY MODEを「－－－」と「🗀」が点滅するまで押したままにする。**
グループスキップモードがONになります。

2 **5秒以内に回転つまみを回して、再生したい曲があるグループ名を表示させる。**

ご注意

- 手順1の後で、5秒間回転つまみを操作しないと、グループスキップモードが解除されます。そのときはもう一度手順1から操作し直してください。
- グループ設定されていないディスクでは、グループスキップモードは使えません。

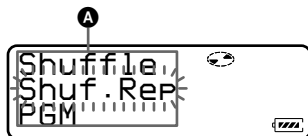
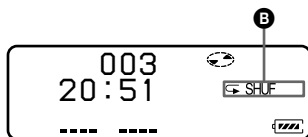
再生モードを選ぶ

通常の再生のほか、1曲再生（1 Track）、シャッフル再生（Shuffle）、プログラム再生（PGM）ができ、さらに各再生状態のままくり返すことができます。

本体で操作する

1 **再生中にジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「PLAY MODE」を点滅させ、押して決定する。**

3 ジョグダイヤルを回して選択したい再生モードを点滅させ、押して決定する。

表示窓
ジョグダイヤルを回すとⒶが変わる

ジョグダイヤルを押すとⒷが点灯する。

表示Ⓐ/Ⓑ（再生状態）

Normal /—（通常の再生）
↓
ALLRepeat/⊊（全曲をくり返し再生）
↓
1 Track/1（再生中の1曲を再生）
↓
1 Repeat/⊊ 1（再生中の1曲をくり返して再生）
↓
Shuffle/SHUF（全曲を順不同に並べかえて再生）
↓
Shuf. Rep/⊊ SHUF（全曲を順不同に並べかえて再生、さらにくり返し並べかえて再生）
↓
PGM/PGM（曲を好きな順に並べかえて再生）
↓
PGMRepeat/⊊ PGM（曲を好きな順に並べかえてくり返して再生）

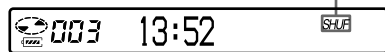
リモコンで操作する

1 再生中にPLAY MODEボタンを押す。

押すたびに表示は次のように変わり、選んだ表示の状態で再生します。

リモコンの表示窓

再生状態表示

003 13:52 SHUF

表示（再生状態）

—（通常の再生）
↓
1（再生中の1曲を再生）
↓
SHUF（全曲を順不同に並べかえて再生）
↓
PGM（聞きたい曲を好きな順に並べ変えて再生）

2 さらにくり返し聞きたい場合は、REP/ENTを押す。

⊊ が表示され、選択されている再生状態でくり返し再生します。

好きな順に曲を並べかえて聞く（プログラム再生）

全部で20曲までプログラムできます。

1 「再生モードを選ぶ」の手順3（このページ）で「PGM」を選択し、決定する。

2 ジョグダイヤルを回して曲を選び、押して決定する。

選んだ曲が確定します。

3 手順2をくり返して、好きな順に曲を選ぶ。

次ページへつづく

4 ジョグダイヤルを2秒以上押す。
プログラムが設定され、1曲目から再生が始まります。

リモコンで操作する

1 再生中に「PGM」が表示されるまでPLAY MODEをくり返し押す。

2 回転つまみを回して曲番を選び、REP/ENTを押して決定する。

3 手順2をくり返して、好きな順に曲を選ぶ。

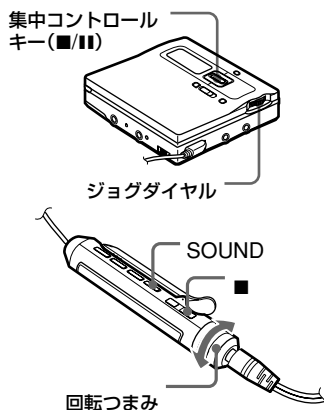
4 REP/ENTを2秒以上押す。
プログラムが設定され、1曲目から再生が始まります。

- 再生が終わったとき、または途中で止めたときもプログラム設定は残っています。
- 設定は、パーソナルディスクメモリーに登録することができます（68ページ）。
- グループモードをONにして特定のグループを選択すると、そのグループ内での再生モードを選ぶことができます。「グループ機能を使って聞く」（38ページ）をご覧ください。

ご注意

- ふたを開けると設定は解除されます。
- 停止状態での設定の途中、5分間何も操作されなかったときは、そこまでの設定でプログラムが確定します。
- プログラム設定中にグループモードをON/OFFすると、プログラム設定は解除されますが、それまでの設定は保持されます。
- プログラム再生中、グループモードをONにすると、プログラム再生の設定は解除されます。

高音や低音を強調する（デジタルサウンドプリセット）

高音、低音を強調し、お好みの音質に設定できます。設定は2種類記憶させることができ、再生中に選べます。

音質を選ぶ

お買い上げ時の設定は

- 「SOUND1」のとき
Bass（低音）：＋1、Treble（高音）：±0
- 「SOUND2」のとき
Bass：＋3、Treble：±0

本体で操作する

1 ジョグダイヤルを押す。

2 ジョグダイヤルを回して「SOUND」を点滅させ、押して決定する。

3 ジョグダイヤルを回して「SOUND 1」または「SOUND 2」を選び、押して決定する。

リモコンで操作する

1 SOUNDをくり返し押して、「S 1」または「S 2」を選ぶ。

音質を変える

本体で操作する

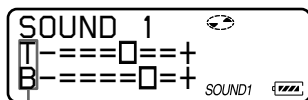
1 再生中にジョグダイヤルを押す。

2 ジョグダイヤルを回して「SOUND」を点滅させ、押して決定する。

3 ジョグダイヤルを回して「SOUND 1」または「SOUND 2」を点滅させる。

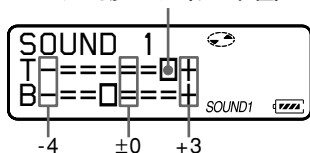
「T」(Treble)と「B」(Bass)の設定値が表示されます。

4 ■または▮▮側に倒して、「T」または「B」を選ぶ。

カーソルが点滅している方の設定をすることができます。

「T」でTreble、「B」でBassの設定をします。

5 ジョグダイヤルを回して「T」または「B」の強弱を設定する。

カーソルが動きます。(+2の位置)

-4 ±0 +3

左から−4、−3…±0…+2、+3の8段階で設定することができます。

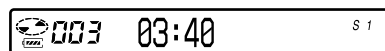
- **「T」、「B」を切り換えるには**
  ■または▮▮側に倒す。
- **「SOUND 1」、「SOUND 2」を切り換えるには**
  ▮▮側に何度か倒して上段を点滅させ、ジョグダイヤルを回す。

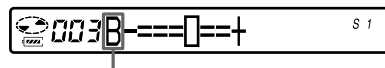
6 ジョグダイヤルを押して決定する。

設定が登録され、再生表示に戻ります。

手順5の「T」と「B」の強弱の設定は⏮/⏭ボタンを使うこともできます。

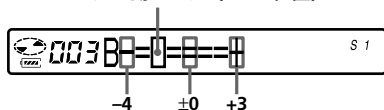
リモコンで操作する

1 再生中、SOUNDをくり返し押し、「S 1」または「S 2」を選ぶ。

2 SOUNDを2秒以上押す。

「B」(Bass)の設定画面になります。さらにもう一度SOUNDを2秒以上押すと、「T」(Treble)の設定画面になります。

Bassのときは「B」、Trebleのときは「T」と表示されます。

次ページへつづく

3 **回転つまみを回し、「B」または「T」の強弱を設定する。**

例）Bassのとき
カーソルが動きます。（－2の位置）

左から－4、－3…±0…＋2、＋3の8段階で設定することができます。

- **「B」、「T」を切り換えるには**
  手順2、3の間にSOUNDを2秒以上押す。
- **「S 1」、「S 2」を切り換えるには**
  手順2、3の間にSOUNDを短く押す。

4 **■を押して決定する。**

設定が登録され、再生表示に戻ります。

設定を解除するには

- 本体では
  手順3で「SOUND OFF」を選びます。
- リモコンでは
  手順1で何も表示されない状態を選びます。

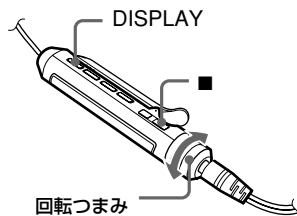
- 設定は、パーソナルディスクメモリーに登録することができます（68ページ）。
- 約5分間操作をしないと、設定が登録され、再生表示に戻ります。

ご注意

- ☊/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が、「LINE OUT」になっていると、デジタルサウンドプリセットで設定した音質の選択ができなくなります。そのときは、☊/LINE OUTの設定を「HeadPhone」にしてください（26ページ）。
- デジタルサウンドプリセットを使っているとき、設定や曲によっては音が割れたり、ひずんだりすることがあります。そのときは音質設定を変更してください。
- 録音中にデジタルサウンドプリセットを切りかえても、録音される音には影響はありません。

再生速度を変える
（スピードコントロール）

語学学習などで再生速度を変えたいときに便利です。速度は7段階（80%～110%まで5%ごと）から選ぶことができます。

- リモコンでのみ操作できます。

1 **再生中にDISPLAYを2秒以上押す。**

2 **回転つまみを回して「SPEED」を点滅させ、■を押して決定する。**

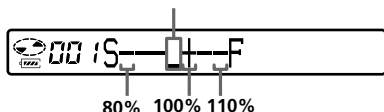
再生速度の設定画面になります。

3 **回転つまみを回して再生速度を選ぶ。**

音を聞きながら選んでください。

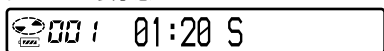
カーソルは現在の再生速度、＋は再生速度が100％（標準速度）を表します。

例）再生速度が元の速度の95％のとき

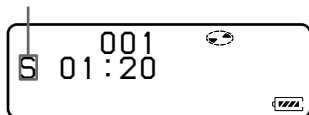
－とカーソルが交互に点滅します。

4 **■を押して決定する。**

再生速度が設定されます。

リモコンの表示窓

001　01:20 S

100％以外を選んでいると「S」が点灯します。

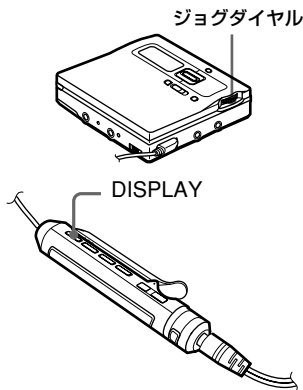
本体の表示窓

100％以外を選んでいると「S」が点灯します。

設定は、パーソナルディスクメモリーに登録することができます（68ページ）。

ご注意

- 再生速度の設定を変えると再生される音程も変わります。
- ディスクを出し入れすると、設定は100％に戻ります（パーソナルディスクメモリーに登録した場合を除く）。

残り時間や再生位置を調べる

再生中に、表示窓で曲名・ディスク名などの情報を確認できます。グループ機能に関係する表示は、グループ設定された曲を再生中の表示です。

本体で操作する

1 **再生中にジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「DISPLAY」を点滅させ、押して決定する。**

3 **ジョグダイヤルを回して確認したい表示モードを点滅させる。**

回すたびに、表示は次にように変わります。

LapTime（経過時間）

1 Remain（1曲中の残り時間）

↓

GP Remain（グループ内で再生できる残り時間）

↓

AllRemain（再生できる全残り時間）

RecDate（録音日時）

次ページへつづく

ご注意

グループモードON/OFFの状態や動作状態により、表示が選択できないことがあります。

4 ジョグダイヤルを押して決定する。

Ⓒに手順3で選んだ情報が表示されます。ただし、手順3で「LapTime」を選んだときは、何も表示されません。

本体の表示窓

選んだ情報(Ⓒ)	Ⓐ	Ⓑ
— (LapTime)	曲番	経過時間
1 Remain	曲番	1曲中の残り時間
GP Remain	グループ内の残り曲数	グループ内で再生できる残り時間
AllRemain	残り曲数	再生できる全残り時間
RecDate	録音年月日	録音時刻

ご注意

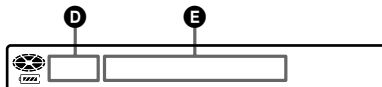
グループモードON/OFFの状態や動作状態、設定状況により、表示が異なることがあります。

リモコン表示は本体表示と異なります。リモコン表示については、次の「リモコンで操作する」をご覧ください。

リモコンで操作する

1 再生中にDISPLAYを押す。

押すたびに、表示は次のように変わります。

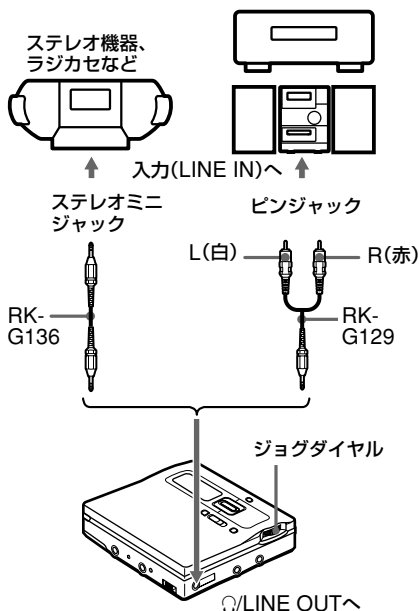
リモコンの表示窓

[1] 曲番/経過時間に切り換わる前に、一時的に再生曲の録音モード（29ページ）が表示されます。

ご注意

グループモードON/OFFの状態や動作状態、設定状況により、表示が選択できない、または異なることがあります。

- 録音または停止中の表示については、35ページの「録音可能な時間を調べる」をご覧ください。
- 本体表示はリモコン表示と異なります。本体表示については45ページの「本体で操作する」をご覧ください。

お手持ちのシステムで聞く（LINE OUT）

本機の再生音を、他のオーディオ機器で聞いたり録音したりすることができます。別売りの接続コードRK-G129またはRK-G136を🎧/LINE OUTジャックにつなぎます。出力はアナログです。本機はデジタル方式で再生しますが、つないだ機器にはアナログ信号で送られます。

本機の🎧/LINE OUTジャックに別売りの接続コードをつないでから次の操作を行って、🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定をする必要があります。

1 **ジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「AUDIO OUT」を点滅させ、押して決定する。**

3 **ジョグダイヤルを回して、「LINE OUT」を点滅させ、押して決定する。**

ご注意

- 🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が「LINE OUT」になっていると、ボリュームやサウンドプリセットは働きません。
- 付属のリモコン付きヘッドホンをつないでいるときは、🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「LINE OUT」にすることができません。
- ヘッドホンを直接本体につなぐときは、手順3で🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「HeadPhone」にしてください。

編集する前に

ミニディスクに頭出しマーク（曲番）をつけたり、曲名やディスク名をつけたりすることができます。ただし、再生専用ミニディスクの編集はできません。次の点にご注意ください。

- 誤消去防止つまみが開いているディスクでは、編集ができません。つまみを閉めてください（92ページ）。
- 再生中に編集を行った場合は、停止して、「TOC Edit」表示が消えるまで編集内容は記録されません。「TOC Edit」表示が数秒点滅して消えるまで、電源を抜かないでください。
- 「TOC Edit」表示の点滅中は、衝撃を与えたり電源を抜かないでください。
- 編集を行った後、「TOC Edit」表示が消えるまでは、ふたは開きません。
- 編集中でグループ機能が働いているときは、選んだグループ内の曲のみ、編集操作を行うことができます。

名前をつける・変える

文字パレットを使って曲名やグループ名、ディスク名をつけたり変えたりすることができます。

入力できる文字の種類

- カタカナ（半角）
- アルファベットA～Zの大文字、小文字
- 数字0～9
- 記号 ！ " ＃ ＄ ％ ＆ ( ) ＊ ．； ＜ ＝ ＞ ？ ＠ ＿ ｀ ＋ － ' , ／ ：
  ␣（スペース）

入力できる文字数

- 曲名、グループ名、ディスク名にそれぞれ200文字（全文字種混在の場合）

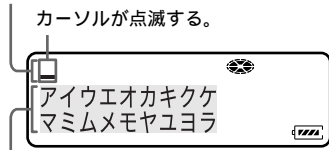
1枚のディスクに入力できる文字数

- 英数字／記号のみの場合：
  10文字程度で約120タイトル（最大約1700文字）
- カナ文字のみの場合：
  10文字程度で約60タイトル（最大約800文字）

文字数によって登録できるタイトル数は異なります。

文字パレットについて

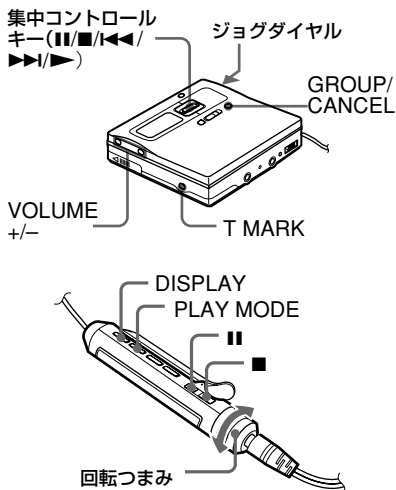
本体では表示窓に出てくる文字パレットから、文字を選んで入力します。文字パレットの文字配列は次のようになっています。

ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺｻｼｽｾｿﾀﾁﾂﾃﾄﾅﾆﾇﾈﾉﾊﾋﾌﾍﾎ
ﾏﾐﾑﾒﾓﾔﾕﾖﾗﾘﾙﾚﾛﾜｦﾝ ﾞﾟｰ ｧｨｩｪｫｬｭｮｯ
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ 123
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 456
.,-?!&'"/@;:()#$*<=>`+%_ 0 789

文字パレット

このように表示窓には文字パレットの一部しか表示されないので、集中コントロールキーでカーソルを動かし、決定します。

ご注意

- 文字数が入力できる文字数の限界をこえると「NAME FULL」と表示されます。その場合、曲名、グループ名、ディスク名を短く入力しなおしてください（51ページ）。または、MDLP録音のときに、曲名の最初に「LP:」をつけない設定にしてください（29ページ）。

- グループ機能を使って録音したディスクに名前をつけるときは、グループ設定情報を誤って書き換えてしまわないように、グループ機能を働かせた状態でディスク名をつけてください。
- ディスク名やグループ名に「abc//def」のように「//」を文字の間に入れると、グループ機能が使えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 付属のリモコンで漢字を表示することはできますが、漢字で名前をつけることはできません。OpenMG Jukeboxを使うと、漢字の入力ができます。

名前をつける

本体で操作する

1 ディスクを入れ、次の操作を行う。

- **曲名をつけるとき：**
  名前をつけたい曲の再生または録音を開始し、曲の再生・録音中に名前をつける。
- **グループ名をつけるとき：**
  グループモードをONにし（38ページ）、名前をつけたいグループの中の曲の再生または録音を開始し、再生・録音中に名前をつける。
- **ディスク名をつけるとき：**
  停止中または録音中に名前をつける。
  グループ設定してあるディスクの場合はグループモードをONにする（38ページ）。

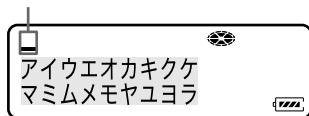
2 ジョグダイヤルを押す。

3 ジョグダイヤルを回して「EDIT」を点滅させ、押して決定する。

4 ジョグダイヤルを回して次の表示を点滅させ、押して決定する。

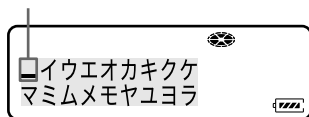
- **曲名をつけるとき：**
  「♫：Name」
- **グループ名をつけるとき：**
  「🗀：Name」
- **ディスク名をつけるとき：**
  「💿：Name」

カーソルが入力エリアで点滅し、文字の入力状態になります。

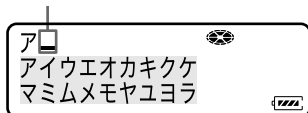
カーソルが点滅する

5 ■側に倒す。

カーソルが移動し、文字と交互に点滅する。

編集する

次ページへつづく

6 集中コントロールキーで文字を選び、►を押して決定する。

文字パレットで選んだ文字が入力エリアに表示され、次の文字位置でカーソルが点滅します。

次の位置で点滅する

文字入力に使うボタンと機能は次の通りです。

機能[1]	操作
文字パレット上でカーソルを移動する。	• 集中コントロールキーを押す／倒す。 • ジョグダイヤルを回す（上下移動のみ）[2]。
入力エリアで直接文字を選ぶ。	ジョグダイヤルを回す。
文字を決定する。	• ►を押す。 • ジョグダイヤルを押す。
カーソルを入力エリアから文字パレットに戻す。	■側に倒す。
カーソルを文字パレットから入力エリアに戻す。	CANCELを押す。
名前を確定する。	►またはジョグダイヤルを2秒以上押したままにする。
カーソルの前に1文字分の空白を入れる。	VOLUME +を押す。
カーソル上の文字を削除する。	VOLUME –を押す。
カーソル上の文字に濁点、半濁点をつける。	T MARKを押す。
記号：、–、／を表示させる。	T MARKを押す。
文字入力をやめる。	カーソルが入力エリアのとき、CANCELを押す。

[1] ボタンの機能はカーソルが入力エリアにあるときと、文字パレットにあるときで異なることがあります。
[2] ネームバンクによく使う言葉を登録した場合は、全ての文字が表示された後に表示されます（52ページ）。

7 手順6をくり返して名前をつける。

8 ジョグダイヤルを2秒以上押したままにする。

名前が入力されます。

リモコンで操作する

1 ディスクを入れ、次の操作を行う。
- 曲名をつけるとき：
  名前をつけたい曲の再生または録音を開始し、曲の再生・録音中に名前をつける。
- グループ名をつけるとき：
  グループモードをONにし（39ページ）、名前をつけたいグループの中の曲の再生または録音を開始し、再生・録音中に名前をつける。
- ディスク名をつけるとき：
  停止中または録音中に名前をつける。
  グループ設定してあるディスクの場合はグループモードをONにする（39ページ）。

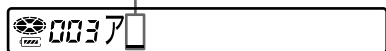
2 DISPLAYを2秒以上押したままにする。

3 回転つまみを回して「EDIT」を点滅させ、■を押して決定する。

4 回転つまみを回して次の表示を点滅させ、押して決定する。
- 曲名をつけるとき：「Track Name」
- グループ名をつけるとき：「Group Name」
- ディスク名をつけるとき：「Disc Name」

カーソルが点滅し、文字の入力状態になります。

5 回転つまみを回して文字を選び、■を押して決定する。
選んだ文字が点灯して決定します。決定した次の文字位置でカーソルが点滅します。

次の位置でカーソルが点滅する。

文字入力に使うボタンと機能は次の通りです。

機能	操作
カナ→アルファベット→数字と記号→よく使う言葉*の順に切り換える。	IIを押す。
文字カーソルを左右に移動する。	回転つまみを引き、回す（VOL +/–）。
文字を1文字ずつ変える。	回転つまみを回す（I◀◀／▶▶▶I）。
カタカナ入力時に「ア」→「カ」→「サ」→「タ」の順に文字が選べる。	回転つまみを2秒以上回したままにする（I◀◀／▶▶▶I）。
カーソルの前に1文字分の空白を入れる。	DISPLAYを押す。
文字入力をやめる。	DISPLAYを2秒以上押す。
カーソル上の文字を削除する。	PLAY MODEを押す。

* よく使う言葉を登録した場合、ネームバンクに登録した言葉が表示されます（52ページ）。

6 手順5を繰り返して名前をつける。

7 ■を2秒以上押したままにする。

途中でやめるときは

- **本体では**
  CANCELを押します。
  「CANCEL?」、「PushENTER」が表示されたらジョグダイヤルまたは▶を押します。
- **リモコンでは**
  DISPLAYを2秒以上押したままにします。

ご注意

- 録音中に曲名、グループ名、ディスク名を入力している途中で録音が終了した場合や、録音中に曲名入力をしている途中で次の曲が始まった場合は、それまでの入力が記録されます。
- 「LP:」をつけてMDLP録音をした曲は（29ページ）、曲の頭に「LP:」がついています。
- 市販のソフトに名前をつけたり、書き換えたりすることはできません。

入力した名前やそこに使われている言葉を「ネームバンク」（52ページ）に登録できます。登録した言葉は、名前の入力中にネームバンクから呼び出して入力に利用できます（54、55ページ）。

名前を変更する

本体で操作する

1 ディスクを入れ、次の操作を行う。

- **曲名を変更するとき：**
  名前を変更したい曲を再生し、曲の再生中に名前を変更する。
- **グループ名を変更するとき：**
  グループモードをONにし（38ページ）、名前を変更したいグループの中の曲の再生または録音を開始し、再生・録音中に名前を変える。
- **ディスク名を変更するとき：**
  停止中または録音中に名前をつける。
  グループ設定してあるディスクの場合はグループモードをONにする（38ページ）。

2 「名前をつける」の「本体で操作する」（49ページ）の手順2～4を行って、変更したい名前を表示させる。

編集する

3「名前をつける」の「本体で操作する」（49、50ページ）の手順5～8を行って、変更したい名前を入力する。

リモコンで操作する

1 ディスクを入れ、次の操作を行う。
- 曲名を変更するとき：
  名前を変更したい曲を再生し、曲の再生中に名前を変更する。
- グループ名を変更するとき：
  グループモードをONにし（39ページ）、名前を変更したいグループの中の曲の再生または録音を開始し、再生・録音中に名前を変える。
- ディスク名を変更するとき：
  停止中または録音中に名前をつける。
  グループ設定してあるディスクの場合はグループモードをONにする（39ページ）。

2「名前をつける」の「リモコンで操作する」（50ページ）の手順2～4を行って、変更したい名前を表示させる。

3「名前をつける」の「リモコンで操作する」（51ページ）の手順5～8を行って、変更したい名前を入力する。

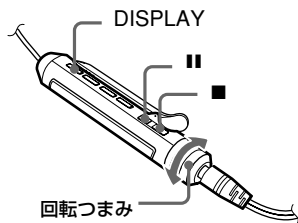
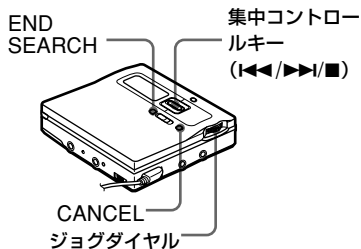
途中でやめるときは

- **本体では**
  CANCELを押します
  「CANCEL?」と「PushENTER」が表示されたらジョグダイヤルまたは►を押します。
- **リモコンでは**
  DISPLAYを2秒以上押したままにします。

ご注意

- カナ入力したタイトルを、カナ表示に対応していないミニディスク機器で表示させると、ローマ字表記になります。その際、先頭と最後に「＾」がつきます。
- 他の機器でつけた200文字以上の曲名やグループ名、ディスク名を、本機で書き換えることはできません。

よく使う言葉を登録する（ネームバンク機能）

曲名・グループ名・ディスク名によく使う言葉を登録できます。登録した言葉は、その一部または全部を使って、曲名などをつけるときに利用します（「登録した言葉を呼び出して使う」（54ページ）。10文字程度の文字数の言葉の場合、約25種類登録できます（最大約400文字）。文字数によって、登録できる言葉の種類の数は異なります。

登録する

登録の方法は3通りあります。
- **曲名など入力中に登録する：**
  「名前をつける」（49ページ）で曲名などの入力中に言葉を登録します。
- **すでに入力した曲名などの言葉を登録する：**
  「名前をつける」（49ページ）で入力した曲名などを登録します。

- あらかじめ登録しておく：
  よく使う言葉を登録しておきます。曲名などをつけるときに登録した言葉を呼び出して利用できます。

◆曲名など入力中に登録する

本体で操作する

1 **「名前をつける」（49ページ）の手順1〜7を行って、文字を入力する。**

2 **CANCELを押す。**
カーソルが入力エリアに戻ります。

3 **END SAECHを約2秒間押したままにする。**
「Entry!」と表示され、カーソルのある位置の直前までの言葉が登録されます。

4 **名前の入力を続けるときは「名前をつける」（49ページ）の手順5〜8を行う。**

リモコンで操作する

1 「名前をつける」の「リモコンで操作する」（50ページ）の手順1〜6を行って文字を入力する。

2 登録したい言葉を入力し、❚❚を約2秒間押したままにする。

3 名前の入力を続けるときは、「名前をつける」の「リモコンで操作する」（51ページ）の手順5〜7を行う。

◆すでに入力した曲名などの言葉を登録する

本体で操作する

1 **「名前を変更する」（51ページ）の手順1、2を行って登録したい言葉を表示する。**

2 **⏮/⏭を押して登録したい言葉の直後にカーソルを移動する。**

3 **END SEARCHを約2秒間押したままにする。**

リモコンで操作する

1 「名前を変更する」の「リモコンで操作する」（52ページ）の手順1、2を行って登録したい言葉を表示する。

2 回転つまみを引き、動かして登録したい言葉の直後にカーソルを移動する。

3 ❚❚を約2秒間押したままにする。

◆あらかじめ登録する

本体で操作する

1 **ジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「EDIT」を点滅させ、押して決定する。**

3 **ジョグダイヤルを回して「Name Bank」を点滅させ、押して決定する。**

4 **登録したい言葉を入力し、ジョグダイヤルを約2秒間押したままにする。**
「Entry!」と表示され、入力した言葉が登録されます。

リモコンで操作する

1 DISPLAYを2秒間押す。

2 回転つまみを回して「EDIT」を点滅させ、■を押して決定する。

3 回転つまみを回して「Name Bank」を点滅させ、■を押して決定する。

4 登録したい言葉を入力し、■を約2秒間押したままにする。

途中でやめるときは

- **本体では**
  CANCELを押します。
  「CANCEL?」、「PushENTER」が表示されたらジョグダイヤルを押します。
- **リモコンでは**
  DISPLAYを2秒以上押したままにします。

ご注意

この方法で文字を入力中は、ネームバンクに登録してある言葉を呼び出して利用することはできません。

登録した言葉を呼び出して使う

言葉を呼び出して使う方法は2通りあります。

- **言葉で探して使う：**
  登録済みの言葉を探して曲名などをつけるときに使います。
- **先頭文字で探して使う：**
  登録済みの言葉を先頭文字で探して曲名などをつけるときに使います。

◆言葉で探して使う

本体で操作する

1 「名前をつける」（49ページ）の手順1〜4を行う。
文字の入力状態になります。

2 END SEARCHを押して登録した言葉を表示させる。

3 ■側に倒してカーソルを文字パレットに移す。

4 ジョグダイヤルを回して目的の言葉を探す。
回すたび、登録済みの言葉が順に1つづつ表示されます。

5 目的の言葉が表示されたら、ジョグダイヤルを押して決定する。
選んだ言葉が入力エリアに移動し、点灯します。

6 ジョグダイヤルを2秒以上押したままにする。

7 名前の入力を続けるときは、「名前をつける」（49ページ）の手順5〜8を行う。

リモコンで操作する

1 「名前をつける」の「リモコンで操作する」（50ページ）の手順1〜5を行う。
文字の入力状態になります。

2 ❚❚をくり返し押して登録した言葉を表示させる。

3 回転つまみを回して目的の言葉を探す。
回すたび、登録済みの言葉が順に1つずつ表示されます。

4 目的の言葉が表示されたら、■を押して決定する。
選んだ言葉が決定します。

5 名前の入力を続けるときは、「名前をつける」の「リモコンで操作する」（51ページ）手順6、7を行う。

◆先頭文字で探して使う

本体で操作する

1 「名前をつける」（49ページ）の手順1〜5を行う。

2 ジョグダイヤルを回し、呼び出したい言葉の1文字目を点滅させる

3 END SEARCHを押して検索する。

4 ■側に倒してカーソルを文字パレットに移す。

5 ジョグダイヤルを回して選びたい言葉を点滅させ、押して決定する。

選んだ言葉が入力エリアに移動し、点灯します。

6 ジョグダイヤルを約2秒以上押したままにする。

選んだ言葉が登録されます。

7 名前の入力を続けるときは、「名前をつける」(49ページ)の手順5～8を行う。

リモコンで操作する

1 「名前をつける」の「リモコンで操作する」(50ページ)の手順1～5を行う。

2 曲名またはグループ名、ディスク名の入力中(50ページ)に回転つまみを回して、呼び出したい言葉の1文字目を点滅させる。

3 ❚❚をくり返し押して検索する。

該当する文字が表示されたり、回転つまみを►►►❙側に回すと登録済みの言葉が1つづつ表示されます。

4 入力したい言葉が表示されたら、■を押して決定する。

5 ■を約2秒以上押したままにする。
選んだ言葉が登録されます。

6 名前の入力を続けるときは、「名前をつける」の「リモコンで操作する」(51ページ)の手順5～7を行う。

途中でやめるときは

- **本体では**
  CANCELを押します。
  「CANCEL?」、「PushENTER」が表示されたらジョグダイヤルを押します。
- **リモコンでは**
  DISPLAYを2秒以上押したままにします。

登録した言葉を削除する

本体で操作する

1 停止中にジョグダイヤルを押す。

2 ジョグダイヤルを回して「EDIT」を点滅させ、押して決定する。

3 ジョグダイヤルを回して「BankErase」を点滅させ、押して決定する。

4 ジョグダイヤルを回して削除したい言葉を点滅させ、押して決定する。

「Erase!」と表示され、言葉が削除されます。

リモコンで操作する

1 停止中にDISPLAYを2秒以上押す。

2 「EDIT」を点滅させ、■を押して決定する。

3 回転つまみを回して「BankErase」を点滅させ、■を押して決定する。

4 回転つまみを回して削除したい言葉を選び、■を押して決定する。

途中でやめるときは

- **本体では**
  CANCELを押します。
  「CANCEL?」、「PushENTER」が表示されたらジョグダイヤルを押します。
- **リモコンでは**
  DISPLAYを2秒以上押したままにします。

曲やグループを1つのグループにまとめる

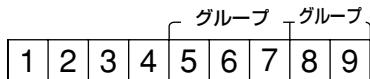
（グループ設定）

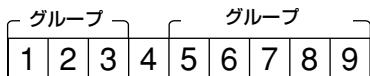
すでに録音してある曲をグループにまとめたり、複数のグループを１つのグループにまとめることができます。
ただし、まとめることができるのは連続している曲（またはグループ）のみです。連続していない曲（またはグループ）をまとめたい場合は、曲順またはグループの順番を並べかえて（58ページ）、まとめたい曲やグループを連続させてから行ってください。
グループモードONとOFFでは次のように操作が違います。

グループモードON：
- 複数のグループを1つにする。
- グループに含まれない曲をグループに入れる。

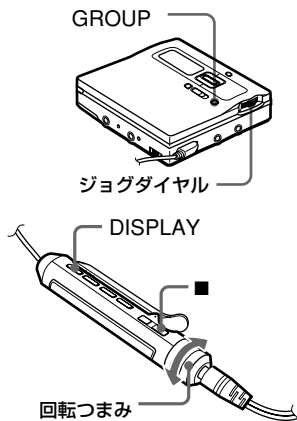
グループモードOFF：
複数の曲を1つのグループにする。

ここでは、グループモードON時の操作の説明をします。

				グループ			グループ	
1	2	3	4	5	6	7	8	9

1～3曲を1つのグループにする　↓　複数のグループを1つのグループにする

グループ				グループ				
1	2	3	4	5	6	7	8	9

- 1と3、2と4、3と5～7、4と8～9など、連続していない曲番やグループなどはまとめることができません。
- グループモードがONになっていても曲番はディスクの通し番号で表示されます。

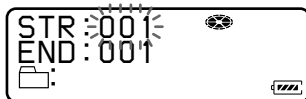
ご注意

1枚のディスク内の曲名、ディスク名の合計が本機の最大入力文字数を超えている場合は、グループ設定はできません。

本体で操作する

1 GROUPを2秒以上押して、グループモードをONにする。

2 停止中にジョグダイヤルを押す。

3 ジョグダイヤルを回して「EDIT」を点滅させ、押して決定する。

4 ジョグダイヤルを回して「🗀：Set」を点滅させ、押して決定する。
STR（先頭の曲）の曲番が点滅します。

5 **ジョグダイヤルを回してグループの先頭にしたい曲を選んで点滅させ、押して決定する。**
まとめたいグループの先頭曲が選ばれます。
グループモードがONになっていても、曲番はグループごとの番号ではなく、ディスクの通し番号で表示されます。

6 **ジョグダイヤルを回してグループの最後にしたい曲を点滅させ、押して決定する。**
まとめたいグループの最終曲が選ばれ、グループ名を入力できるようになります。

7 **グループ名をつける（「名前をつける」（50ページ）の手順4～7参照）。**

リモコンで操作する

1 DISPLAYを2秒以上押す。

2 回転つまみを回して「GROUP」を点滅させ、■を押して決定する。

3 回転つまみを回して「GROUP ON」を点滅させ、■を押して決定する。

4 停止中にDISPLAYを2秒以上押す。

5 回転つまみを回して「EDIT」を点滅させ、■を押して決定する。

6 回転つまみを回して「Group Set」を点滅させ、■を押して決定する。

7 回転つまみを回してグループの先頭にしたい曲を選んで点滅させ、■を押して決定する。

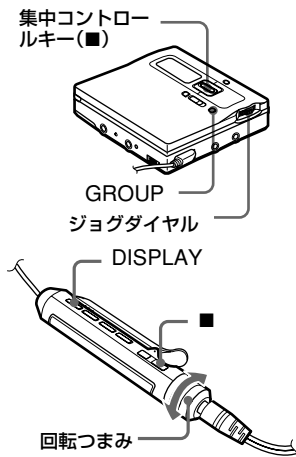
8 回転つまみを回してグループの最後にしたい曲を選んで点滅させ、■を押して決定する。

9 グループ名をつける（「名前をつける」（51ページ）の手順5～7参照）。

ご注意

- 手順5では、すでにあるグループの先頭曲かグループ設定されていない曲しか選べません。
- 手順6で最後の曲を選ぶときは、手順5で選んだ曲より後の曲しか選ぶことができません。また、まとめたいグループの最後の曲は、すでにあるグループの最後の曲かグループ設定されていない曲しか選べません。

グループを解除する

- グループ設定されたディスクを入れてください。

本体で操作する

1 **GROUPを2秒以上押して、グループモードをONにする。**

2 **解除したいグループを選び、（「グループを選んで聞く」（39ページ））参照）内容を確認する。**

3 **■側に倒す。**

次ページへつづく

4 ジョグダイヤルを押す。

5 ジョグダイヤルを回して「EDIT」を点滅させ、押して決定する。

6 ジョグダイヤルを回して「🗀 :Release」を点滅させ、押して決定する。

「Release?」、「PushENTER」が表示されます。

7 ジョグダイヤルを押して決定する。

グループが解除されます。

リモコンで操作する

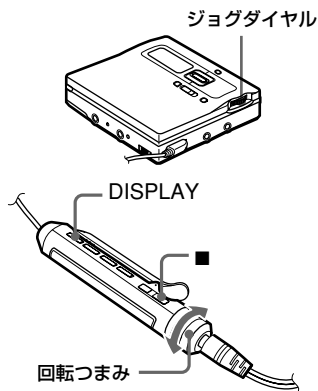
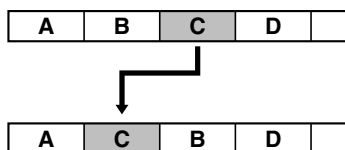
1 DISPLAYを2秒以上押す。
2 回転つまみを回して「GROUP」を点滅させ、■を押して決定する。
3 回転つまみを回して「GROUP ON」を点滅させ、■を押して決定する。
4 解除したいグループを選び、(「グループを選んで聞く」(39ページ)参照)内容を確認する。
5 ■を押す。
6 DISPLAYを2秒以上押す
7 回転つまみを回して「EDIT」を点滅させ、■を押して決定する。
8 回転つまみを回して「GroupRelease」を点滅させ、■を押して決定する。
「Release?」、「PushENTER」が表示されます。
9 ■を押して決定する。

途中でやめるときは

- 本体では
CANCELを押します。
- リモコンでは
DISPLAYを2秒以上押したままにします。

曲順を変える(ムーブ)

曲を移動して、曲順を変更できます。

例:3曲目(C曲)を2曲目に移動するとき

本体で操作する

1 移動したい曲の再生中に、ジョグダイヤルを押す。

2 ジョグダイヤルを回して「EDIT」を点滅させ、押して決定する。

1曲リピート再生になります。

3 ジョグダイヤルを回して「♫ : Move」を点滅させ、押して決定する。

表示窓の中段に曲番が点滅します。
曲名が入力されているときは、▶▶Iを押すと、曲名を表示させることができます。I◀◀を押すと曲番に戻ります。

4 **ジョグダイヤルを回して、移動先の曲番を点滅させる。**
例ではC曲を2曲目に移動したいので、ジョグダイヤルを上方向に回して、表示窓の中段に「002」が点滅するようにします。

5 **ジョグダイヤルを押して決定する。**
指定した位置に移動したい曲が移ります。

リモコンで操作する

1 移動したい曲の再生中に、DISPLAYを2秒以上押す。

2 回転つまみを回して「EDIT」を点滅させ、■を押して決定する。
1曲リピート再生になります。

3 回転つまみを回して、「Track Move」を点滅させ、■を押して決定する。
例では表示窓に「003 →003」と表示されます。

4 回転つまみを回して、移動先の曲番を点滅させる。
例では表示窓に「003 →002」と表示されます。

5 ■を押して決定する。
指定した曲番に移動したい曲が移ります。

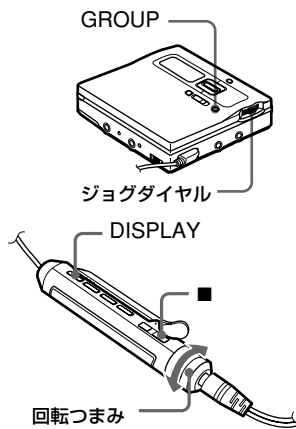
途中でやめるときは

- **本体では**
  手順4でCANCELを押します。
- **リモコンでは**
  DISPLAYボタンを2秒以上押します。

ご注意

グループ設定してあるディスクは、グループモードがONの状態で曲順を変えてください。グループモードがOFFのときに曲順を変えると、グループの構成が変わってしまう場合があります。

別のグループに曲を移動する

- グループ設定されたディスクを入れてください。

本体で操作する

1 **GROUPを2秒以上押して、グループモードをONにする。**

2 **移動したい曲の再生中に、ジョグダイヤルを押す。**

3 **ジョグダイヤルを回して「EDIT」を点滅させ、押して決定する。**
1曲リピート再生になります。

4 **ジョグダイヤルを回して「♫：Move」を点滅させ、押して決定する。**

次ページへつづく

5 ジョグダイヤルを回して移動先のグループを点滅させ、押して決定する。
表示窓の中段に再生中の曲が入っているグループの番号が点滅します。グループ名が入力されているときは、▶▶Iを押すと、グループ名を表示させることができます。I◀◀を押すと、グループの番号に戻ります。

6 ジョグダイヤルを回して、グループ内の移動先の曲番を点滅させ、押して決定する。
表示窓の中段に曲番が点滅します。
曲名が入力されているときは、▶▶Iを押すと、曲名を表示させることができます。I◀◀を押すと曲番に戻ります。

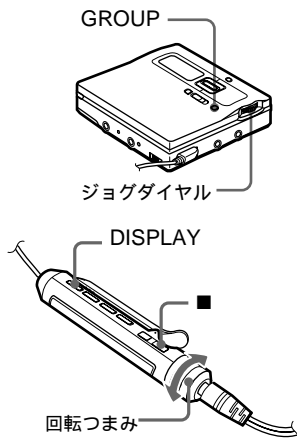
リモコンで操作する

1 移動したい曲の再生中に、DISPLAYを2秒以上押す。
2 回転つまみを回して「GROUP」を点滅させ、■を押して決定する。
3 回転つまみを回して「GROUP ON」を点滅させ、■を押して決定する。
4 DISPLAYを2秒以上押す。
5 回転つまみを回して「EDIT」を点滅させ、■を押して決定する。
1曲リピート再生になります。
6 回転つまみを回して、表示窓に「Track Move」を点滅させ、■ボタンを押す。
7 回転つまみを回して移動先のグループを点滅させ、■ボタンを押す。
8 回転つまみを回してグループ内の移動先の曲番を点滅させ、■ボタンを押す。

途中でやめるときは

- **本体では**
手順5でCANCELを押します。
- **リモコンでは**
DISPLAYボタンを2秒以上押します。

グループの順番を並べかえる(グループムーブ)

- グループ設定されたディスクを入れてください。

本体で操作する

1 GROUPボタンを2秒以上押して、グループモードをONにする。

2 移動したいグループ内の曲を再生中に、ジョグダイヤルを押す。

3 ジョグダイヤルを回して「EDIT」を点滅させ、押して決定する。

4 ジョグダイヤルを回して「🗀 : Move」を点滅させ、押して決定する。
表示窓の中段に再生中の曲が入っているグループの番号が点滅します。
グループ名が入力されているときは、▶▶Iを押すとグループ名を表示させることができます。I◀◀を押すと、グループ番号に戻ります。

5 **ジョグダイヤルを回して移動したい場所に移し、押して決定する。**

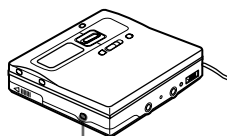
リモコンで操作する

1 DISPLAYを2秒以上押す。
2 回転つまみを回して「GROUP」を点滅させ、■を押して決定する。
3 回転つまみを回して「GROUP ON」を点滅させ、■を押して決定する。
4 DISPLAYを2秒以上押す。
5 回転つまみを回して「EDIT」を点滅させ、■を押して決定する。
6 回転つまみを回して「Group Move」を点滅させ、■を押して決定する。
7 回転つまみを回して移動したい場所に移し、■を押して決定する。

途中でやめるときは

- **本体では**
  手順4でCANCELを押します。
- **リモコンでは**
  DISPLAYボタンを2秒以上押します。

頭出しマーク(曲番)をつける

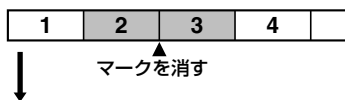
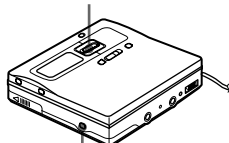
曲の途中に頭出しマークをつけて、そこから後ろを次の曲にすることができます。曲番は次のようになります。
パソコンからチェックアウトした曲は頭出しマークをつけることができません。

1 **再生中または再生一時停止中に、マークをつけたい位置でT MARKを押す。**
「MARK ON」が表示され、曲番が1つ増えます。そこから次の曲として記録されます。

マークをつけたい位置を探すときは、高速サーチ機能を使うと便利です。高速サーチ機能では曲名/曲番または経過時間を見ながら探すことができます(38ページ)。

録音中にマークをつけるには

録音(シンクロ録音を除く)中に、マークをつけたい位置でT MARKを押してください。また、オートタイムトラックマークを使って、一定時間おきに自動的にマークをつけることもできます(デジタル録音中を除く)(33ページ)。

頭出しマーク（曲番）を消す

アナログ入力（LINE IN）やマイク入力で録音したときは、静かな音が続く部分などに不要な頭出しマークがつくことがあります。その場合は、頭出しマークを消すと、前後の曲を1つの曲にまとめることができます。曲番は次のようになります。
パソコンからチェックアウトした曲は頭出しマークを消すことができません。

1 **曲番を消したい曲を再生し、❚❚側に倒して再生一時停止にする。**

2 **|◀◀を押して曲の先頭（00:00）にする。**
例えば、2曲目と3曲目をつなぎたいときは、3曲目の先頭にします。
「MARK」が2秒間表示されます。

3 **T MARKを押す。**
「MARK OFF」が表示され、指定した曲が前の曲につながります。

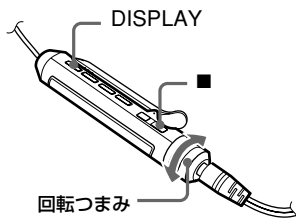
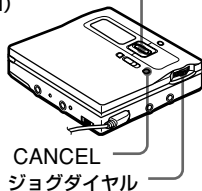
録音日時や曲名は、つないだ2曲の1曲目のものになります。

ご注意

- グループモードOFF時に別々のグループに属する連続した2つの曲をつなぐと、前の曲が属するグループに登録されます。また、連続した、グループ登録された曲とされていない曲をつなぐと、後ろの曲は前の曲の属性と同じになります。
- システム上の制約により、頭出しマークが消せない場合があります。その場合は「システム上の制約による症状と原因」（75ページ）をご覧ください。

曲を消す

ご注意

パソコンからチェックアウトした曲は消せません。グループやディスクごと消す場合も、チェックアウトした曲が、1曲でも含まれていると消すことができません。OpenMG Jukeboxにチェックインしてください。

1曲を消す

一度消した曲は元に戻すことができません。消す前に、曲の内容をよく確認してください。

本体で操作する

1 **消したい曲の再生中にジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「EDIT」を点滅させ、押して決定する。**

3 **ジョグダイヤルを回して「♫：Erase」を点滅させ、押して決定する。**
表示窓に曲名（または曲番）と「Erase OK?」、「PushENTER」が表示されます。

4 **ジョグダイヤルを押して決定する。**
曲が消去され、次の曲の再生になります。消した曲より後の曲番は1つずつくり上がります。

リモコンで操作する

1 消したい曲の再生中にDISPLAYを2秒以上押す。

2 回転つまみを回して「EDIT」を点滅させ、■を押して決定する。

3 回転つまみを回して「Track Erase」を点滅させ、■を押して決定する。
「Erase OK?」、「PushEnter」が表示されます。

4 ■を押して決定する。

曲の一部分を消すには

無音部分など不要な部分だけを消したいときは、不要な部分の始まりと終わりに頭出しマークをつけて（61ページ）、その部分を消してください。

途中でやめるときは

- **本体では**
  手順3でCANCELを押します。
- **リモコンでは**
  DISPLAYボタンを2秒以上押します。

全曲を消す

ディスク上の全ての曲を消します。
一度消したディスクは元に戻すことができません。必ずディスクの内容を確認してから行ってください。

1 **消したいディスクを再生し、ディスクの内容を確認する。**

2 **■側に倒す。**

3 **停止中に、ジョグダイヤルを押す。**

4 **ジョグダイヤルを回して「EDIT」を点滅させ、押して決定する。**

5 **ジョグダイヤルを回して、「⊖：Erase」を点滅させ、押して決定する。**
表示窓にディスク名と「AllErase?」、「PushENTER」が表示されます。

6 **ジョグダイヤルを押して決定する。**
「TOC Edit」表示が点滅し、全曲が消去されます。消去が終わると「BLANK DISC」が点滅し、「00：00」と表示されます。

途中でやめるときは

- **本体では**
  手順5でCANCELを押します。
- **リモコンでは**
  DISPLAYボタンを2秒以上押します。

グループごと消す

グループ名とグループ内の全ての曲を消去します。
一度消したグループは元に戻すことができません。必ずグループの内容を確認してから行ってください。

1 **GROUPボタンを2秒以上押し、グループモードをONにする。**

2 **削除したいグループを選び(「グループを選んで聞く」(39ページ))、内容を確認する。**

3 **■側に倒す。**

4 **停止中にジョグダイヤルを押す。**

5 **ジョグダイヤルを回して「EDIT」を点滅させ、押して決定する。**

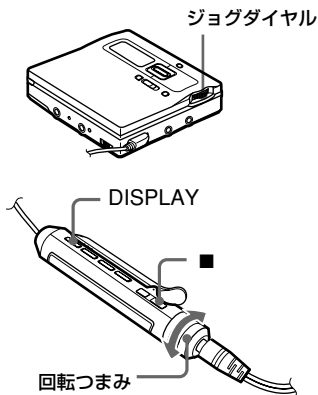
6 **ジョグダイヤルを回し「🗀：Erase」を点滅させ、押して決定する。**
表示窓にグループ名と「GP Erase?」が点灯し、「PushENTER」が点滅します。

7 **ジョグダイヤルを押して決定する。**
グループが削除されます。

途中でやめるときは

- **本体では**
  手順6でCANCELを押します。
- **リモコンでは**
  DISPLAYボタンを2秒以上押します。

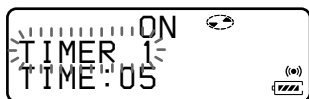
タイマーを使う
（メロディタイマー）

電車などで乗り越しを防いだりするのに便利です。3種類のタイマーを設定することができます。タイマーが鳴るまでの時間は1分から99分の間で設定することができます。

本体で操作する

1 **停止中、再生中、再生一時停止中にジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「M-TIMER」を点滅させ、押して決定する。**

3 **ジョグダイヤルを回して「ON」を点滅させ、押して決定する。**
((•))が点灯し、音の種類を設定できるようになります。

4 **ジョグダイヤルを回して、音の種類を選び、押して決定する。**

音の種類は次の3種類から選ぶことができます。

表示	音の種類
TIMER 1	メロディ（ベートーベン第9）
TIMER 2	メロディ（Over the rainbow）
TIMER 3	メロディ（きらきら星変奏曲）

5 **ジョグダイヤルを回して、音が鳴るまでの時間を選ぶ。**

ジョグダイヤルを回すたび、「TIME:01」から「TIME:99」（1分から99分）までが表示され、1分刻みで設定することができます。

6 **ジョグダイヤルを押して決定する。**
メロディタイマーが設定されます。
停止中は音が鳴るまでの時間が表示されます。

リモコンで操作する

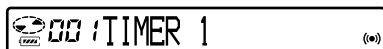
1 **停止中、再生中、再生一時停止中にDISPLAYを2秒以上押す。**

2 **回転つまみを回して「Melody Timer」を点滅させ、■を押して決定する。**

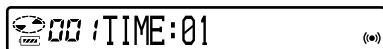
3 **回転つまみを回して「ON」を点滅させ、■を押して決定する。**
((•))が点灯し、音の種類を設定できるようになります。

次ページへつづく

4 **回転つまみを回して、音の種類を選び、■を押して決定する。**

```
001 TIMER 1
```

音の種類については「本体で操作する」の手順4をご覧ください。

5 **回転つまみを回して音が鳴るまでの時間を選ぶ。**

```
001 TIME:01
```

回転つまみを回すたび、「TIME:01」から「TIME:99」（1分から99分）までが表示され、1分刻みで設定することができます。

6 **■を押して決定する。**

メロディタイマーが設定されます。
停止中は音が鳴るまでの時間が表示されます。

再生中に残り時間を確認するには

本体では手順3までを、リモコンでは手順4までをもう一度行ってください。音が鳴るまでの時間が表示されます。確認が終わったら、本体ではCANCELを、リモコンではDISPLAYを2秒以上押してください。

途中でやめるときは

- **本体では**
  CANCELを押します。
- **リモコンでは**
  DISPLAYを2秒以上押します。

予約を解除するには

手順3で「OFF」を選び、本体ではジョグダイヤルを、リモコンでは■を押します。

タイマーの音を止めるには

いずれかのボタンを押します。ボタンを押すと、音は止まりますが、そのボタン本来の機能は働きません。

- 手順3で操作を終了すると前回と同じ設定でタイマーが設定されます。
- タイマーの音は1分間鳴り、その後は設定が解除されます。停止中に音が鳴り終わると、約10秒で電源が切れます。再生中に音が鳴り終わると、そのまま再生が続きます。

ご注意

- 録音を開始すると、設定は解除されます。
- 手順3で「ON」を選んだ時点で、タイマーはカウントを始めます。また、手順5で音が鳴るまでの時間を変更した時点で、カウントをやり直します。

カナ・漢字で登録された曲のタイトルを見る

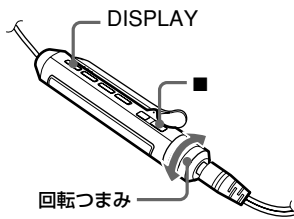
ミニディスクには、以下のような文字を登録することができる2つの異なる領域があります。

① 半角文字領域
（カタカナ、アルファベット、数字、記号入力可能）
② 全角文字領域
（漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字、記号入力可能）

本機に付属のリモコンでは、以下のように表示方法の選択をすることができます。半角文字領域で登録された文字も全角文字領域で登録された文字も、付属のリモコンでは、全角文字で表示されます。

ご注意

本体またはリモコンで漢字を入力することはできません。OpenMG Jukeboxを使って入力してください。

- カナ漢字交互（お買い上げ時の設定）
  タイトル／アーティスト名が全角文字領域と半角文字領域に登録されたディスクを再生したとき、リモコン表示窓に全角文字領域に登録された文字がはじめに表示されます。その後半角文字領域に登録された文字が表示されます。
  タイトル名を全角文字領域に登録し、アーティスト名を半角文字領域に登録したディスクを再生するときなどに便利です。
  文字数が多い場合は、リモコン表示窓に横に文字が流れます。（スクロール）
- 漢字優先
  タイトル／アーティスト名が全角文字領域と半角文字領域に登録されたディスクを再生したとき、リモコン表示窓に全角文字領域に登録された文字のみが表示されます。
  ただし、半角文字領域のみに登録されたディスクを再生した場合は、半角文字領域に登録された文字のみが表示されます。

1 DISPLAYを2秒以上押す。

2 回転つまみを回して「OPTION」を点滅させ、■を押して決定する。

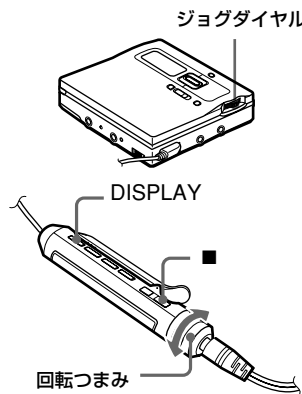
3 回転つまみを回して「漢字方式選択」を点滅させ、■を押して決定する。

4 回転つまみを回して「カナ漢字交互」または「漢字優先」を点滅させ、■を押して決定する。

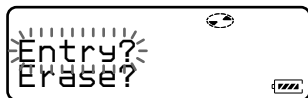
その他の機能

ディスクごとに設定を記憶する(パーソナルディスクメモリー)

ディスクの設定情報を本体に登録します。一度登録したディスクを再度入れなおすと、設定情報は自動的に呼び出されます。次の設定情報が登録できます。

- 音量
- 再生モード
- グループモード
- プログラム再生
- 音質（デジタルサウンドプリセット）
- 再生速度（スピードコントロール）

本体で操作する

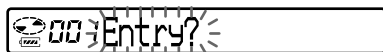
1 **停止中、再生中、再生一時停止中に、ジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「PERSONAL」を点滅させ、押して決定する。**
「Entry?」が点滅します。

3 **ジョグダイヤルを押して決定する。**
「Entry OK」と表示され、現在のディスクの設定情報が登録されます。

リモコンで操作する

1 **停止中、再生中、再生一時停止中にDISPLAYを2秒以上押す。**

2 **回転つまみを回して「PERSONAL」を点滅させ、■を押して決定する。**
「Entry?」が点滅します。

00 Entry?

3 **■を押して決定する。**
「Entry OK」と表示され、現在のディスクの設定情報が登録されます。

登録を消すには

- **本体では**

1 登録から削除したいディスクを入れ、内容を確認する。
2 上記手順2の後、ジョグダイヤルを回して「Erase？」を点滅させ、押して決定する。
「Erase OK」と表示されディスクの設定情報は登録から削除されます。

- **リモコンでは**

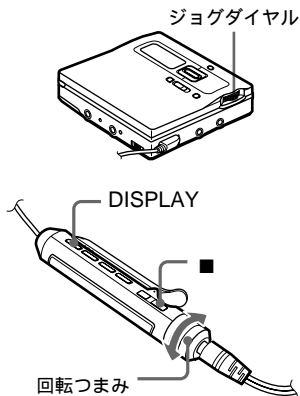
1 登録から削除したいディスクを入れ、内容を確認する。
2 上記手順2の後、回転つまみを回して「Erase？」を点滅させ、■を押して決定する。

ご注意

- ディスク20枚分まで登録することができますが、20枚を越えると再生した時期が古いものから、自動的に消去されます。
- 一度登録したディスクを編集（名前の編集は除く）したり、録音したりすると、別のディスクと認識され、登録されている情報は無効になります。その場合は、もう一度登録し直してください。
- 登録していないディスクでこの操作を行うと、「No Entry!」が2秒間表示されます。

音もれを抑え耳にやさしい音にする

（音量リミット — AVLS）

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。

本体で操作する

1 **ジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「OPTION」を点滅させ、押して決定する。**

3 **ジョグダイヤルを回して「AVLS」を点滅させ、押して決定する。**

4 **ジョグダイヤルを回して「AVLS ON」を点滅させ、押して決定する。**
音量を一定のレベル以上に上げようとすると、表示窓に「AVLS」が点滅し、それ以上音量が上がらなくなります。

リモコンで操作する

1 **DISPLAYを2秒以上押す。**

2 **回転つまみを回して「OPTION」を点滅させ、■を押して決定する。**

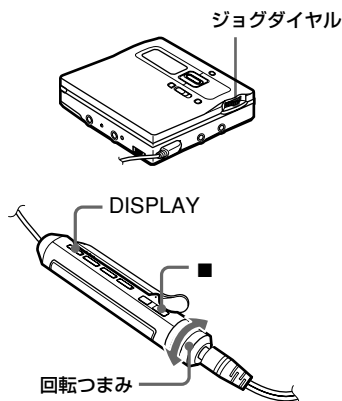
3 **回転つまみを回して「AVLS」を点滅させ、■を押して決定する。**

4 **回転つまみを回して「AVLS ON」を点滅させ、■を押して決定する。**

設定を解除するには

手順4で「AVLS OFF」を点滅させ、ジョグダイヤル（本体）または■（リモコン）を押して決定します。

確認音を消す

本体・リモコンの確認音をそれぞれ消すことができます。本体では、本体とリモコンの確認音、リモコンではリモコンのみの確認音を消すことができます。

本体で操作する

1 ジョグダイヤルを押す。

2 ジョグダイヤルを回して「OPTION」を点滅させ、押して決定する。

3 ジョグダイヤルを回して「BEEP」を点滅させ、押して決定する。

4 ジョグダイヤルを回して「MAIN UNIT」または「REMOTE」を点滅させ、押して決定する。
MAIN UNIT：本体の確認音
REMOTE：リモコンの確認音

5 ジョグダイヤルを回して「BEEP OFF」を点滅させ、押して決定する。

リモコンで操作する

1 DISPLAYボタンを2秒以上押す。

2 回転つまみを回して「OPTION」を点滅させ、■を押して決定する。

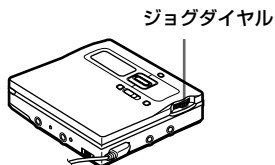
3 回転つまみを回して「BEEP」を点滅させ、■を押して決定する。

4 回転つまみを回して「BEEP OFF」を点滅させ、■を押して決定する。

確認音が鳴るようにするには

本体では手順5で、リモコンでは手順4で「BEEP ON」を選びます。

表示窓の濃淡を調節する（コントラスト調整）

本体の液晶表示のコントラストを調節することができます。

1 停止中に本体のジョグダイヤルを押す。

2 ジョグダイヤルを回して「OPTION」を点滅させ、押して決定する。

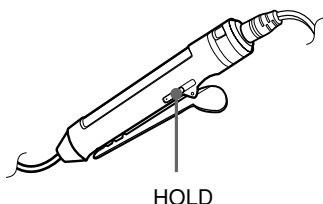
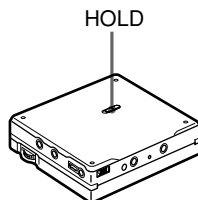
3 ジョグダイヤルを回して「CONTRAST」を点滅させ、押して決定する。

4 ジョグダイヤルを回して表示窓の濃淡を選び、押して決定する。

ご注意

リモコンで本体のコントラストは調節できません。また、リモコンの表示窓のコントラストは調節できません。

誤操作を防ぐ（ホールド）

カバンに入れて使うときなどに、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぎます。

1 HOLDスイッチを➡方向にずらす。

本体のHOLDスイッチは本体の操作ボタンが、リモコンのHOLDスイッチはリモコンの操作ボタンが働かなくなります。

設定を解除するには

HOLDスイッチを矢印と逆の方向にずらします。

電源について

家庭用電源（コンセント）以外に本機で使える電源は、以下の通りです。

- 本体に入れて…
  －充電式ニッケル水素電池 NH-14WM
- バッテリーケースを使って…
  －単3形アルカリ乾電池

録音などで長時間お使いになるときは、家庭用電源（コンセント）につなぐことをおすすめします。

電池の持続時間[1)]

長時間録音するときは、家庭用電源（コンセント）につないで使うことをおすすめします。

(JEITA[2)])

録音[3)]

使用電池	ステレオ	LP2 ステレオ	LP4 ステレオ
充電式ニッケル水素電池[4)]	約12時間	約17時間	約21時間
アルカリ乾電池[5)]	約12時間	約19時間	約23時間
充電式ニッケル水素電池[4)]＋アルカリ乾電池[5)]	約30時間	約43時間	約52時間

再生

使用電池	ステレオ	LP2 ステレオ	LP4 ステレオ
充電式ニッケル水素電池[4)]	約30時間	約38時間	約42時間
アルカリ乾電池[5)]	約44時間	約52時間	約62時間
充電式ニッケル水素電池[4)]＋アルカリ乾電池[5)]	約79時間	約95時間	約110時間

1) 電池持続時間は周囲の温度や使用状態、電池の種類により、短くなる場合があります。
2) JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。
3) 録音する場合には電池の消耗による失敗を防ぐため、新しい乾電池または充分に充電した充電式電池をお使いください。
4) 充電式ニッケル水素電池NH-14WM(A)、100%充電時。
5) 日本製ソニースタミナアルカリ乾電池LR6(SG)で測定しています。

電池交換の目安について

電池が消耗すると、本体やリモコンの表示窓に「▭」が点滅したり、「LOW BATT」が点滅します。新しい電池と交換するか、充電しなおしてください。
電池残量表示は実際の残量ではなく、あくまでも目安として表示しています。動作状況により増減することがあります。

ご注意

電池を交換するときは、本体を停止してから交換してください。

使用上のご注意

分解しないでください

ミニディスクレコーダーに使われているレーザーが目にあたると危険です。

レンズに触れないでください

レンズが汚れると音飛びが起きたり、再生できなくなったりする場合があります。
また、ほこりがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。

ACパワーアダプター（付属のUSBクレードル専用）について

この製品には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外の製品を使用すると、故障の原因になることがあります。

極性統一形プラグ

ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

日本国内での充電式電池の廃棄について

Ni-MH

ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については社団法人電池工業会ホームページ http://www.baj.or.jp/ を参照してください。

海外での充電式電池の廃棄について

各国の法規制にしたがって廃棄してください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコンやヘッドホンのコードを強く引っぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  — 温度が非常に高いところ（60℃以上）。
  — 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  — 窓を閉めきった自動車内（特に夏期）。
  — 風呂場など湿気の多いところ。
  — 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
  — ほこりの多いところ。
- 温度が高いところ（40℃以上）や低いところ（0℃以下）では液晶表示が見にくくなったり、表示の変わりかたがゆっくりになることがあります。常温に戻れば元に戻ります。
- キャリングポーチには本体と一緒に硬いものを入れないでください。塗装のはげや傷の原因になります。

温度上昇について

充電中および長時間お使いになったときに、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

動作音について

本機は省電力の動作方式になっています。そのため、動作中は断続的に動作音がしますが故障ではありません。

ミニディスクの取り扱いについて

- ミニディスク自体はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれや反りなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。
  — **ミニディスクに直接触れない**
  シャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。

  — **持ち運ぶときや保管するときはケースに入れる**
  — **置き場所について**
  直射日光があたるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。また、砂浜など、ディスクに砂が入る可能性があるところには放置しないでください。
  — **定期的にお手入れを**
  カートリッジ表面についたほこりやゴミを、乾いた布でふきとってください。
- ディスクに付属のラベルは所定以外の位置に貼らないでください。必ず、ラベル用のくぼみに合わせて貼ってください。

ヘッドホンについて

- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターに相談してください。
- 付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎてまわりの人に迷惑にならないように気をつけましょう。
  雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

リモコンについて

付属のリモコンは本機専用です。また、他機種に付属のリモコンで、本機の操作はできません。

乾電池ケースについて

付属の乾電池ケースは本機専用です。

お手入れについて

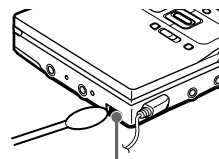
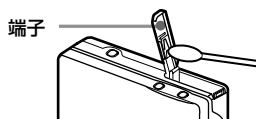
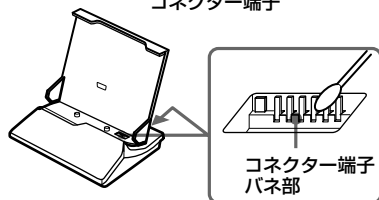
表面が汚れたときは

水気を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので使わないでください。

ヘッドホンおよびリモコンプラグのお手入れ

プラグが汚れていると雑音や音切れの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。

端子のお手入れ

定期的に各端子を綿棒ややわらかい布などできれいにしてください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーのサービス窓口にご相談ください。（ディスクが本体に入っているときに故障した場合は、故障原因の早期解決のため、ディスクを入れたままご相談されることをおすすめします。）

システム上の制約による症状と原因

ミニディスクシステムでは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

症状	原因
最大録音可能時間(60分、74分、80分)に達していなくても、「TR FULL」表示が出て録音が開始できない。	254曲録音されるとそれ以上の録音はできません。 さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。
曲数も録音時間も余裕があるのに、「TR FULL」表示が出て、録音が止まる。	同じディスクで録音、消去をくりかえすと、1曲のデータが連続して記録されず、空いているところに分割して記録されることがあります。ミニディスクは、このような場合でも離れたデータをすばやく探し出し、順に再生します。ただし、分割したそれぞれのデータは曲の区切り（1曲）と同じ扱いになり、データが全部で254個になると、録音できなくなります。さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。
頭出しマーク(曲番)が消せない。	つなごうとする曲のデータがディスク上に分散し、それぞれのデータの長さが12秒以下（ステレオ録音時）、24秒以下（LP2ステレオ録音、モノラル録音時）、または48秒以下（LP4ステレオ録音時）のとき、その曲の頭出しマーク（曲番）を消して前の曲とつなぐことはできない場合があります。異なる録音モードで録音された曲の間(LP2ステレオ録音された曲とLP4ステレオ録音された曲の間など)の頭出しマークは消すことができません。「SORRY」が表示されます。
曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない。	ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒以下（ステレオ録音時）、24秒以下（LP2ステレオ録音、モノラル録音時）、または48秒以下（LP4ステレオ録音時）の部分は無視します。このため、短い曲を何曲消しても録音できる残り時間が増えないことがあります。
ディスクに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間(60分、74分、80分)に一致しない。	通常、録音はステレオ録音時で約2秒、LP2ステレオ録音またはモノラル録音時で約4秒、LP4ステレオ録音時で約8秒を最小単位としてディスクに記録します。録音を止めたところでは、記録の最後の部分が実際には2秒（4秒または8秒）に満たない場合でも約2秒（4秒または8秒）分のスペースを使います。また、録音を止めた後再び録音を始めるときには、録音を始めたところで約2秒（4秒または8秒）分のスペースを空けて記録を始めます。これは、録音を始めるときに誤って前の曲を消さないためです。このため、実際に録音できる時間は録音を止めるたびに、最大録音可能時間よりも最大で6秒（12秒または24秒）短くなります。
編集した曲を再生しながら早送り、早戻しすると、音がとぎれる。	再生しながら早送り、早戻しするときは通常より高速で再生するため、短い曲がディスク上のいろいろなところに点在していると、探すのに時間がかかり、音がとぎれることがあります。

新しいグループが録音されない 新しいグループを設定できない	グループ情報はディスク名の領域を使って行われます。ディスク名と曲名は同じ領域に記録され、最大文字数はディスク名（グループ情報含む）と曲名合計で約1700文字です。この文字数を超えた場合、グループモードで録音しても新しいグループは作成されません。また、グループ設定しようとしてもできません。
チェックアウトした曲の演奏時間がパソコン上の演奏時間と一致しない。	本体とパソコンの計算誤差です。
ディスクの録音可能時間いっぱいにチェックアウトできない。（例：80分ディスクに対してLP2ステレオ録音で160分チェックアウトできない。）	通常、ディスクへの記録はステレオ録音時で約2秒、LP2ステレオ録音時で約4秒、LP4ステレオ録音時で約8秒を最小単位として行われます。チェックアウトした場合、曲の最後の部分が実際には2秒（4秒または8秒）に満たない場合でも、約2秒（4秒または8秒）分のスペースを使います。また、チェックアウトした場合には、曲と曲の間に約2秒（4秒または8秒）分のスペースを空けて記録を始めます。これは、記録を始めるときに、誤って前の曲を消さないためです。このため、実際にチェックアウトできる曲の時間は、1曲ごとに最大録音可能時間よりも最大で6秒（12秒または24秒）短くなります。
チェックアウトした曲が消去できない。	チェックアウトした曲は、パソコンにチェックインして、OpenMG Jukeboxを使って消去してください。
ACパワーアダプターで使用時、停止後もしばらく表示窓がかすかに光っている。	USBクレードルでの充電時間を積算するために、停止後3分たってから電源が切れることになっています。

故障かな?と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。ご不明な点があるときは裏表紙に記載されているテクニカルインフォメーションセンターへお問い合わせください。メッセージ一覧（87ページ）も合わせてご覧ください。

症状	原因	処置
ふたが開かない	録音・編集中に電源をはずしたり電池が消耗している。	電源を入れ直し、消耗した電池は新しいものと交換する。
	チェックイン／チェックアウト動作が完了していない。	パソコンの画面からダイアログボックスが消え、本体表示が停止状態になってから、集中コントロールキーを■側に倒して、本体をUSBクレードルから外す。
操作を受けつけない、または正しく動作しない	ホールド機能が働いている（本体の操作ボタンを押すと「HOLD」表示が出る）。	HOLDスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除する（17、71ページ）。
	ふたがしっかりと閉まっていない。	カチッと音がするまでふたを閉めてからOPENボタンを押す。
	結露（内部に水滴が付着）している。	ディスクを取り出して、そのまま数時間おく。
	ACパワーアダプターがしっかり差し込まれていない。	DC IN 3Vジャックとコンセントにしっかり差し込む。
	充電池または乾電池が消耗している（「LOW BATT」表示が点滅または何も表示されない）。	充電池を充電するか、乾電池を新しいものと交換する（16、17ページ）。またはACパワーアダプターを本体につなぐ。
	乾電池が正しく入れられていない。	乾電池の⊕端子と⊖端子を正しく入れなおす（16ページ）。
	使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けている。	次の手順で操作しなおす。 1　すべての電源をはずす。 2　約30秒間そのままにする。 3　電源をつなぐ。
	損傷しているディスク、または録音や編集の内容などの情報が正しく入力されていないディスクが入っている。	ディスクを入れなおす。録音しなおす。それでもエラー表示が出るときは、他のディスクと取りかえる。
	プログラム設定中にグループモードをONに切り換えようとした。	プログラム設定をする前に、グループモードにしてください。
	内部システムが誤動作している。	USBクレードルから、一度本体を外し、パソコンを再起動してから装着する。
パソコンに接続したが、動作しない。	パソコンに本体が認識されていない。	• USBケーブルの接続を確認する。 • USBクレードルに本体を正しくのせる。 • パソコンにアプリケーションドライバを正しくインストールする。 • まず、パソコンにOpenMG Jukeboxをインストールしてから、本機を接続する。
通常の再生ができない	リピート再生を指定している。	本体ではジョグダイヤルを使って(リモコンではREP/ENTボタンを押して)、⮌(リピート)表示を消してから再生を始める（40、41ページ）。

その他

症状	原因	処置
通常の再生ができない	再生モードを変えた	本体ではジョグダイヤルを使って（リモコンではPLAY MODEボタンを押して）、通常の再生に戻してから再生を始める。
ディスクの1曲目から再生しない	前回再生したときディスクの途中で止めた。	一度停止させ、本体の集中コントロールキーの►を2秒以上押したままにする。またはリモコンの回転つまみを► ►►I側に2秒以上回したままにする。
	グループモードがONになっている。	グループモードをOFFにしてから一度停止させ、本体の集中コントロールキーの►を2秒以上押したままにする。またはリモコンの回転つまみを► ►►I側に2秒以上回したままにする。
	パーソナルディスクメモリーに登録した。	パーソナルディスクメモリーから削除する。
再生中に音がとぎれる	振動の多い場所に置いている。	振動の少ない場所で使う。
	ナレーションやイントロなど1曲の録音時間が極端に短い。	1秒以下の短いトラック（曲）を作らない。
雑音が多い	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから離して置く。
充電ができない、または充分に充電ができない	充電スタンドの充電用端子が汚れている	充電用端子を乾いた布などで拭いてください（74ページ）。
上書き録音した	録音開始位置の設定（「REC Posi」）が「From Here」になっている。	録音開始位置の設定（「REC Posi」）を「From End」にする（32ページ）。
録音・編集できない	音源と正しくつながれていない。	つなぎなおす（19、28ページ）。
	ポータブルCDプレーヤーからデジタル出力が出ていない。	ポータブルCDプレーヤーを家庭用電源につなぎ、音飛びガード機能（ESPなど）を「切」にする。
	抵抗入りの接続コードを使っている（アナログ入力録音時）。	抵抗が入っていない接続コードを使う。
	録音レベルが小さすぎる（手動調節時）。	ジョグダイヤルで録音レベルを調節する（34ページ）。
	録音、または編集中に電源が抜かれた、または停電になった。	それまでの録音の内容は消えているので、初めから録音しなおす。
ヘッドホンから音が出ない	リモコン付きヘッドホンがしっかり差し込まれていない。	Ω/LINE OUTジャックにしっかり差し込む。
		リモコン本体にヘッドホンプラグをしっかり差し込む。
音が大きくならない	AVLSが働いている	AVLSの設定を解除する（69ページ）。
時計が正確に動かない 録音日時が記録されない	3分以上、本体から電源が外れていたため、お買い上げ時の設定に戻ってしまった。	ACパワーアダプターをコンセントにつないで充電し、時計を合わせる（37ページ）。
時計表示が出ない（--y--m--dになる）または録音日時が記録されない	時計合わせをしていない。またはお買い上げ時の設定に戻ってしまった。	時計を合わせる（37ページ）。

症状	原因	処置
音量が調節できない、雑音が入る、またはデジタルサウンドプリセットが働かない	♫/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が「LINE OUT」になっている。	♫/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「HeadPhone」にする（26ページ）。または、リモコン付きヘッドホンをつなぐ。
他機種で編集ができない	ステレオ長時間録音モードに対応していない機器で編集しようとした。	本機、または他のステレオ長時間録音モードに対応している機器で編集する。
録音時、瞬間的なノイズが発生する	LP4ステレオ録音では、圧縮方式の特性上、録音元の音源によっては、ごくまれに瞬間的なノイズが発生する。	ステレオ録音またはLP2ステレオ録音を行う。
早送りまたは早戻しをすると何曲か先または前の曲に飛んでしまう。	グループスキップモードが働いている。	何も操作せずに5秒以上待つと、自動的にグループスキップモードが解除される（39ページ）。
グループ機能またはグループスキップ機能が働かない	プログラム設定中にグループモードをONに切り換えようとした。	プログラム設定する前に、グループモードにする。
液晶表示が通常表示と違う	電源を抜いた。	しばらく放置する。または電源を入れていずれかの操作ボタンを押す。
チェックアウトしたのにMDの中に曲がない。	チェックアウトの途中で本体をUSBクレードルから外した。	チェックアウトが完了し、本体の動作が止まるまで、USBクレードルから外さないでください。

メニュー一覧（本体／リモコン）

メニューの機能

本体ではジョグダイヤルを押して、リモコンではDISPLAYボタンを2秒以上押してメニューに入ります。

本体メニュー＊	リモコンメニュー＊	機能
EDIT	EDIT	曲名やディスク名、グループ名をつけたり、曲を消したり、グループ編集したりできます（49〜61、63、64ページ）。
DISPLAY	—	曲の経過時間や残り時間などの表示を選べます（35、45ページ）。
PLAY MODE	—	シャッフル再生、リピート再生など、再生状態を選べます（40ページ）。
RecVolume	—	録音レベルの自動調節／手動調節を選べます（34ページ）。
REC MODE	—	録音モード（SPステレオ／LP2ステレオ／LP4ステレオ／モノラル）を選べます（29ページ）。
M-TIMER	Melody Timer	メロディタイマーの設定ができます（65ページ）。

AUDIO OUT	—	🎧/LINE OUT出力の設定を選べます（47ページ）。
SOUND	—	デジタルサウンドプリセットの設定を選べます（42ページ）。
—	SPEED	再生中に再生速度を変えることができます（44ページ）。
—	GROUP	グループモードのON/OFFを選べます（31、38ページ）。
PERSONAL	PERSONAL	パーソナルディスクメモリーへの登録／削除ができます（68ページ）。
SYNC REC	—	シンクロ録音のON/OFFを選べます（20ページ）。
TIME MARK	—	オートタイムトラックマークの設定を選べます（33ページ）。
MIC SENS	—	マイク感度を選べます（33ページ）。
—	SEARCH	インデックスサーチ（曲番や曲名を見ながら聞きたい曲を探す）またはタイムサーチ（経過時間を見ながら聞きたい場所を探す）を選べます（38ページ）。
OPTION	OPTION	• AVLS — AVLSのON/OFFを選べます（69ページ）。 • BEEP — 確認音を鳴らす／鳴らさないを選べます（70ページ）。
	—	• REC-Posi — 録音開始位置の設定を選べます（32ページ）。 • LP Stamp — MDLP録音時に曲名の先頭に「LP:」をつける／つけないを選べます（29ページ）。 • CONTRAST — 本体の画面の濃さを調節できます（71ページ）。 • CLOCK SET — 日付けと時刻を設定できます（37ページ）。
—	OPTION	漢字方式選択 — リモコンの表示窓の表示モードを「漢字優先」または「カナ漢字交互」から選べます（67ページ）。

＊ グループモードのON/OFFや動作状況により、選べるメニューは異なります。詳しくは参照ページをご覧ください。

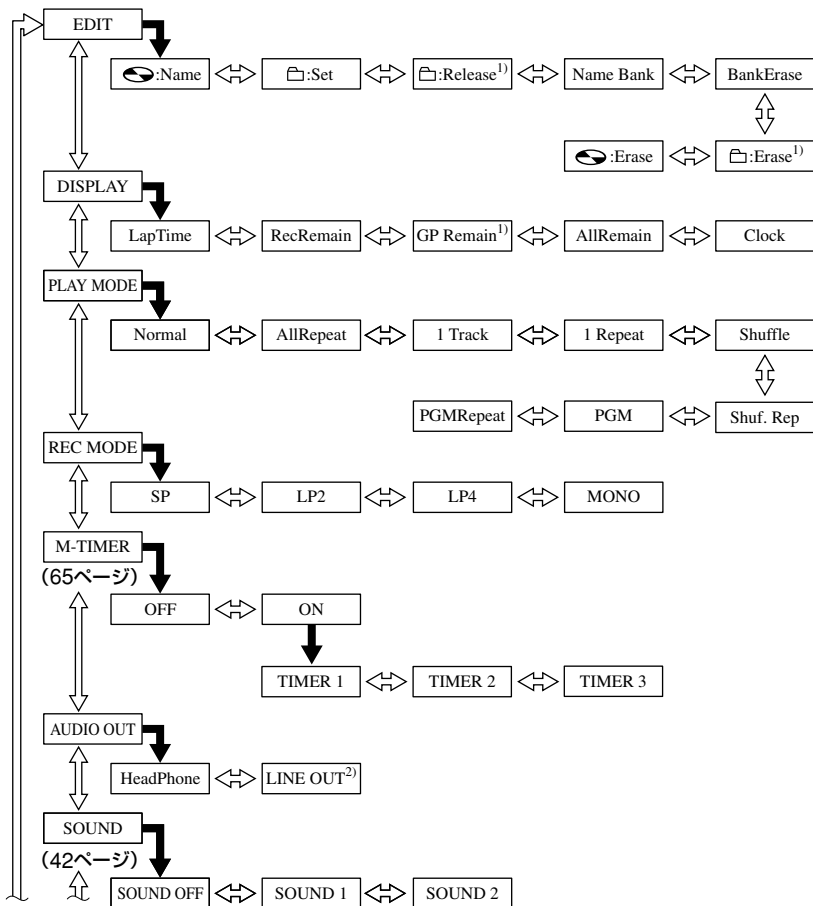
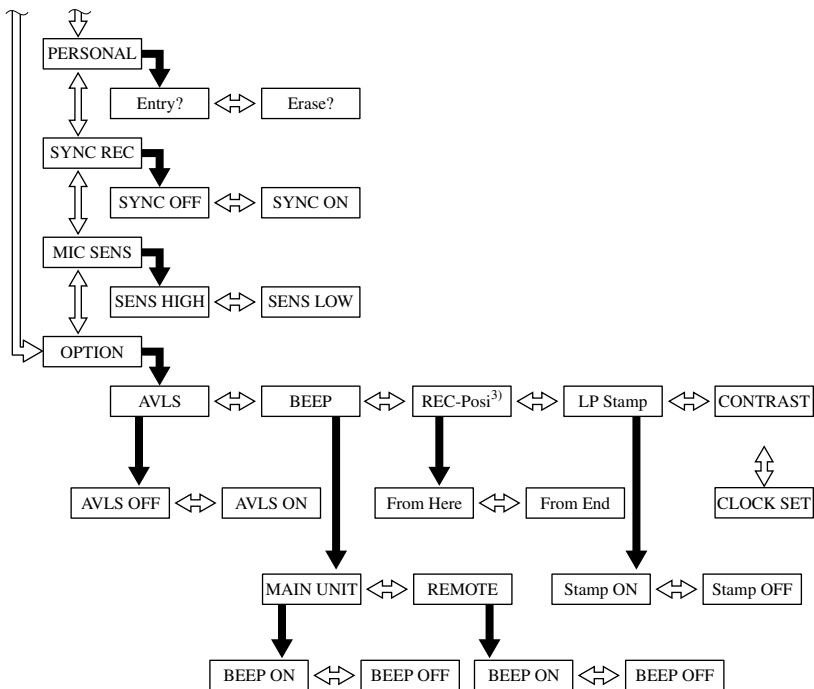
リモコンのDISPLAY（36、46ページ）、PLAY MODE（41ページ）、REP（リピート）（41ページ）、SOUND（43ページ）機能は各ボタンを操作してください。

本体（ジョグダイヤル）の動作条件別メニュー一覧

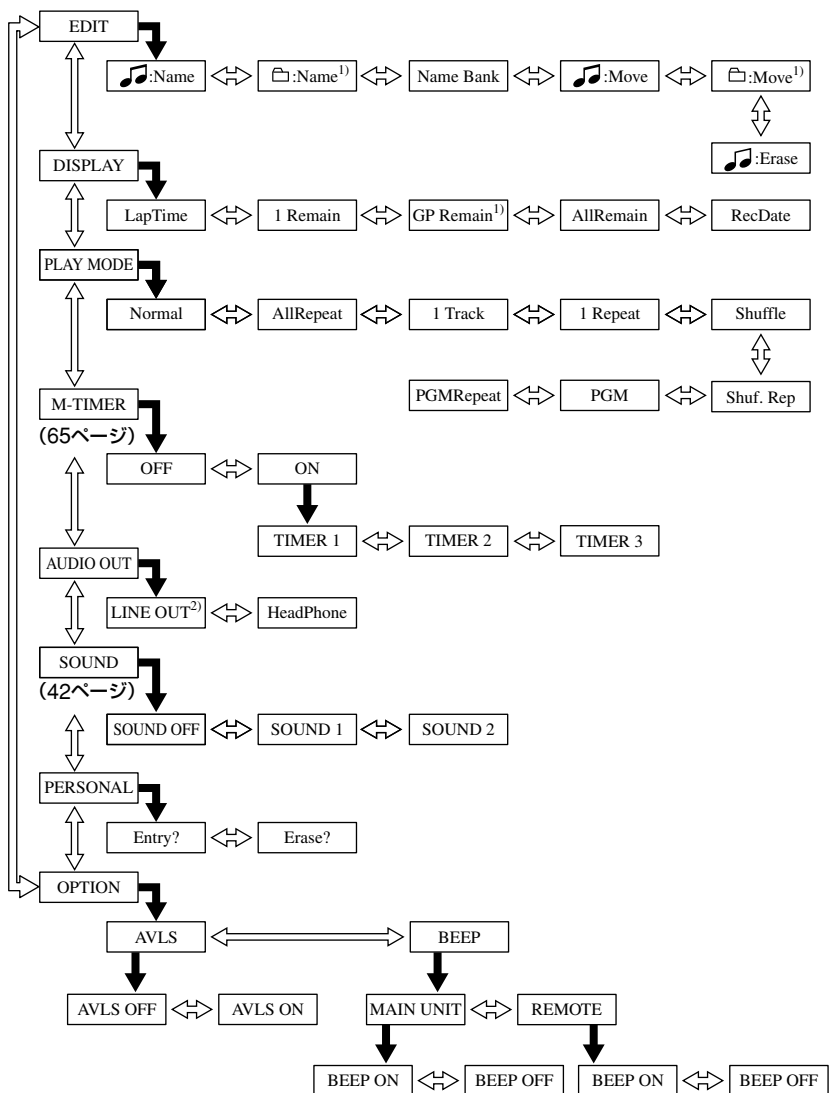
本体のジョグダイヤルで選べるメニューの一覧です。操作について詳しくは79、80ページの表中の参照ページをご覧ください。ジョグダイヤルをくり返し回すとメニューの項目はくり返し表示されます。

停止中のメニュー

次ページへつづく

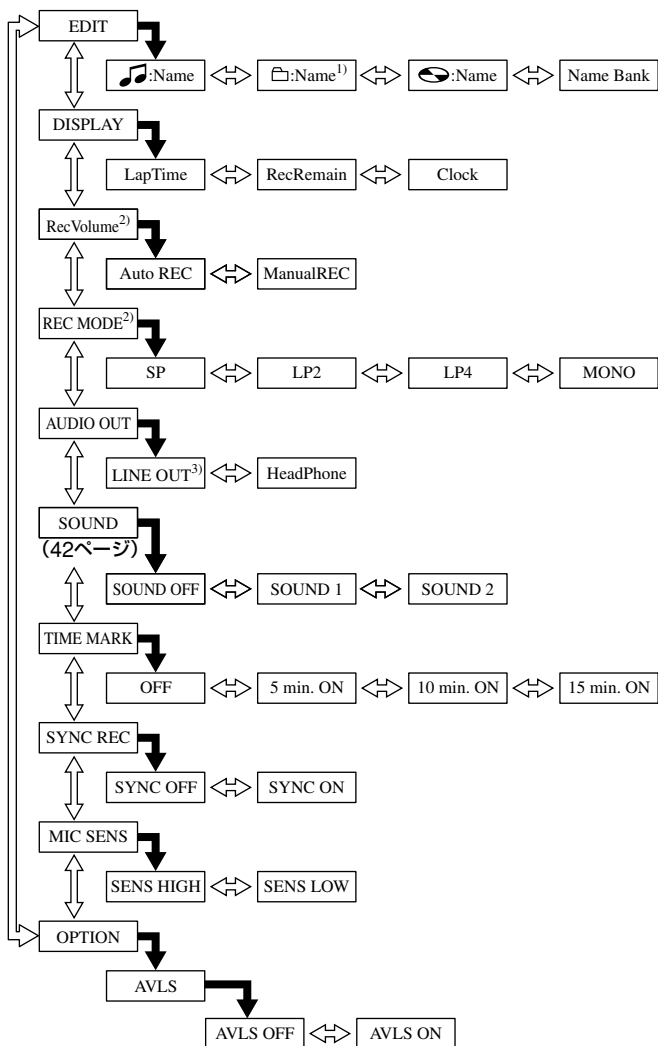
その他

1) グループモードがONの状態で、いずれかのグループ内にいるときのみ表示されます。
2) ∩/LINE OUTジャックにリモコンプラグをつないでいるときは表示されません。
3) グループモードがOFFになっているときのみ選択できます。

操作の途中でやめたいときは、CANCELボタンを押してください。

再生中のメニュー

1) グループモードがONの状態で、グループ内の曲を再生中のみ表示されます。

2) ☊/LINE OUTジャックにリモコンをつないでいるときは表示されません。

操作の途中でやめたいときは、CANCELボタンを押してください。

録音中のメニュー

1) グループモードがONのときのみ表示されます。

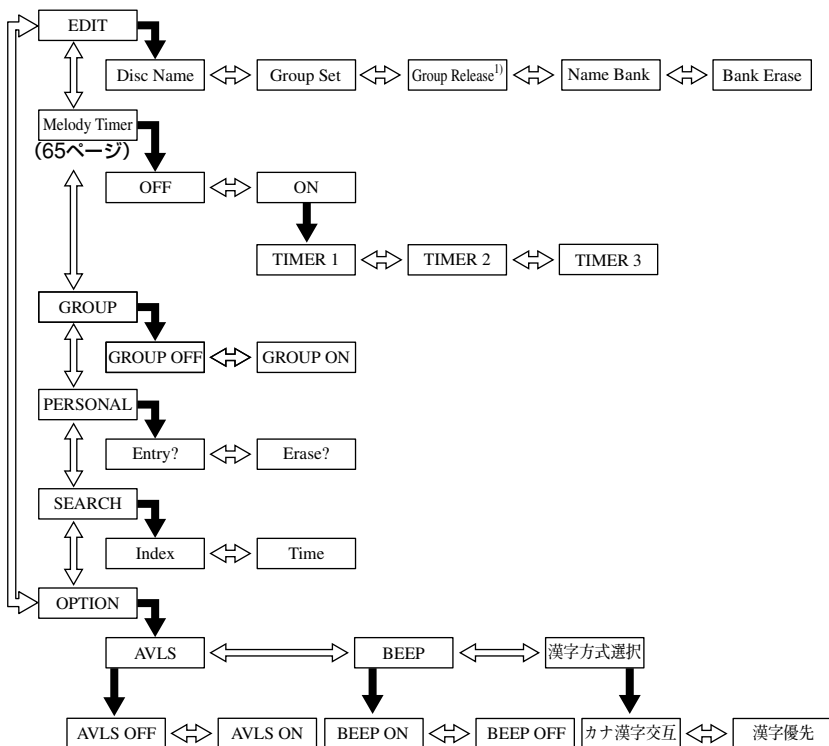
2) 録音一時停止中のみ表示されます。

3) ☊/LINE OUTジャックにリモコンをつないでいるときは表示されません。

操作の途中でやめたいときは、CANCELボタンを押してください。

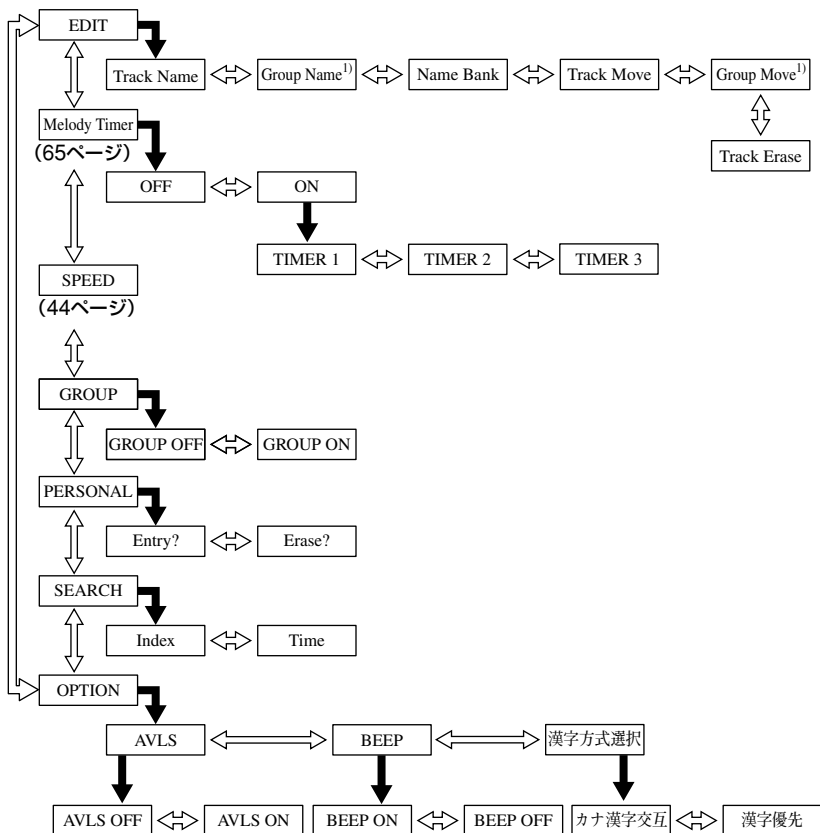
リモコンの動作条件別メニュー一覧

リモコンで選べるメニューの一覧です。メニューが表示されるまでDISPLAYボタンを押したままにします。メニューの項目は回転つまみをくり返し回すとくり返し表示されます。

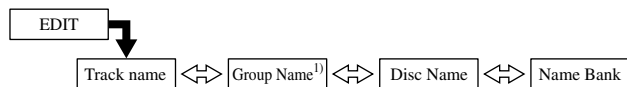
停止中のメニュー

1) グループモードがONの状態で、いずれかのグループ内にいるときのみ表示されます。

操作の途中でやめたいときは、DISPLAYボタンを2秒以上押してください。

再生中のメニュー

- EDIT
  - Track Name ⇔ Group Name[1)] ⇔ Name Bank ⇔ Track Move ⇔ Group Move[1)]
    - Group Move[1)] ⇕ Track Erase
- Melody Timer
  （65ページ）
  - OFF ⇔ ON
    - ON → TIMER 1 ⇔ TIMER 2 ⇔ TIMER 3
- SPEED
  （44ページ）
- GROUP
  - GROUP OFF ⇔ GROUP ON
- PERSONAL
  - Entry? ⇔ Erase?
- SEARCH
  - Index ⇔ Time
- OPTION
  - AVLS ⇔ BEEP ⇔ 漢字方式選択
    - AVLS → AVLS OFF ⇔ AVLS ON
    - BEEP → BEEP ON ⇔ BEEP OFF
    - 漢字方式選択 → カナ漢字交互 ⇔ 漢字優先

1) グループモードがONの状態で、グループ内の曲を再生中のみ表示されます。

操作の途中でやめたいときは、DISPLAYボタンを2秒以上押してください。

録音中のメニュー

1) グループモードがONの状態のときのみ表示されます。

操作の途中でやめたいときは、DISPLAYボタンを2秒以上押してください。

メッセージ一覧

本体の表示窓にメッセージが出たら、下の表にしたがってチェックしてみてください。

表示	意味	対策
BANK FULL	ネームバンクに登録されている文字が約400文字を超えた。	文字数を減らして入力しなおす。
BLANK DISC	何も録音されていないディスクが入っている。	—
BUSY	録音または編集の内容の処理をしている。	しばらく待つ。まれに1分ほどかかる場合があります。
Data Save	録音した情報（音声）をディスクに記録している。	しばらく待つ（衝撃を与えたり、電源を抜いたりしない）。
DISC FULL	ディスクの残り時間が12秒（24秒または48秒）以下である（録音時）（75ページ）。	他の録音用ディスクと取り換える。
EMPTY	ネームバンクに文字が登録されていないのに、削除しようとした。	—
Hi DC in	電源電圧が高い（指定のACパワーアダプターまたはカーバッテリーコードを使っていない）。	指定のACパワーアダプターまたはカーバッテリーコードを使う。
HOLD	ホールド機能が働いている。	本体のHOLDスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除する（17、71ページ）。
LINE OUT	∩/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が「LINE OUT」になっている状態で、VOLUME +/– ボタンを押した。	ジョグダイヤルを使って、∩/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「HeadPhone」にする（26ページ）。
LOW BATT	電池が消耗した。	充電池を充電し直すか、新しい乾電池と入れ換える（16、17ページ）。
MEM OVER	振動のあるところで録音を始めた。	振動のないところで録音をする。
MENU	本体でメニューの選択中にリモコンキーのどれかを押した。	本体で操作する。
	リモコンでメニューの選択中に本体キーのどれかを押した。	リモコンで操作する。
NAME FULL	曲名やグループ名、ディスク名を200文字を越えて入力しようとした。 曲名とディスク名を合計約1700文字を越えて入力しようとした。	ディスク名、グループ名、曲名を短くして入力する（51ページ）。またはMDLP録音時、曲名の最初に「LP:」をつけない設定にする（29ページ）。
NO BATT	充電式電池が入っていない。	充電式電池を入れる
NO COPY	シリアルコピーマネージメントシステム（SCMS）によりダビングは禁止されている。	アナログ入力（LINE IN）を使って録音する（28ページ）。
NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れる。

表示	意味	対策
No Entry!	パーソナルディスクメモリーを登録していないディスクでパーソナルディスクを操作しようとした。	—
NO SIGNAL	デジタル入力信号が途切れた。	光デジタル入力の接続を確かめる。アナログ入力（LINE IN）するときは無視する。
P/B ONLY	再生専用ディスクが入っている。	録音用ディスクと取り換える。
PROTECTED	ディスクが誤消去防止状態になっている（92ページ）。	誤消去防止つまみを戻す。
REC ERR	正しく録音できなかった。	振動のない場所に本機を設置し、録音をやり直す。
	ディスクにひどい汚れ（油膜、指のあとなど）や傷がある、またはディスクが規格外である。	ディスクを交換して録音をやり直す。
READ ERR	ディスク情報を正しく読み取れなかった。	ディスクを入れ直す。
SORRY	🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が「LINE OUT」になっている状態で、デジタルサウンドプリセットを設定しようとした。	ジョグダイヤルを使って、🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定「HeadPhone」にする（26ページ）。
	ディスクまたはグループの1曲目の頭で、頭出しマークを消そうとした。 種類の異なる曲と曲の頭出しマークを消そうとした（例えばステレオ録音された曲とモノラル録音された曲の間の頭出しマークを消そうとした）。 頭出しマークの上に頭出しマークを上書きしようとした。 シンクロ録音中に集中コントロールキーを❚❚側に倒した、またはT MARKボタンを押した。	—
	プログラム設定中にグループモードを切り換えようとした。	プログラム設定する前にグループモードを切り換えてください。
TEMP OVER	本機の温度が高くなりすぎた。	涼しいところで本機をしばらく休ませてから使う。
TOC Edit	録音した情報（曲の開始・終了位置など）をディスクに記録している（91ページ）。	しばらく待つ（衝撃を与えたり、電源を抜いたりしない）。
TOC ERR	ディスク情報を正しく読み取れなかった。	他のディスクを入れてみる ディスクの内容を全て削除してよいときは、記録されている内容を全て削除する（63ページ）。
TR FULL	曲番が254を超えた。	曲番を削除して254以下にする。
TrPROTECT	トラックプロテクト（曲の誤消去防止）がかかっている曲に録音・編集をしようとした。	他の曲で録音・編集する。
	パソコンからチェックアウトした曲に、録音、編集をしようとした。	パソコンにチェックインして編集する。

主な仕様

形式
ミニディスクデジタルオーディオシステム

録音方式
磁界変調光学方式

再生読み取り方式
非接触光学読み取り(半導体レーザー使用)

レーザー
GaAIAsMQWダイオード、
λ=790nm

録音再生時間（MDW-80使用時）
モノラル最大 160分
ステレオ最大 320分

回転数
約382 rpm〜2700 rpm(CLV)

エラー訂正方式
ACIRC（アドバンスドクロスインターリーブリードソロモンコード）

サンプリング周波数
44.1kHz

サンプリングレートコンバーター
入力：32 kHz/44.1 kHz/48 kHz

コーディング
ATRAC（アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング）
ATRAC3 — LP2/LP4

変調方式
EFM

周波数特性（光デジタル・アナログ入力時）
20〜20,000 Hz±3 dB

ワウフラッター
測定限界以下

入力端子[1]
MIC：ステレオミニジャック
（最小入力レベル 0.25 mV）
LINE IN：アナログ時　ステレオミニジャック（最小入力レベル 49 mV）
光デジタル時　光ミニジャック

出力端子
🎧/LINE OUT[2]：ステレオミニジャック（専用リモコンジャック）/
194 mV (10 kΩ)

実用最大出力（DC時）[3]
ヘッドホン：5 mW + 5 mW（16 Ω）

電源
本体：
- 充電式ニッケル水素電池
  NH-14WM(A) 1.2 V, 1350 mAh (MIN) Ni-MH　1個
- アルカリ乾電池（単3形）　1個

USBクレードル：
ACパワーアダプター DC 3V, AC 100V, 50/60 Hz

電池持続時間[3]
「電池の持続時間」（72ページ）参照

本体寸法
約77.7 × 71.4 × 16.4 mm
（幅/高さ/奥行き、突起部含まず）

最大外形寸法[3]
約78.5 × 73.0 × 19.9 mm
（幅/高さ/奥行き）

質量
約87g（本体のみ）
約114g（充電式電池含む）

[1] 入力（光デジタル）と入力（アナログ）は兼用ジャック
[2] ヘッドホンとLINE OUTは兼用ジャック
[3] JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリー

充電式ニッケル水素電池NH-14WM
ガム型ニッケル水素充電池用充電器BC-9HM
光デジタルケーブル
　光角形プラグ↔光ミニプラグ
　POC-5/10/15AB
　光ミニプラグ↔光ミニプラグ
　POC-5/10/15B
　光ミニプラグ（入／出力）↔L型7
　ピンコネクターPOC-DA12SP
接続コード(アナログ)
　ステレオミニプラグ↔ピンプラグ
　(×2) RK-G129
　ステレオミニプラグ↔ステレオミ
　ニプラグ RK-G136
カーコネクティングパックCPA-8[1)]
カーバッテリーコードDCC-E230[1)]
ステレオマイクロホンECM-717、ECM-MS907、ECM-MS957
ステレオヘッドホン[2)]MDR-EX70SL、MDR-E888SP
アクティブスピーカーSRS-Z500/Z750/Z1000
ミニディスク(生ディスク)ESシリーズ
MDソフトキャリングポーチMD-4SCPL/N
車載用ロータリーコマンダーRM-WMC1[3)]

MDラベルプリンターMZP-1・ICメモリー・リピートラーニング・MDコントローラーRPT-M1は使用できません。

1) 本体に直接つないでください。USBクレードルにはつなげません。
2) ヘッドホンは、ステレオミニプラグのものをお求めください。マイクロプラグのものは使えません。
3) このリモコンでグループ機能は使えません。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

- **調子が悪いときはまずチェックを**
  この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- **それでも具合の悪いときは**
  テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- **保証期間中の修理は**
  保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間経過後の修理は**
  修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- **部品の保有期間について**
  当社ではポータブルミニディスクレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

解説

ここでは、技術用語やミニディスクの特徴的な動作について解説します。

Net MDとは？

OpenMGとMagicGateによる高度な著作権保護を用いて、パソコンとMD機器をUSB (Universal Serial Bus) ケーブルにより接続し、パソコンの音楽データをMD機器に高速転送することができるフォーマットです。
MDメディアへの記録方法は、従来から変更がないため、既存のディスクが使用でき、記録された音楽データは、既存のMD機器*で再生可能です。
パソコン上のOpenMG Jukeboxでは、様々な編集操作や漢字やひらがなを含めた文字入力が簡単に行えます。

* LPモードで転送した場合は、MDLP対応機器のみ。

「TOC EDIT」とは

TOCとはTable Of Contentsの略で、音声以外の情報を記録する、ミニディスク上の領域です。どの曲が何曲目でディスクのどこにあるかなどを記録しています。ミニディスクが本だとすると、索引や目次にあたります。
録音やトラックマークの記録・削除、曲の移動などのさい、ミニディスクレコーダーはTOCの書き換え作業を行います（「TOC Edit」が表示されます）。この間はディスクへの記録をしていますので、衝撃を与えたり、電源を抜いたりしないでください。記録が正しく行われないばかりか、ディスクの内容が失われることがあります。

サンプリングレートとは

サンプリングレートとは、1秒間の音声をどれだけの量のデジタル信号にするかを表す数値です。一般に数値が大きいほど高音質になります。サンプリングレートの異なる機器同士では、通常デジタル信号によるダビングはできません。これを可能にするのが、サンプリングレートコンバータです。コンバータは、デジタル信号を他のサンプリングレート用のデジタル信号に変換します。本機はこのコンバータを内蔵しています。光デジタル入力端子に入ってきたサンプリングレートの異なる信号（BSチューナー:32kHz, DAT:48kHzなど）は、コンバータによって、ＭＤのサンプリングレート（44.1kHz）に変換されて録音されます。

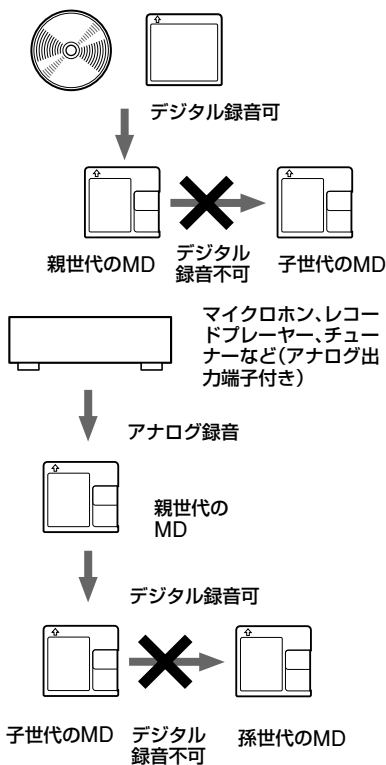
MDの曲番のつきかた

CDなど曲番のついたメディアから録音した場合、レコーダーは次のような条件で 曲番を作成し記録します。
デジタル入力からの録音→入力ソースのトラック番号が変化したとき
アナログ入力からの録音→2秒間以上無音状態が続き、その後音声が入ってきたとき。
なお、CDで「-0:03」から新しい曲番が始まっているときは、0:00になった時点でMDに新しい曲番が記録されます。

無音レベルとは？

本機ではアナログ入力時は約4.8 mV（Manual REC時を除く）、光デジタル入力時はフルビットを0 dBとした場合、約–89 dB以下の入力レベルです。

デジタル録音の制限について

本機は、音楽ソフトの著作権を保護するため、「シリアルコピーマネジメントシステム（SCMS）」に準拠しています。CDや再生専用MDなどの市販ソフトから、光デジタル入力端子を使って録音したミニディスクは、さらに他の機器でデジタル録音することはできません。光デジタル入力で録音したミニディスクを別のミニディスクに録音するには、アナログ入力（LINE IN）を使ってください。

ご注意

著作権を保護するためのコピーコントロール信号を除去、改変してコピーを作成することは、個人として楽しむ目的であっても法律で禁止されています。

パソコンからチェックアウトした曲の編集に関する制限

パソコンからチェックアウトした曲の編集（曲を消す、頭出しマークをつける・消す）は、チェックインの権利の消失を防ぐため、本体では行えない仕様になっています。元のパソコンにチェックインしてそこで編集を行ってください。

誤消去防止つまみについて

録音したものを誤って消さないために、誤消去防止つまみをずらして穴が開いた状態にします。つまみをずらして穴があいた状態にすると、録音・編集ができません。録音・編集するときはつまみを閉めます。

索引

English

▶Operating Instructions

Overview

See the illustrations in Japanese text (page 10).
You can easily store digital audio files* (e.g., audio CDs, MP3, WAV, Windows Media format files, or audio data downloaded from EMD services**) on your computer and transfer the files to the MiniDisc recorder.

* "OpenMG", a copyright technology that conforms to the SDMI (Secure Digital Music Initiative) specifications, allows you to record or play digital music while protecting the copyright privileges of its holders.

**EMD is available only in certain areas of the world.

Looking at the controls

The numbers are keyed to the illustrations in the Japanese text (pages 13 to 15).

The recorder

1 END SEARCH button
2 Display window
3 VOLUME +*/– buttons
   * The VOLUME + button has a tactile dot.
4 Battery compartment
5 T MARK button
6 HOLD switch (at the rear)
7 Terminals for attaching dry battery case.
8 DC IN 3V jack
9 USB cradle connecting jack
10 Control bar
   Press ►* to play/enter.
   * The ► button has a tactile dot.
   Press ◄◄ / ►►I to rewind/fast forward.
   Flip towards II to pause.
   Flip towards ■ CHG to stop/charge.
11 GROUP/CANCEL button
12 OPEN switch
13 Charge lamp
14 Jog dial (MENU/ENTER)
   Press to enter the menu, turn to select, and then press to enter.
15 LINE IN (OPT) jack
16 MIC (PLUG IN POWER)* jack
   * The MIC (PLUG IN POWER) jack has a tactile dot.
17 REC (record) switch
18 ♫/LINE OUT jack

The display window of the recorder

1 Character information display
   Displays the track, group, or disc name*, date, error messages, track numbers, etc.
   * Names appear only with MDs that have been labeled.
2 Group indication
3 Disc indication
   Shows that the disc is rotating for recording, playing or editing an MD.
4 REC indication
   Lights up while recording. Flashes when standing by for recording.
5 SYNC (synchro-recording) indication
   Lights up while synchro-recording.
6 Play mode indication
   Shows the play mode of the MD.
7 Level meter
   Shows the level of the MD being played.
8 LP2 (LP2 stereo), LP4 (LP4stereo), MONO (monaural) indication
9 Sound indication
   Lights up when Digital Sound Preset is on.
10 Battery level indication
   Shows approximate battery condition. While charging the rechargeable battery, this indication shows the charging condition.
11 Melody timer indication

The headphones/earphones with a remote control

1 DISPLAY button
2 PLAY MODE button
3 REP/ENT(repeat/enter) button
4 SOUND button
5 II (pause) button
6 ■ (stop/enter) button
7 Clip
8 Control (I◄◄ / ►►►I)
   ►►►I: play, AMS, FF
   I◄◄: REW
   Turn or turn and hold to play, fast forward, rewind, etc..

9 Control (VOL +/–)
Pull and turn to adjust the volume.
10 Display window
11 HOLD switch

The display window of the remote control

1 Disc indication
2 Track number display
3 Character information display
4 Play mode indication
5 SOUND indication
6 Battery level indication
7 REC indication
8 Group indication
9 Melody timer indication

List of menus

Menu functions

To use menu items on the recorder, press the jog dial to enter the menu, turn the dial to select the item, and then press the dial again to confirm the menu.
To use menu items on the remote control, press DISPLAY for 2 seconds or more, turn the control repeatedly to select the item, and then press ■ to confirm the menu.

menu of the recorder/the remote control	functions
EDIT/EDIT	Selecting editing operations (labeling tracks, groups, or discs, erasing tracks, groups, or discs, etc.) (pages 110 to 118).
DISPLAY/—	Displaying elapsed playing time, remaining playing time, etc.
PLAY MODE/ —	Selecting the play mode (repeat play, shuffle play, etc.) (page 106).
RecVolume/—	Selecting the automatic or manual recording level adjustment (page 104).
REC MODE/—	Selecting the recording mode (SP stereo, LP2 stereo, LP4 stereo, or monaural) (page 101).
M-TIMER/ Melody Timer	Setting the alarm (Melody timer) (page 119).
AUDIO OUT/ —	Selecting 🎧/LINE OUT jack output (page 109).
SOUND/—	Selecting "SOUND1", "SOUND2," or "SOUND OFF" (Digital Sound Preset) (page 108).
—/SPEED	Changing the playback speed during play (page 108).
—/GROUP	Turning the group function on and off (page 102).
PERSONAL/ PERSONAL	Entering or erasing the disc information in the Personal Disc Memory (page 120).
SYNC REC/—	Selecting "SYNC ON" or "SYNC OFF" when synchro-recording (page 97).
TIME MARK/ —	Selecting the Auto Time Stamp setting (page 104).
MIC SENS/—	Selecting the microphone sensitivity (page 103).
—/SEARCH	Selecting the search mode (Index search/Time search) (page 105).
OPTION/ OPTION	• AVLS (Automatic Volume Limiter System) Selecting "AVLS ON" or "AVLS OFF".
	• BEEP Selecting "BEEP ON" or "BEEP OFF" for both "MAIN UNIT" or "REMOTE" for the recorder (page 120). Selecting "BEEP ON" or "BEEP OFF" for the remote control.
OPTION/—	• REC-Posi Selecting the start point when recording (page 103).
	• LP Stamp Selecting "Stamp ON" or "Stamp OFF" (page 101).
	• CONTRAST Adjusting the contrast of the display.
	• CLOCK SET Setting the clock (page 104).

To check the menus and menu items that can be selected at each menu level, see the following pages in Japanese text.

Menus while the recorder is:
— stopped, see pages 81 and 82.
— playing, see page 83.
— recording, see page 84.

Menus while the remote control is:
— stopped, see page 85.
— playing or recording, see page 86.

▶*Preparing*

Getting started!

See the illustrations in Japanese text (pages 16 and 17).

Charge the rechargeable battery before using. Even if the rechargeable battery is not charged, you can use the recorder as long as the AC power adaptor is connected.

1 Insert the nickel metal hydride rechargeable battery (NH-14WM) into the recorder with the minus end first.
To use the recorder with an alkaline dry battery, insert the dry battery into the dry battery case and attach it to the recorder.

2 Charging the rechargeable battery.
① Connect the AC power adaptor to the USB cradle and the AC adaptor to a wall outlet.
② Place the recorder on the USB cradle. While pressing down the recorder, tilt it backward to fit it onto the USB cradle.
③ Verify that the charge lamp lights up. Full charging takes about three and a half hours. When it is completed, the charge lamp goes off.
④ Remove the recorder from the USB cradle. While pressing down on the recorder, lean it forward to remove it.

3 Connect headphones/earphones with the remote control to the recorder and slide HOLD to unlock the control.

Notes

- The supplied USB cradle can be used only with this recorder. Any other models cannot be charged.
- Do not use the supplied USB cradle to charge any other battery besides the supplied one or the one designated for it (NH-14WM).
- Though the USB cradle and the battery may become hot during the charging procedure, this poses no danger.
- Be sure to use the supplied AC power adaptor.
- If you are recharging the battery for the first time or after a long period of disuse, the battery may not charge up to its rated capacity. This is a normal characteristic. After you use and recharge the battery a few times, it will return to its normal charge capacity.
- When the battery life of a fully charged rechargeable battery becomes about half the normal life, replace it.
- If the recorder will not be used for a long period of time, disconnect the AC power adaptor from a wall outlet and remove the recorder from the USB cradle.
- The charge lamp will go off about three and a half hours after you place the recorder on the USB cradle. If you remove the recorder from the USB cradle for 3 minutes or more while it is charging, the charge lamp will go off and it will take about three and a half hours for the lamp to go off from the next time you place the recorder on the USB cradle.
- If during operation the recorder stops with "LOW BATT" in the display, charge the rechargeable battery. You may be able to operate the recorder for a while without charging, however, if you operate the recorder until the rechargeable battery is completely discharged, you may not be able to recharge it again by placing the recorder on the USB cradle. If this happens, remove the battery from the recorder once, then reinsert it before placing the recorder on the USB cradle.
- Please note the following points when charging the battery directly with the AC power adaptor.
  — If you flip the control bar towards ■CHG immediately after charging has completed, charging will begin again. If this happens, flip the bar towards ■CHG again to stop the charging operation since the battery is already fully charged.
  — Charging stops when you try to operate the recorder during charging.

Notes on dry battery

Incorrect battery usage may lead to leakage of battery fluid or bursting batteries. To prevent such accidents, observe the following precautions :

- Insert the + and – poles of the battery correctly.

- Do not try to recharge the battery.
- When the recorder is not be used for a long time, be sure to remove the battery.
- If a battery leak should develop, carefully and thoroughly wipe away battery fluid from the battery compartment before inserting new ones.

►MD recording

Recording an MD right away! (Synchro-recording)

See the illustrations in Japanese text (pages 19 and 20).

This section explains the basic procedure for making digital recordings using an optical cable connected to a CD player, BS tuner or other digital equipment. The recorder starts and stops recording in sync with the source sound. Track marks are added whenever they appear in the sound source. It is recommended to use the AC power adaptor when recording.
To record from a cassette deck, radio, etc. →"Recording in analog (analog recording)" (page 101)
To record using a group mode → "Recording tracks using the group function (Group Mode Recording)" (page 102)

1 Insert an MD.
① Slide OPEN to open the lid.
② Insert an MD with the label side facing front, and press the lid to close.
Insert an recordable MD when recording.

2 Make connections. (Insert the cables firmly and completely into the appropriate jacks.)
① Connect the LINE IN (OPT) jack of recorder to the digital (optical) out jacks of the source with a optical cable.
The recorder switches to digital input automatically.
② Connect the DC IN 3V jack of the recorder to a wall outlet with the AC power adaptor.
When the recorder has different sound sources connected at the same time, the recorder switches to the digital, microphone, or analog input in this order of priority.

3 Record an MD.
① While the recorder is stopped, press the jog dial.
② Turn the jog dial until "SYNC REC" flashes in the display, and then press to enter.
③ Turn the jog dial until "SYNC ON" flashes in the display, and then press to enter.
④ Press and slide REC to the right.
"REC" and REC LED on the REC switch light up and recording starts.
⑤ Play the CD or tape you want to record.

To stop recording, flip the control bar towards ■.

After you flip the bar towards ■ to stop, the recorder will automatically turn off in about 10 seconds (when using batteries) or about 3 minutes (when using AC power adaptor).

Note

If you record on a previously recorded disc, the recorder is factory set to overwrite the entire contents of the disc. If you want the recording to start after the existing contents, do the procedure "Recording without overwriting existing material" (page 103) before step 3, "Record an MD" (this page).

To	Do this
Record from the end of the current contents[1]	If "REC-Posi" is set to "From Here", press END SEARCH, and then press and slide REC to the right. If "REC-Posi" is set to "From End", press and slide REC to the right.
Record over partway through the previous recording	Press ►, ►►I, or I◄◄ to find the start point of recording and flip the bar towards ■ to stop. Then press and slide REC to the right.
Pause	Flip the bar towards II.[2] Flip the bartowards II again to resume recording.
Remove the MD	Flip the bartowards ■, then slide OPEN to open the lid.[3]

[1] If "REC-Posi" is set to "From End", recording operations will always start from the end of the previously recorded material without pressing END SEARCH.

[2] A new track mark is added at the point where you flipped the bar towards ❚❚ again to resume recording while pausing; thus the remainder of the track will be counted as a new track.
[3] If you open the lid while "REC-Posi" is set to "From Here", recording will begin from the top of the disc the next time you record. Check the point to start recording on the display.

If the recording does not start

- Make sure the recorder is not locked.
- Make sure the MD is not record-protected.
- Premastered MDs cannot be recorded over.

About the DSP TYPE-R for ATRAC

"TYPE-R" is a high-level Sony specification used in the Digital Signal Processor (DSP), which is heart of the MiniDisc sound. This technology gives the MiniDisc recorder twice the signal processing capability as previous MiniDisc Walkman models, producing a sound quality close to that of MiniDisc decks. This function works only when recording or playing in normal stereo. "TYPE-R" does not work when the recorder is in MDLP mode. Also, if you check out audio data in normal stereo using OpneMG Jukebox from your computer, "TYPE-R" does not work.

Notes

- The pause function cannot be turned on or off manually during synchro-recording. Flip the bat towards ■ to stop recording.
- Do not switch the "SYNC REC" setting while recording. Recording may not be done properly.
- Even when there is no recorded sound on the sound source, there may be cases when recording does not pause automatically during synchro-recording due to the noise level emitted from the sound source.
- If a silent portion is encountered for approximately 2 seconds during synchro-recording from a sound source other than a CD or an MD, a new track mark is automatically added at the point where the silent portion ends.
- Synchro-recording cannot be done if the connecting cord is not an optical cable, or if the cable is connected to the MIC (PLUG IN POWER) jack.
- You cannot change the recording mode during recording.
- "Data Save" or "TOC Edit" flashes while data of the recording (the track's start and end points, etc.) is being recorded. Do not move or jog the recorder or disconnect the power source while the indication is flashing in the display.
- The lid does not open until "TOC Edit" disappears in the display.
- If the power supply is disrupted (i.e. the battery is removed or becomes exhausted or the AC power adaptor is disconnected) during a recording or editing operation, or while "TOC Edit" appears in the display, then it will not be possible to open the lid until power is restored.
- You can make a digital recording only from an optical type output.
- When recording from a portable CD player, set the CD player to pause, and then do the recording procedure on the recorder.
- Note the following when recording from a portable CD player:
  — Some portable CD players may not be capable of digital out unless powered by the AC power. If this is the case, connect the AC power adaptor to the portable CD player and use it on AC power as the power source.
  — On some portable CD players, optical output may not be possible when using an anti-skip function (e.g., ESP* or G-PROTECTION). If this is the case, turn off the anti-skip function.

* Electronic Shock Protection

Transferring songs from the computer to the MiniDisc (Check-out)

See the illustrations in Japanese text (pages 23 and 24).

1 Install the supplied OpenMG Jukebox software onto your computer.

Note

When you connect the recorder to your computer for the first time, make sure to install the "OpenMG Jukebox software" and "Net MD driver" from the supplied CD-ROM. If OpenMG Jukebox has already been installed, you should install the driver for the Net MD before connecting the recorder to your computer. Even if the recorder is connected to the computer, computer control of the computer will not be possible without installing the software and driver.

2 Make connections.
   ① Insert a disc into the recorder.
   ② Insert a rechargeable battery into the recorder.
   ③ Connect the AC power adaptor to the USB cradle.
   ④ Connect the recorder to your computer with the supplied dedicated USB cable.
   ⑤ Release HOLD and place the recorder (while stooped) on the USB cradle.

Notes
- Make sure to connect the AC power adaptor to the USB cradle and the AC adaptor to a wall outlet.
- The recorder supports USB 2.0 (previously USB 1.1).
- Use of this recorder with a USB hub or a USB extension cable is not guaranteed. Make sure to use the USB cable for connection.
- Connect only one MD recorder to your computer. If more than one recorder is connected, normal operation is not guaranteed.

3 Record audio data to the OpenMG Jukebox.

4 Transfer the music file to the recorder (Check-out).

Notes
- Only the VOLUME +/– button on the recorder and the VOL +/– control and the SOUND button on the remote control can be used when the recorder is connected to your computer.
- Make sure not to touch the recorder or disconnect the AC power adaptor while checking out, as this may cause the data recorded up to that point to be lost.
- While the recorder is connected to your computer, the lid will not open during editing operations.

5 Remove the recorder from the OpenMG Jukebox.

   Make sure not to remove the recorder from the USB cradle until “TOC Edit” disappears in the display.

Note

Before changing the disc, first stop the recorder and remove it from the USB cradle. If the rechargeable battery is not inserted in the recorder at this time, the recorded or edited contents may not be saved to the disc, or you may not be able to take the disc out. Make sure the rechargeable battery is inserted before placing the recorder onto the USB cradle.

►*MD playing*

Playing an MD right away!

See the illustrations in Japanese text (page 25).

If you want to use the rechargeable battery, be sure to recharge them before playing (page 88).

1 Insert an MD.
   ① Slide OPEN to open the lid.
   ② Insert an MD with the label side facing front, and press the lid to close.

2 Start playing.
   ① Press ► on the recorder. Turn the control towards ►►► on the remote control.
   A short beep sounds in the headphones/earphones.
   ② Press VOLUME +/– on the recorder to adjust the volume. Pull and turn the control towards VOL + or towards VOL – on the remote control.

To stop play, flip the bar towards ■.

After you flip the bar towards ■ to stop, the recorder will automatically turn off in about 10 seconds (when using batteries) or about 3 minutes (when using AC power adaptor).

Playback starts from the point you last stopped playing. To start playback from the beginning of the disc, press ► for 2 seconds or more on the recorder, or turn and hold the control towards ►►► for 2 seconds or more on the remote control.

To	Do this
Select the track directly viewing the track number or name.	Turn the jog dial and press to enter.
Find the beginning of the current track[1]	Press ◄◄. Turn the control towards ◄◄ on the remote control.
Find the beginning of the next track[2]	Press ►►. Turn the control towards ►►► on the remote control.
Go backwards while playing	Keep pressing ◄◄. Turn and hold the control towards ◄◄ on the remote control.

Operating Instructions

Go forward while playing	Keep pressing ▶▶I. Turn and hold the control on the remote control.
Pause	Flip the bar towards II. Press II on the remote control. Flip the bar/press II again to resume play.
Remove the MD	Flip the bar towards■. Press ■ on the remote control. Then slide OPEN to open the lid.[3]

[1] If you press I◀◀ twice continueously while playing the first track of the disc, the recorder goes to the beginning of teh last track on the disc.
[2] If you press ▶▶I during the last track of the disc, the recorder goes to the beginning of the first track on the disc.
[3] Once you open the lid, the point to start play will change to the beginning of the first track (except when the disc information has been stored in the Personal Disc Memory).

If the playback does not start

Make sure the recorder is not locked. If it is locked, slide the HOLD switch in the opposite direction of the arrow.

Suppressing the skips of the sound (G-PROTECTION)

The G-PROTECTION function was developed to provide a higher level of shock resistance than that of existing players in order to allow the recorder to be used while jogging.

Note

The playback sound may skip if:
• the recorder receives stronger continuous shock.
• a dirty or scratched MiniDisc is played.

When using the headphones/earphones connect them directly to the recorder

1 Press the jog dial
2 Turn the dial until "AUDIO OUT" flashes in the display, and then press to enter.
3 Turn the jog dial until "HeadPhone" appears in the display, and then press to enter.

▶*Various ways of recording*

Connecting digital (optical) and analog (line) inputs

The recorder selects digital or analog input according to how the sound source is hooked up.

Input / Difference	Digital (optical) input	Analog (line) input
Connectable source	Equipment with an digital (optical) output jack	Equipment with an analog (line) output jack
Usable cord	Optical cable (with an optical or an optical-mini plug)	Line cable (with 2 phono plugs or a stereo-mini plug)
Signal from the source	Digital	Analog Even when a digital source (such as a CD) is connected, the signal sent to the recorder is analog.
Track marks[1]	Marked (copied) automatically •at the same positions as the source[2]. •after more than 2 seconds of blank or low-level segment [3]. •when recording is paused while synchro-recording[4].	Marked •after more than 2 seconds of blank or low level segment. •while the recorder is paused while recording. •automatically at specified intervals when the Auto time stamp is on. You can erase unnecessary marks after recording.

Recorded sound level	Same as the source. You can also adjust it manually (Digital REC level control).	Adjusted automatically. You can also adjust it manually.

1) You can erase unnecessary marks after recording (“Erasing a track mark”, page 117)
2) When the sound source is a CD or an MD.
3) With a sound source other than a CD or an MD.
4) The recorder pauses automatically when it encounters a section with no audio signal for 3 seconds or more.

Note

Track marks may be copied incorrectly:

- when you record from some CD players or multi disc players using digital (optical) input.
- when the source is in shuffle or program play mode while recording using digital (optical) input. In this case, play the source in normal play mode.
- when recording BS or CS programs through digital (optical) input.

Recording in analog (analog recording)

See the illustration in Japanese text (page 28).

The sound will be sent from the connected equipment as analog signal but will be recorded digitally on the disc.

1 Connect the LINE IN (OPT) jack of the recorder to the line output jack of the source with an line cable (not supplied).
The recorder switches to analog input automatically.
2 Connect the power source.
To use on AC power, see “Recording an MD right away!”.
3 Press and slide REC to the right.
“REC” and the REC LED lights up and recording starts.
4 Play the sound source.

Note

If you temporarily stop a recording operation by flipping the bar towards ❚❚, a new track mark will be added at that point where you flipped the bar towards ❚❚ again to resume recording. The recording resumes on a new track.

Long-time recording (MDLP)

See the illustration in Japanese text (page 29).
Select each recording mode according to the recording time that you want.
Stereo recording is possible at 2 times (LP2) or 4 times (LP4) the normal recording time (MDLP mode). MDs recorded in monaural, LP2, or LP4 mode can be played back only on MD components with monaural, LP2, or LP4 mode.

1 Press the jog dial.
2 Turn the jog dial until “REC MODE” flashes in the display, and then press to enter.
3 Turn the jog dial to select the desired recording mode.
The recording mode can be selected from “(none)”(standard stereo mode), “LP2” (2 × normal recording mode), “LP4” (4 × normal recording mode), and “MONO” (monaural).
4 Press and slide REC to the right.
Recording starts.
5 Start the sound source.

When you do not want “LP:” added at the beginning of the track

The recorder is factory set to add “LP:” at the beginning of tracks recorded in MDLP mode.

1 While the recorder is stopped, press the jog dial.
2 Turn the jog dial until “OPTION” flashes in the display, and then press to enter.
3 Turn the jog dial util “LP Stamp” flashes in the display, and then press to enter.
4 Turn the jog dial until “Stamp OFF” flashes in the display, and then press to enter.

If you want “LP:” added, select “Stamp ON” in this step, and then press the jog dial.

Notes

- “LP:” is added to tracks checked-out in LP stereo from your computer regardless of the “LP Stamp” setting. If you want to delete “LP:”, do the procedure “Relabeling recordings” (page 111).

Continued

- It is recommended that you use the supplied AC power adaptor for long recordings.
- During monaural recording of a stereo sound source connected through the digital (optical) input jack, you can still monitor the recorded sound in stereo by using headphones/earphones connected the 🎧/LINE OUT jack.
- When you record in LP4 stereo mode, momentary noise may be produced on very rare occasions with certain sound sources. This is because of the special digital audio compression technology that enables a recording time 4 times longer than normal. If noise is produced, it is recommended that you record in normal stereo or LP2 stereo mode to obtain better sound quality.

Recording tracks using the group function (Group Mode Recording)

See the illustrations in Japanese text (pages 30 and 31).

What is the group function (group mode)?

It is a function that allows you to separate tracks on a disc into different groups for playback, recording and editing.
It is convenient for managing multiple CD albums recorded in MDLP (LP2 stereo/ LP4 stereo) mode onto a single MD. You can create a maximum of 99 groups on a disc.

How is group information recorded?

When recording in group mode, the group information is written to the disc name recording area automatically.
Therefore, the character string written in the disc name recording area is displayed in its entirety as the disc name if you load an MD recorded in group mode into a system that does not support group mode, or if you try to edit the contents of a disc on this recorder with the group mode turned off.
You can change the character string by performing the procedure of "Relabeling recordings" in "Labeling/relabeling recordings" (page 111). However, if you rewrite this character string by mistake, you may be unable to use the group function of that MD.

Notes
- The group function setting is stored even if you eject the MD or turn off the recorder.
- In group mode, the recorder treats all tracks without group settings as belonging to the last group on the disc. The last group is indicated in the display window on the recorder as "Group – –." Within a group, the tracks appear in their order on the disc, not their order within the group.
- It will not be possible to make a group setting if the tracks and disc name on a disc exceed the maximum number that can be input.

To activate the group mode

To record tracks in group mode, you must first turn the group mode on before the start of recording.

On the recorder

1 Press GROUP for 2 seconds or more.
"🗀" and "GROUP ON" light up in the display and the group mode turns on.
To cancel the group mode, press GROUP for 2 seconds or more.

On the remote control

1 Press DISPLAY for 2 seconds or more.
2 Turn the control repeatedlyuntil "GROUP" flashes in the display, and then press ■ to enter.
3 Turn the control repeatedlyuntil "GROUP ON" flashes in the display, and then pres ■ to enter.
"🗀" lights up in the display and the group mode turns on.
To cancel the group mode, select "GROUP OFF" in step 2.

Recording a track into a new group

- This function can be operated on the recorder only.
- Turn the group mode on.

1 Press END SEARCH.
2 Press and slide REC to the right.
3 Play the source sound.

To stop recording, flip the bar towards ■.
The material that was recorded up until the bar was flipped towards ■ is entered as a new group.

Recording a track into an existing group

- This function can be operated on the recorder only.
- Insert a disc with group settings.
- Turn the group mode on.

1 Press GROUP slightly.
"🗀" flashes and you can select a group directly (group skip mode).
2 Within 5 seconds, press ⏮ or ⏭ repeatedly until the group you want the track to belong to appears.
3 Press and slide REC to the right.
4 Play the source sound.
Newly recorded track is added after the current contentes.

Notes

- Even if "REC-Posi" is set to "From Here", newly recorded tracks are inserted after the existing tracks in the specified group without recording over the current contents.
- The group skip mode turns off automatically in step 2 if nothing is done within 5 seconds. To continue the procedure, do step 1 again.

Recording without overwriting existing material

See the illustration in Japanese text (page 32).
If you wish to avoid overwriting the current contents of an MD, do the following procedure. All new material will then be recorded from the end of the current contents.

1 While the recorder is stopped, press the jog dial.
2 Turn the jog dial until "OPTION" flashes in the display, and then press to enter.
3 Turn the jog dial repeatedly until "REC-Posi" flashes in the display, and then press to enter.
4 Turn the jog dial repeatedly until "From End" flashes in the display, and then press to enter.

To start recording from the current point.
Select "From Here" in step 4.

Notes

- The setting will remain even after the power is turned off.
- If you start recording while the recorder is in play-paused, the recording will begin from the point at which it is paused even when the "REC-Posi" is set to "From End".

Recording from a microphone

See the illustration in Japanese text (page 33).

1 Connect a stereo microphone (ECM-717, ECM-MS907, ECM-MS957, etc., not supplied) to the MIC (PLUG IN POWER) jack.
2 Press and slide REC to the right.

To select microphone sensitivity

1 Press the jog dial while the recorder is stopped
2 Turn the dial repeatedly until "MIC SENS" flashes in the display, and then press to enter.
3 Turn the jog dial repeatedly to select "SENS HIGH" (when recording a soft sound or a sound in the distance) or "SENS LOW"(when recording a loud sound or a sound at close range), and then press to enter.

Notes

- The recorder automatically switches input in the following order; optical input, microphone input, and analog input. You cannot record through the microphone while an optical cable is connected to the LINE IN (OPT) jack.
- The microphone may pick up the operating sound of the recorder itself. Use the microphone away from the recorder in such cases. Do not use a microphone with a short connector, as this may cause the operating sound of the recorder to be picked up.
- Only the left-channel sound is recorded when a monaural microphone is used.

Adding track marks automatically at specified intervals (Auto Time Stamp)

See the illustration in Japanese text (page 33).

Use this feature to add track marks automatically at specified intervals when recording through the analog input connector or a microphone.

1 While the recorder is recording or in recording pause, press the jog dial.
2 Turn the jog dial repeatedly until "TIME MARK" flashes in the display, and then press to enter.
3 Turn the jog dial repeatedly until the desired time interval flashes in the display, and then press to enter.
Select one of the following intervals:
"OFF"
"5 min. ON" (track marks are added in every 5 minutes.)
"10 min. ON" (track marks are added in every 10 minutes)
"15 min. ON" (track marks are added in every 15 minutes)
To cancel the setting, select "OFF" in this step.

Notes
- Automatic track marking by Auto Time Stamp starts when you add a normal track mark to the disc (i.e., by pressing T MARK or flipping the bar towards ❚❚, etc.).
- The setting will be lost when the recording stopped.

Adjusting the recording level manually (Manual recording)

See the illustrations in Japanese text (pages 34 and 35).

When you record, the sound level is adjusted automatically. If necessary, you can set the level manually. You can adjust the recording level while recording and stopped.

1 While flipping the bar towards ❚❚, press and slide REC to the right.
The recorder stands by for recording.
2 Press the jog dial.
3 Turn the jog dial until "RecVolume" flashes in the display, and then press to enter.
4 Turn the jog dial until "ManualREC" flashes in the display, and then press to enter.
To switch back to the automatic level adjustment, select "Auto REC" in this step.
5 Play the program source.
6 While observing the level meter in the display, adjust the recording level by turning the dial.
Set the level so that the meter segments light up between Ⓐ (the fifth segment) and Ⓑ (the ninth segment). If the level meter lights up to the right of Ⓑ, reduce the input level.
The upper level meter shows the L channel input level and the middle meter shows the R channel input level.
If your source is an externally connected component, be sure to cue the source to the begining of the material to be recorded before you start playback.
7 Flip the bar towards ❚❚ again to start recording.

Notes
- If you flip the bar towards ■ during recording operation, the recorder will revert to automatic recording level adjustment mode the next time you start a recording operation.
- "RecVolume" cannot be selected in step 2 during synchro-recording. To set the recording level manually during synchro-recording, do the procedure below.
  1 Do ① and ② of "Record and MD" (step 3 of "Recording an MD right away!) (page 97)) and select "SYNC OFF" in ③.
  2 Do steps 1 to 6 of manual recording procedure. Then do the procedure of "Record and MD"(step 3 of "Recording an MD right away!) (page 97)) again.
  Recording starts automatically whenever the source sound is played.

Setting the clock to stamp the recorded time

See the illustrations in Japanese text (page 37).

To stamp the date and time on the MD when you record, you first need to set the clock.

1 Press the jog dial while the recorder is stopped.
2 Turn the jog dial until "OPTION" flashes in the display, and then press to enter.

3 Turn the jog dial until “CLOCK SET” flashes in the display, and then press to enter.
   The digits of the year flash.
4 Change the current year by turning the jog dial and press to enter.
   The digit of the month flashes.
5 Repeat steps 4 to enter the current month, date, hour, and minute.
   When you press the jog dial to enter the minute, the clock starts operating.

To display the current time

On the recorder

1 When the recorder is not operating or while recording, press the jog dial.
2 Turn the dial until “DISPLAY” appears in the display, and then press to enter.
3 Turn the jog dial until “Clock” flashes in the display, and then press to enter. The current time appears in the display.

On the remote control

1 Press DISPLAY repeatedly until current time appears in the display.

If you make a mistake while setting the clock

Press ⏮ to go back wrongly entered item, and then enter the correct value. You can skip a step by pressing ⏭.

To display the time in the 24-hour system

Press T MARK while setting the clock. To change the clock to the 12-hour system, press T MARK again.

To maintain the correct time

Once you set the clock, it will keep correct time as long as the recorder is connected to a power source, such as the rechargeable battery, alkaline dry battery, or AC power adaptor. However, if no power source is connected, the clock setting will change back to the factory setting after about 3 minutes. When changing the rechargeable battery or alkaline dry battery, make sure to do it within 3 minutes.

Notes

- Make sure the time is correctly set if you want the time stamp to be accurately recorded for an important recording.
- Under normal conditions, the clock may vary by about plus or minus 2 minutes per month.

▶Various ways of playback

Searching for a specific track or a position quickly (Quick Search)

See the illustration in Japanese text (page 38).

You can do two kinds of quick search.

- Index search — Searching quickly while monitoring the track numbers or track names.
- Time search — Searching quickly while monitoring the elapsed time.

Selecting the search mode

The search mode can be selected only on the remote control while the recorder is stopped, playing, or play-paused.

1 Press DISPLAY for 2 seconds or more.
2 Turn the control repeatedly until “SEARCH” flashes in the display, and then press ■ to enter.
3 Turn the control repeatedly until “Index”(index search) or “Time”(time search) flashes in the display, and then press ■ to enter.
   The recorder is factory set to “Index”.
4 Press ❚❚ while playing a disc.
5 Tun and hold the control repeatedly until the desired track number or track name appears in the display.
6 Press ❚❚ to cancel the pause.
   Playback starts from the selected track.

Using the group function

See the illustrations in Japanese text (pages 38 to 40).

The recorder can operate various playback with a disc which has group setting.

Listening to tracks in a specific group (Group Mode Playback)

- Insert a disc with group settings.

On the recorder

1 Start playback.

Continued

2 Press GROUP for 2 seconds or more to turn the group mode on.
Playback stops at the end of the last track in the selected group.
For details on selecting another group, see "Selecting and playing groups (Group Skip Mode)" (this page).

On the remote control

1 Start playback.
2 Press DISPLAY for 2 seconds or more.
3 Turn the control repeatedly until "GROUP" flashes in the display, and then press ■ to enter.
4 Turn the control repeatedly until "GROUP ON" flashes in the display, and then press ■ to turn the group mode on.

To turn off the group function

- **On the recorder**
  Press GROUP for 2 seconds or more again.
- **On the remote control**
  Select "GROUP OFF" in step 4.

Note

In group mode, the recorder treats all tracks without group settings as belonging to the last group on the disc. The last group is indicated in the display window on the recorder as "Group – –." Within a group, the tracks appear in their order on the disc, not their order within the group.

Selecting and playing groups (Group Skip Mode)

Operations are possible regardless of whether group mode is on or off. However, playback on the recorder will differ, depending on whether group mode is on or off.

- When group mode is on:
  Playback starts from the first track of the selected group and ends with the last track in the group.
- When group mode is off:
  Playback starts from the first track of the selected group and ends with the last track on the disc.

- Insert a disc with group settings.

On the recorder

1 Press GROUP slightly while playing.
"🗀" flashes in the display and the group become selectable.
2 Within 5 seconds, turn the jog dial to select your desired group, and then press to enter.
The recorder starts playing from the first track in the group.

On the remote control

1 While the recorder is playing, press and hold PLAY MODE until "– – –" flashes in the display.
The group skip mode turns on.
2 Within 5 seconds, turn the control repeatedly to select your desired group.

Notes

- If no operation is performed within 5 seconds after step 1, the group skip mode will be canceled and you will not be able to perform step 2 thereafter. To continue with step 1 at this point, repeat from the beginning of the procedure.
- The group skip mode cannot be used with a disc that has no group settings.

Changing a play mode

See the illustrations in Japanese text (pages 40 to 42).

Steeings can be stored to the Personal Disc Memory.

Selecting a play mode

On the recorder

1 While the recorder is playing, press the jog dial.
2 Turn the jog dial until "PLAY MODE" flashes in the display, and then press to enter.
3 Turn the jog dial to select the play mode, and then press to enter.

play mode/indication
"Normal"/"(none)" (All the tracks are played once)
⬇
"AllRepeat"/"⮎" (All the tracks are played repeatedly)
⬇
"1 Track"/"**1** " (A single track is played)
⬇
"1 Repeat"/"⮎ **1** " (A single track is played repeatedly)
⬇
"Shuffle"/"**SHUF** " (After currently selected track finishes playing, the remaining tracks are played in random order)
⬇
"Shuf. Rep"/"⮎ **SHUF** "(After currently selected track finishes playing, the remaining tracks are played repeatedly in random order)
⬇
"PGM"/"**PGM**" (Tracks are played in the order that you specified)
⬇
"PGMRepeat"/"⮎ **PGM**" (tracks are played repeatedly in the order that you specified).

On the remote control

1 Press PLAY MODE during playback. Each time you press this button, the play mode changes as follows.

"(none)" (All the tracks are played once)
⬇
"1 " (A single track is played)
⬇
"SHUF "(After currently selected track finishes playing, the remaining tracks are played in random order)
⬇
"PGM " (Tracks are played in the order that you specified).

2 If you want to repeat playback in the selected play mode, press RPT/ENT. "⮎" appears in the display.

Creating a Program (Program play)

You can set the program with up to 20 tracks.

On the recorder

1 Press the jog dial while "PGM" flashes in the display at step 2 of "Selecting a play mode."
2 Turn the jog dial to select a track, and then press to enter a track number.
3 Repeat step 2 to program more tracks.
4 Press the jog dial for 2 seconds or more.

On the remote control

1 While the recorder is playing, press PLAY MODE repeatedly until "PGM " flashes in the display.
2 Turn the control repeatedlyo select a track, and then press REP/ENT to enter a track number.
4 Repeat step 2 to program more tracks.
5 Press REP/ENT for 2 seconds or more.

Notes
- All program settings are lost when the lid of the recorder is opened.
- If you turn group mode on or off during the setting of a program, program setting mode will be canceled, but the program contents up to that point will remain.
- You cannot turn group mode on or off while programming tracks.
- If you turn group mode on during program play, the program play is canceled.

Adjusting treble and bass (Digital Sound Preset)

See the illustrations in Japanese text (pages 42 and 43).

You can adjust the treble and bass to suit your taste. The recorder can store two sets of treble-bass adjustments, which can then be selected later during playback.
The sound can be adjusted in 8 steps (–4, –3, ...±0, ...+2, +3). Settings can be stored to the Personal Disc Memory.

Continued

Selecting the sound quality

Factory settings of the Digital Sound Preset are as follows:

- "SOUND1" (on the recorder)/"S 1" (on the remote control) : bass +1, treble ±0
- "SOUND2" (on the recorder)/"S 2" (on the remote control): bass +3, treble ±0

On the recorder

1 Press the jog dial.
2 Turn the jog dial until "SOUND" flashes in the display, and then press to enter.
3 Turn the jog dial until "SOUND 1" or "SOUND 2" flashes in the display, and then press to enter.

On the remote control

1 Press SOUND on the remote control repeatedly to select "S 1" or "S 2".

Adjusting the sound quality

On the recorder

1 Press the jog dial.
2 Turn the jog dial until "SOUND" flashes in the display, and then press to enter.
3 Turn the jog dial until "SOUND 1" or "SOUND 2" flashes in the display.
The display shows the currently selected T (treble) and B (bass) settings.
4 Select "T" or "B" flipping the bar towards ■ or ❚❚.
You can change the adjust of the item in which the cursor is flashing.
5 Turn the jog dial to adjust the sound level.
To move the cursor between "T" to "B": flip the bar towards ■ or ❚❚.
To switch between "SOUND 1" to "SOUND 2": move the cursor to the top row, and then turn the jog dial.
6 Press the jog dial to enter.
The sound settings are saved and the playback display appears again.

On the remote control

1 Press SOUND on the remote control repeatedly to select "S 1" or "S 2".
2 During playback, press SOUND for 2 seconds or more.
The recorder changes to B-setting mode. Pressing the SOUND button for 2 seconds again changes the recorder back to T-setting mode.
3 Turn the control repeatedly to adjust the bass or treble.
To switch "B" and "T":
Press SOUND for 2 seconds or more.
To switch "S 1" and "S 2":
Press SOUND for a short time.
4 Press ■ to enter .

To cancel the Digital Sound Preset

- **On the recorder**
Select "SOUND OFF" in step 3.
- **On the remote control**
Press SOUND repeatedly until nothing appears in the display.

Notes

- Digital Sound Preset becomes inoperative when the "AUDIO OUT" parameter for the ♫/LINE OUT jack is set to "LINE OUT". In this case, set the "AUDIO OUT" to "HeadPhone" (page 100).
- When you use the Digital Sound Preset, the sound may break or become distorted depending on the settings or the track. In this case, change the settings of the sound quality.
- Changing to another Digital Sound Preset during a recording operation will not affect the quality of recorded sound.

To change playback speed (Speed Control)

See the illustrations in Japanese text (pages 44 and 45).

The playback speed can be adjusted in 7 steps (80%, 85%, ...100%, 105%, 110%). Setting can be stroed to the Personal Disc Memory.

- This function can be operated on the remote control only.

1 Press DISPLAY for 2 seconds or more during playback.
2 Turn the control repeatedly until "SPEED" flashes in the display, and then press ■ to enter.
The recorder changes to speed-setting mode.
3 Turn the control repeatedly to select the playback speed.
"+" shows the normal speed and the cursor shows the playback speed you are selecting.

4 Press ■ to set the playback speed.
"S" appears in the display when the speed is changed.

Notes

- The playback sound will be affected by the playback speed.
- All settings will be lost when you remove the disc from the recorder (except when the settings of the disc has been stored to the Personal Disc Memory).

Connecting to a stereo system (LINE OUT)

See the illustration in Japanese text (page 47).

Connect the 🎧/LINE OUT jack of the recorder to the LINE IN jacks of an amplifier or a tape recorder with a line cable (RK-G129 or RK-G136, not supplied). The output is analog. The recorder plays the MD digitally and sends analog signals to the connected equipment.

When connecting a line cable to the 🎧/LINE OUT jack

When connecting a line cable (not supplied), be sure to set the "AUDIO OUT" parameter for the 🎧/LINE OUT jack.

1 Press the jog dial.
2 Turn the dial until "AUDIO OUT" flashes in the display, and then press to enter.
3 Turn the dial until "LINE OUT" flashes in the display, and then press to enter.

Notes

- If the "AUDIO OUT" parameter for the 🎧/LINE OUT jack is set to "LINE OUT", VOLUME +/– or Digital Sound Preset will not function.
- The "AUDIO OUT" parameter for the 🎧/LINE OUT jack cannot be set to "LINE OUT" when the supplied remote control is connected.
- When you connect the headphones/earphones directly to the recorder, set the "AUDIO OUT" parameter for the 🎧/LINE OUT jack to "HeadPhone".

▶*Editing recorded tracks*

You can edit your recordings by adding/erasing track marks or labeling tracks and discs.
Premastered MDs cannot be edited.

Notes on editing

- You cannot edit tracks on an MD that is record -protected. Before editing tracks, close the tab on the side of the MD.
- If you perform an editing operation while playing, editing results will not be recorded until you stop the recorder and "TOC Edit" disappears in the display.
- Do not move or jog the recorder while "TOC Edit"* is flashing in the display.
- The lid does not open until "TOC Edit" disappears in the display after editing.
- When the group mode is on, editing can be performed only for the tracks registered into the selected group.

* TOC = Table of Contents

Labeling/relabeling recordings

See the illustrations in Japanese text (pages 48 to 51).

You can name tracks, groups and discs using the recorder's character palette.

Available characters

- Katakana characters (Japanese model only)
- Capital and small letters of the English alphabet.
- Numbers 0 to 9
- ! " # $ % & ( ) * . ; < = > ?
  @ _ ` + – ' , / : _(space)

Numbers of characters you can input

Track, group, or disc name: Approx. 200 each (all available characters are mixed).

Numbers of characters you can input in a disc

Alphanumeric characters/symbols only: Approx. 120 titles of about 10 characters each (a maximum of about 1,700 letters)
Japanese katakana characters: Approx. 60 titles of about 10 characters each (a maximum of about 800 letters)

The number of titles that can be stored on a disc depends on the number of characters that are input for track names, group names, and disc name.

About the character palette

During operations on the recorder, characters can be selected from the character palette in the display.
Since only a part of the character palette is visible on the display, use the control bar to move the cursor and enter characters.
For configulation of the character palette, see page 48 in Japanese text.

Notes

- "NAME FULL" appears when you try to enter more than 1,700 characters on a disc. Enter a shorter name for the track, group, or disc, or set the "LP Stamp" setting to "Stamp OFF" so that "LP:" is not be added at the beginning of the track name.
- When labeling a disc which has been recorded using the group function, make sure group mode is on in order to prevent the group management information from being overwitten by mistake.
- If you enter the symbol "//" between the characters in disc names such as "abc//def," you may be unable to use the group function.

Labeling recordings

On the recorder

1 Insert a disc and do the followings.
 To label a track:
 Start playing or recording the track you want to label, and then label the track while the recorder is playing or recording.
 To label a group:
 Turn the group mode on (page 102) and start playing or recording the track within the group you want to label, and then label the group while the recorder is playing or recording.
 To label a disc:
 Label a disc while the recorder is stopped or recording.
 If you label a disc with group settings, turn the group mode on (page 102).
2 While the recorder is stopped, press the jog dial.
3 Turn the jog dial until "EDIT" flashes in the display, and then press to enter.
4 Turn the dial until the following item appears in the display, and then press to enter.
 When labeling a track: "♫ : Name"
 When labeling a group: "🗀 : Name"
 When labeling a disc: "💿 : Name"
 The cursor flashes in the letter input area and the track, group, or disc is ready to be labeled.
5 Flip the bar towards ■.
 The cursor shifts from the letter input area to the character palette.
6 Select a letter with the control bar and press ► to enter.
 The selected letter appears in the letter input area and the cursor moves to the next input position.
 The buttons used for character input and their functions are listed below.

Functions[1)]	Operations
To move the cursor in the character palette.	Control bar. Turn the jog dial (move the cursor upward or downward)[2)].
To select a character in the letter input area.	Turn the jog dial.
To enter a letter.	Press ►. Press the jog dial.
To move the cursor from the letter input area to the character palette.	Flip the bar towards ■.
To move the cursor from the character palette to the letter input area.	Press CANCEL.
To enter a name.	Press ► or the jog dial for 2 second or more.
To insert a blank space before the cursor in the letter input area.	Press VOLUME +.
To delete a letter in the letter input area.	Press VOLUME –.
To display ":", "–" and "/" repeatedly at the input position in the letter input area.	Press T MARK.

To cancel labeling in the letter input area.	Press CANCEL.

1) Functions of the buttons and control may differ depending on where the cursor is in the letter input area or the character palette.
2) If phrases are stored in the name bank, the first phrase stored appears in the display (page 112).

7 Repeat step 6, and then enter all characters of the label name.
8 Press down the jog dial for 2 seconds or more.
The disc is labeled.

On the remote control

1 Insert a disc.
See step 1 of “On the recorder” to check the varieties of name you can label (page 110).
2 Press DISPLAY for 2 seconds or more.
3 Turn the control repeatedly until “EDIT” flashes in the display, and then press ■ to enter.
4 Turn the control repeatedly until the following item appears in the display, and then press ■ to enter.
When labeling a track: “Track Name”
When labeling a group: “Group Name”
When labeling a disc: “Disc Name”
5 Turn the control repeatedly to select a letter and press ■ to enter.
The selected letter stops flashing and the cursor moves to the next input position.

Functions	Operation
To switch between katakana, capital letters, small letters, numbers/ symbols and phrases1).	Press ❚❚
To move the cursor to the left or right.	Pull and turn the control (VOL +/–).
To change the letter to the one before/next one.	Turn the control (⏮ /▶⏭).
To insert a blank space to type in a new letter.	Press DISPLAY.
To cancel labeling.	Press DISPLAY for 2 seconds or more.
To delete a letter and move back all following letters to the left.	Pess PLAY MODE.

1) If phrases are stored in the name bank, the first phrase stored appears in the display (page 111).

6 Repeat step 5 and enter all characters of the label name.
7 Keep pressing ■ for 2 seconds or longer.
The track or disc is labeled.

To cancel labeling

Press CANCEL on the recorder.
Press DISPLAY for 2 seconds or more on the remote control.

Notes

- When the recording is stopped while labeling a track, a group, or a disc during recording, or when the playback moves on to the next track while labeling a track during playback, the input at that point is entered automatically.
- “LP:” has automatically been added at the beginning of the track names for tracks recorded in MDLP mode.
- You cannot label or relabel the premastered disc.

Relabeling recordings

On the recorder

1 Insert a disc and do the following.
To relabel a track:
Start playing a track you want to relabel, and change a track name while the recorder is playing.
To relabel a group:
Turn the group mode on (page 102) and start playing or recording a track within the group you want to relabel, and change the group name while the recorder is playing or recording.
To relabel a disc:
Relabel the disc while the recorder is stopped or recording.
If you relabel a disc with group settings, turn the group mode on (page 102).
2 Follow steps 2 to 4 of “Labeling recordings” (page 110) to display a track, group, or disc name
3 Follow steps 5 to 8 of “Labeling recordings” (page 110), and then keep pressing the jog dial for 2 seconds or more.

On the remote control

1. Insert a disc and do the following.
   See step 1 of "On the recorder" to check the varieties of name you can relabel.
2. Follow steps 2 to 4 of "On the remote control" (page 111) in "Labeling recordings" to display a track, group, or disc name
3. Follow steps 5 to 7 of "On the remote control" (page 111) in "Labeling recordings", and then keep pressing the ■ for 2 seconds or more.

To cancel labeling

Press CANCEL on the recorder.
Press DISPLAY for 2 seconds or more on the remote control.

Notes

- Track and disc titles that were entered in Japanese katakana characters will appear in Roman letters on minidisc players that do not support the display of katakana characters. Such titles will be marked with a "^" at the beginning and the end.
- You cannot relabel premastered MDs or label MDs that have not been recorded.
- The recorder cannot rewrite a track, group, or disc name of more than 200 letters that was created by another device.

Storing phrases frequently used in labeling

See the illustrations in Japanese text (page 52).
Phrases that you often use while labeling can be stored in the recorder's memory. Approximately 25 phrases of about 10 characters each (with a total character count of about 400) can be stored in the phrase bank. The actual number will depend on the length of each phrases.

Storing phrases while labeling a track or disc

You can store phrases in three ways.

- **Storing phrases while labeling a track, group, or disc:**
  You can store phrases while labeling a track, group, or disc by doing the procedure "Labeling recordings" (page 110).
- **Storing phrases from a previously labeled track, group, or disc:**
  You can store an existing track, group, or disc name as a phrase.
- **Inputting and storing phrases:**
  You can store frequently used phrases in advance, and then retrieve and use them when labeling a track, group, or disc.

Storing phrases while labeling a track or disc

On the recorder

1. Follow steps 1 to 7 of "Labeling recordings" (page 110) to enter a phrase.
2. After entering the phrase, press CANCEL to remove the cursor from the character palette to the letter input area.
3. Press END SEARCH for 2 seconds or more.
   "Entry!" appears in the display and the cursor flashes after the phrase you just stored.
4. If you continue labeling operation, do steps 5 to 7 of "Labeling recordings" (page 110).

On the remote control

1. Follow steps 1 to 6 of "On the remote control" (page 111) in "Labeling recordings" to enter a phrase.
2. After entering the phrase, press ❚❚ for 2 seconds or more.
3. If you continue labeling operation, do steps 5 to 6 of "On the remote control" (page 111) in "Labeling recordings".

Storing phrases from a previously labeled track, group, or disc

On the recorder

1. Follow steps 1 and 2 of "Relabeling recordings" (page 110) and display the track, group, or disc name that contains the phrase that you want to store.
2. Press ⏮ / ⏭ repeatedly to move the cursor to the right of the phrase.
3. Press END SEARCH for 2 seconds or more to store the phrase.

On the remote control

1 Follow steps 1 and 2 of "On the remote control" in "Relabeling recordings" (page 111) and display the track, group, or disc name that contains the phrase that you want to store.
2 Pull and turn the control towards VOL + or VOL – to move the cursor to the right of the phrase.
3 Press ❚❚ for 2 seconds or more to store the phrase.

Entering and storing phrases

On the recorder

1 Press the jog dial.
2 Turn the dial until "EDIT" flashes in the display, and then press to enter.
3 Turn the jog dial until "Name Bank" flashes in the display, and then press to enter.
4 Follow steps 5 to 8 of "Labeling recordings" (page 110) to enter a phrase. "Entry!" appears in the display and the phrase is stored.

On the remote control

1 Press DISPLAY for 2 seconds or more.
2 Turn the control repeatedly until "EDIT" flashes in the display, and press ■ to enter.
3 Turn the control repeatedly until "Name Bank" flashes in the display, and then press ■ to enter.
4 Do steps 5 to 7 of "On the remote control" in "Labeling recordings" (page 111) to enter a phrase.

Note

If you have entered and then stored a phrase, you cannot retrieve it by following the procedure of "Searching a phrase by displaying the stored phrase one by one". When you retrieve a stored phrase, follow the procedure of "Searching for a phrase by its first letter."

Using a retrieved phrase for labeling

There are two ways to retrieving phrases for labeling.

- **Searching for a phrase by displaying the stored phrase:**
  You can retrieve a phrase by keyword, and then use the phrase in a new label.
- **Searching for a phrase by its first letter:**
  You can retrieve a phrase by its first letter, and then use the phrase in a new label.

Searching for a phrase by displaying the stored phrase

On the recorder

1 Follow steps 1 and 4 of "Labeling recordings" (page 110).
A track, group or disc is ready to be labeled.
2 Press END SEARCH so that the phrase stored in the recorder's memory appears in the display.
3 Flip the bar towards ■ to move the cursor from the letter input area to the character palette.
4 Turn the jog dial until the desired phrase flashes in the display.
Turning the jog dial causes the phrases stored in the recorder's memory to appear one by one in sequential order.
5 Press the jog dial while the phrase you want flashes in the display.
The phrase is selected and lights up in the letter input area.
6 Press the jog dial for 2 seconds or more.
The phrase is retrieved.
7 If you continue labeling operation, do steps 5 to 8 of "Labeling recordings" (page 110).

On the remote control

1 Follow steps 1 to 4 "On the remote control" in "Labeling recordings" (page 111).
2 Press ❚❚ repeatedly until the phrase stored in the recorder's memory appears in the display.
3 Turn the control repeatedly.
Turning the control causes the phrases stored in the recorder's memory to appear one by one.
4 Press ■ slightly while the phrase you want is shown in the display.
5 If you continue labeling operation, do steps 6 to 7 of "On the remote control" in "Labeling recordings" (page 111).

Searching for a phrase by its first letter

On the recorder

1 Follow steps 1 to 5 of "Labeling recordings" (page 110).
A track, group or disc is ready to be labeled.
2 Turn the jog dial until the letter which the desired phrase begins with.
3 END SEARCH to search so that the phrase corresponding to the letter appears.
4 Flip the bar towards ■ to move the cursor from the letter input area to the character palette.
5 Turn the jog dial until the desired phrase flashes in the display and then press the jog dial.
The phrase is selected and lights up in the letter input area.
6 Press the jog dial for 2 seconds or more.
The selected phrase is retrieved.
7 If you continue labeling operation, do steps 5 to 8 of "Labeling recordings" (page 110).

On the remote control

1 Follow steps 1 to 5 "On the remote control" in "Labeling recordings" (page 111).
2 When labeling a track, group, or disc, turn the control repeatedly until the letter which the desired phrase begins with flashes in the display.
3 Press ❚❚ repeatedly to search so that the phrase corresponding to the letter appears.
When the letter appears, turn the control towards ►▶▶❙ until the desired phrase appear one by one.
4 Press ■ while the phrase you want is shown in the display.
5 Press ■ for 2 seconds or more.
6 If you continue labeling operation, do steps 5 to 7 of "On the remote control" in "Labeling recordings" (page 111).

Erasing phrases

On the recorder

1 While the recorder is stopped press the jog dial
2 Turn the dial until "EDIT" appears, and then press to enter.
3 Turn the jog dial until "BankErase" appears, and then press to enter.
4 Turn the jog dial until the phrase you want to erase flashes in the display, and then press to enter.
"Erase!" appears and the phrase is erased.

On the remote control

1 While the recorder is stopped, press DISPLAY for 2 seconds or more.
2 Turn the control repeatedly until "EDIT" flashes in the display, and press ■ to enter.
3 Turn the control repeatedly until "BankErase" appears in the display, and then press ■ to enter.
4 Turn the control repeatedly until the phrase you want to erase appears, and then press ■ to enter.

To cancel the operation

Press CANCEL on the recorder.
Press DISPLAY for 2 seconds or more on the remote control.

Registering tracks or groups as a new group (Group setting)

See the illustrations in Japanese text (page 56).

Do the following procedure to register tracks or groups as a new group. The tracks or groups must, however, be sequential. If the desired tracks or groups are not consecutive, you must move them to make them consecutive before you can register them ("Moving recorded tracks", page 115). The operation of this function depends on whether group mode is on or off.

- **When group mode is ON:**
  Several groups are registered as one group. A track without group setting can be resistered to an existing group.
- **When group mode is OFF:**
  Several tracks are registered as one group.

The following section explains the operation when group mode is on.

On the recorder

1 Press GROUP for 2 seconds or more to turn the group mode on.

2 While the recorder is stopped, press the jog dial.
3 Turn the jog dial until "EDIT" flashes in the display, and then press to enter.
4 Turn the jog dial until "🗀 : Set" flashes in the display, and then press to enter.
5 Turn the jog dial until the number or name of the desired first track flashes in the display, and then press to enter.
This selects the first track of the new group. Even when the group mode is on, track numbers appear according to their order on the disc, not their order within the group.
6 Turn the jog dial until the number or name of the desired last track flashes in the display, and then press to enter.
This selects the last track of the new group.
7 Follow steps 4 to 8 of "Labeling recordings" (page 110) to label a group.

On the remote control

1 Follow the procedure of "To activate the group mode" (page 102) to turn the group mode on.
2 While the recorder is stopped, press DISPLAY for 2 seconds or more.
3 Turn the control repeatedly until "EDIT" flashes in the display, and then press ■ to enter.
4 Turn the control repeatedly until "Group Set" flasehs in the display, and then press ■ to enter.
5 Turn the control repeatedly until the number or name of the desired first track flashes in the display, and then press ■ to enter.
6 Turn the control repeatedly until the number or name of the desired last track flashes in the display, and then press ■ to enter.
7 Follow steps 5 to 7 of "On the remote control" in "Labeling recordings" (page 111) to label a group.

Notes

- In step 5, the first track must be either the first track of an existing group or a track that does not belong to a group.
- When selecting the last track in step 4, make sure the track comes after the one selected in step 5. The last track must be either the last track of an existing group or a track that does not belong to a group.

To release a group setting

See the illustrations in Japanese text (page 57).

On the recorder

1 Press GROUP for 2 seconds or more to turn the group mode on.
2 Select a group that you want to release and check the contents ("Selecting and playing groups (Group Skip Mode)" (page 106)).
3 Flip the bar towards ■.
4 Press the jog dial.
5 Turn the jog dial until "EDIT" flashes in the display, and then press to enter.
5 Turn the jog dial until "🗀 : Release" flashes in the display, and press to enter.
"Release?" and "PushENTER" appear in the display.
6 Press the jog dial to enter.
The group setting of the selected group is released.

On the remote control

1 Follow the procedure of "To activate the group mode" (page 102) to turn the group mode on.
2 Select a group that you want to release and check the contents (see "Selecting and playing groups (Group Skip Mode)" (page 106)).
3 Press ■.
4 Press DISPLAY for 2 seconds or more.
5 Turn the control repeatedly until "EDIT" flashes in the display, and then press ■ to enter.
6 Turn the control repeatedly until "GroupRelease" flasehs in the display, and then press ■ to enter.
7 Press ■ to enter.

Moving recorded tracks

See the illustrations in Japanese text (page 58).

You can change the order of the recorded tracks.

On the recorder

1 While playing the track you want to move, press the jog dial
2 Turn the jog dial until "EDIT" flashes in the display, and then press to enter.

Continued

3 Turn the jog dial until "♫: Move" flashes in the display, and then press to enter.
   The selected track number or name of the group that the selected track belongs flashes in the display. If the track has been labeled, press ⏭ to make the track name appear in the display. Press ⏮ to display the track number again.
4 Turn the jog dial until the destination track number flashes in the display.
5 Press the jog dial to enter.
   The track moves to the selected destination track.

On the remote control

1 Press DISPLAY for 2 seconds or more.
2 Turn the control repeatedly until "EDIT" flashes in the display, and then press ■ to enter.
3 Turn the control repeatedly until "Track Move" flashes in the display, and then press ■ to enter.
4 Turn the control repeatedly to select the destination track number.
5 Press ■ to enter.

To cancel moving

Press CANCEL on the recorder.
Press DISPLAY for 2 seconds or more on the remote control.

Note

If the disc has group settings, turn group mode on before moving a track. Moving a track with group mode off may affect the structure of the group.

Moving a track to a different group

See the illustration in Japanese text (page 59).

On the recorder

1 Press GROUP for 2 seconds or more to turn the group mode on.
2 While playing the track you want to move, press the jog dial.
3 Turn the jog dial until "EDIT" flashes in the display, and then press to enter.
4 Turn the jog dial until "♫: Move" flashes in the display, and then press to enter.
5 Turn the jog dial until the destination group flashes in the display, and then press to enter.
   The group number to which the currently playing track belongs flashes in the middle section of the display. If the group has been labeled, press ⏭ to display the group name. Press ⏮ to return to the group number display.
6 Turn the jog dial until the number of the destination track within the group flashes in the display, and then press to enter.
   The selected track number or name of the group that the selected track belongs flashes in the display. If the track has been labeled, press ⏭ to make the track name appear in the display. Press ⏮ to display the track number again.

On the remote control

1 Follow the procedure of "To activate the group mode" (page 102) to turn the group mode on
2 Press DISPLAY for 2 seconds or more while the track you want to move is playing.
3 Turn the control repeatedly until "EDIT" flashes in the display, and then press ■.
4 Turn the control repeatedly until "Track Move" flashes in the display, and then press ■ to enter.
5 Turn the control repeatedly until the destination group flashes in the display, and then press ■ to enter.
6 Turn the control repeatedly until the number of the destination track within the group flashes in the display, and then press ■ to enter.

To cancel moving

Press CANCEL on the recorder.
Press DISPLAY for 2 seconds or more on the remote control.

Changing the order of a group on a disc (Group move)

See the illustrations on Japanese text (page 60).

On the recorder

1 Press GROUP for 2 seconds or more.
2 While playing a track within a group whose order you want to change, press the jog dial.
3 Turn the jog dial until "EDIT" flashes in the display, and then press to enter.
4 Turn the jog dial until "🗀 : Move" flashes in the display, and then press to enter.
5 Turn the jog dial to select the destination point on the disc, and then press to enter.

On the remote control

1 Follow the procedure of "To activate the group mode" (page 102) to turn the group mode on.
2 While playing a track within a group whose order you want to change, press DISPLAY for 2 seconds or more.
3 Turn the control repeatedly until "EDIT" flashes in the display, and then press ■ to enter.
4 Turn the control repeatedly until "Group Move" appears in the display and then press ■ to enter.
5 Turn the control repeatedly to select a destination point on the disc, and then press ■ to enter.

To cancel moving

Press CANCEL on the recorder.
Press DISPLAY for 2 seconds or more on the remote control.

Adding a track mark

See the illustrations in Japanese text (page 61).

You can add a track mark so that the part after the new track mark is counted as new track. You cannot add a track mark on a track that has been checked-out from your computer.

1 While playing or pausing an MD, press T MARK on the recorder at the point you want to mark.
"MARK ON" appears in the display, and the track mark is added.

To add track marks while recording (except while synchro-recording)

Press T MARK at the point you want to add a track mark. You can use Auto Time Stamp to add track marks automatically at specified intervals (except while digital recording).

Erasing a track mark

See the illustrations in Japanese text (page 62).

When you record with analog (line) input, unnecessary track marks may be recorded where recording level is low. You can erase a track mark to combine the tracks before and after the track mark. You cannot erase a track mark on a track that has been checked-out from your computer.

1 While playing the track with the track mark you want to erase, flip the bar towards ❚❚ to pause.
2 Find the track mark by pressing ⏮ slightly.
"MARK" appears in the display for 2 seconds.
3 Press T MARK to erase the mark.
"MARK OFF" appears in the display. The track mark is erased and the two tracks are combined.

To cancel moving

Press CANCEL on the recorder.
Press DISPLAY for 2 seconds or more on the remote control.

Notes

- When you erase a track mark between the two consecutive tracks that are registered into different groups, the second track is re-registered into the group containing the first track. In addition, if you combine a track that is registered to a group with a track that is not registered to a group (two consecutive tracks), the second track takes the same registration setting as the first track. However, when the group function is on, you can only combine tracks within the selected group.
- You cannot erase track marks according to the system limitations.

Erasing tracks or groups

See the illustration in Japanese text (page 62).

You can quickly erase recorded tracks, all the tracks and data of the MD, or groups. **Note that once a recording has been erased, you cannot retrieve it. Make sure of the contents you are erasing.**

Note

You cannot erase tracks that have been checked out from your computer. You cannot erase a group or an entire disc if it contains a checked-out track. In this case, check in the track or tracks to OpenMG Jukebox.

Erasing a track

On the recorder

1. While playing the track you want to erase, press the jog dial.
2. Turn the jog dial repeatedly until "EDIT" flashes in the display, and then press to enter.
3. Turn the jog dial until "♫ : Erase" flashes in the display, and then press to enter.
   "Erase OK?" and "PushENTER" appear in the display.
4. Press the jog dial to enter.
   The track is erased and the next track starts to play. All the tracks after the one erased are automatically renumbered.

On the remote control

1. While playing the track you want to erase, press DISPLAY for 2 seconds or more.
2. Turn the control repeatedly until "EDIT" flashes in the display, and then press ■ to enter.
3. Turn the control repeatedly until "Track Erase" flashes in the display, and then press ■ to enter.
4. Press ■ to enter.

To erase a part of a track

Add track marks at the beginning and the end of the part you want to erase, then erase the part.

Erasing a whole disc

1. While the recorder is stopped, press the jog dial.
2. Turn the jog dial until "EDIT" flashes in the display, and then press to enter.
3. Turn the jog dial until " : Erase" flashes in the display, and then press to enter.
   "AllErase?" and "PushENTER" appear in the display.
4. Press the jog dial to enter.
   "TOC Edit" flashes in the display, and all the tracks will be erased.
   When erasing is complete, "BLANKDISC" flashes and "00:00" appears in the display.

To erase a group

1. Press GROUP for 2 seconds or more to turn the group mode on.
2. Follow steps 1 and 2 of the procedure described under "On the recorder" in "Selecting and playing desired groups (Group Skip Mode)" (page 106) to check the contents.
3. Flip the bar towards ■.
4. Press the jog dial, turn the dial until "EDIT" flashes in the display, and then press the dial again.
5. Turn the jog dial until " : Erase" flashes in the display, and then press the jog dial.
   The group name, "GP Erase?" and "PushENTER" appear in the display.
6. Press the jog dial again.
   The group is erased.

To cancel moving

Press CANCEL on the recorder.
Press DISPLAY for 2 seconds or more on the remote control.

Setting the alarm (Melody Timer)

See the illustrations in Japanese text (pages 65 and 66).

You can set the alarm to go off in 1 to 99 minutes.
The following sounds can be selected:

"TIMER 1"	Classical music 1
"TIMER 2"	Classical music 2
"TIMER 3"	Beeps

On the recorder

1. While the recorder is stopped, playing, or play-paused, press the jog dial.
2. Turn the jog dial until "M-TIMER" flashes in the display, and press to enter.
3. Turn the jog dial until "ON" flashes in the display, and then press to enter.
   ((•)) lights up in the display and the alarm sound can be selected.
4. Turn the jog dial repeatedly to select the alarm sound.
5. Press the jog dial.
   The alarm sound is set.
6. Turn the jog dial repeatedly to select the elapsed time.
   One rotation of the control changes the elapsed time setting (TIME :) by 1 minute, within a range of 1 to 99 minutes. To change the time quickly, keep turning the jog dial.
7. Press the jog dial.
   Melody timer is set.
   The time remaining until the alarm is shown in the display while the recorder is stopped or play-paused.
   To show the remaining time during play, do steps 1 to 3. After verifying the time, press CANCEL.

On the remote control

1. While the recorder is stopped, playing, or play-paused, press DISPLAY for 2 seconds or more.
2. Turn the control repeatedly until "Melody Timer" flashes in the display, and then press ■ to enter.
3. Turn the control repeatedly until "ON" flashes in the display, and then press ■ to enter.
4. Turn the control repeatedly to select the alarm sound.
5. Press ■ to enter.
   The time is set.
6. Turn the control repeatedly to select the elapsed time.
   To change the time quickly, turn and hold the control repeatedly.
7. Press ■ to enter.
   The Melody timer is set.
   To show the remaining time during play, do steps 1 to 3. After verifying the time, press DISPLAY for 2 seconds or more.

To check the time remaining on the alarm while playing

Follow steps 1 to 3 on the recorder or steps 1 to 4 on the remote control. The remaining time and the selected sound appear in the display. Press CANCEL on the recorder or DISPLAY for 2 seconds or more on the remote control after you checked.

To cancel setting the alarm.

Press CANCEL on the recorder, or press DISPLAY for 2 seconds or more on the remote control.

To cancel Melody Timer.

Select "OFF" in step 2, and then press the jog dial on the recorder or ■ on the remote control.

To stop the alarm.

Press any button.

Notes

- The settings will be lost when you start recording.
- The timer will begin counting down (using the factory setting) from the moment you select "ON" in step 3. The recorder will begin counting down again from the moment you change the elapsed time in step 6.

Storing the settings for individual discs (Personal Disc Memory)

See the illustrations in Japanese text (page 68).

The recorder can store the various settings for each disc, and then retrieve them automatically whenever the disc is inserted. Do the following procedure to store the volume, playback mode, group mode playback, playback order, sound quality (Digital Sound Preset), and playback speed (Speed control) settings for a disc.

On the recorder

1 While the recorder is stopped, playing, or play-paused, press to enter.
2 Turn the jog dial until "PERSONAL" flashes in the display, and then press to enter.
  "Entry?" flashes in the display.
3 Press the jog dial.
  "Entry OK" appears in the display and the disc settings are stored in the recorder.

On the remote control

1 While the recorder is stopped, playing, or play-paused, press DISPLAY for 2 seconds or more.
2 Turn the control repeatedly until "PERSONAL" flashes in the display, and then press ■ to enter.
3 Press ■ to enter.

To erase information

On the recorder
In step 3, turn the jog dial until "Erase?" flashes in the display, and then press to enter.
On the remote control
In step 3, turn the control until "Erase?" flashes in the display, and then press ■ to enter.

Notes

- The settings for up to 20 discs can be stored. Any settings stored afterwards will replace the settings for the least used disc among the 20.
- If you add tracks or perform an editing operation (not including labeling) to a disc whose settings have been stored on the recorder, the disc will no longer be recognizable by the recorder and the stored information will become useless. In this case, store the settings again.
- If you try to erase the disc information of a disc that have never been stored, "No Entry!" appears in the display for 2 seconds.

Turning off the beep sound

See the illustrations in Japanese text (page 70).

Using the recorder, you can turn off the beep sound on the recorder and the remote control. Using the remote control, you can turn off the beep sound on the remote control only. To turn off the beep sound by using remote control, see "Menu functions" (page 95).

1 Press the jog dial.
2 Turn the jog dial until "OPTION" flashes in the display, and then press to enter.
3 Turn the jog dial until "BEEP" flashes in the display, and then press to enter.
4 Turn the jog dial until "MAIN UNIT" or "REMOTE" flashes in the display, and then press to enter.
  MAIN UNIT: when turning off the beep sound on the recorder.
  REMOTE: when turning off the beep sound on the remote control.
5 Turn the jog dial until "BEEP OFF" flashes in the display, and then press to enter.

To turn on the beep sound

Select "BEEP ON" in step 5.

▶Power sources

You can use the recorder on …
– house current.
– a nickel metal hydride rechargeable battery (supplied).
– dry battery (not supplied).

It is preferable to use the recorder on house current when recording for a long time.

Battery life[1)]

When recording[2)] (JEITA[3)])

(Unit: approx. hours)

Batteries	Stereo	LP2	LP4
NH-14WM(A) nickel metal hydride rechatgeable battery[4)]	12	17	21
LR6 (SG) alkaline dry batttery[5)]	12	19	23
NH-14WM(A) nickel metal hydride rechargeable battery[4)] + one LR6 (SG)[5)]	30	43	52

When playing (JEITA[3)])

(Unit: approx. hours)

Batteries	Stereo	LP2	LP4
NH-14WM(A) nickel metal hydride rechatgeable battery[4)]	30	38	42
LR6 (SG) alkaline dry batttery[5)]	44	52	62
NH-14WM(A) nickel metal hydride rechargeable battery[4)] + one LR6 (SG)[5)]	79	95	110

1) The battery life may be shorter due to operating conditions and the temperature of the location.
2) When you record, use a fully charged rechargeable battery.
3) Measured value by the standard of JEITA(Japan Electronics and Information Technology Industries Association).
4) When using a 100% fully charged rechargeable battery.
5) When using a Sony LR6 (SG) "STAMINA" alkaline dry battery (produced in Japan).

When to replace the batteries

When the dry battery or rechargeable battery are weak, flashing ▭ or "LOW BATT" appears in the display. Replace the dry battery or charge the rechargeable battery.
The battery level indicator is approximate. It may be more or less than the indication depending on the operating condition.

Note
Stop the recorder before replacing battery.

Messages

If the recorder cannot carry out an operation, error messages may flash in the display window as follows.

BANK FULL :
The phrase bank is almost full and cannot store the phrase you tried to enter.Delete some phrases from the phrase bank, and then reenter the new phrase.

BLANK DISC :
You tried to play an MD with no recording on it.

BUSY :
You tried to operate the recorder while it was accessing the recorded data. Wait until the message goes out (in rare cases, it may take a few minutes).

Data Save :
The MD recorder is recording information (sounds) from the memory to the disc. Wait until this process is completed. Do not expose the recorder to any physical shock, nor disrupt power supply.

DISC FULL :
There is no more space to record on the MD.

EMPTY :
You tried to erase data in the phrase bank but no data have been recorded.

Hi DC in :
The power supply is higher than required. Use the recommended power sources.

HOLD :
You tried to operate the recorder with the HOLD switch slid in the direction of the arrow. Slide back the switch.

LINE OUT :
You pressed VOL +/– while the "AUDIO OUT" parameter is set to "LINE OUT." Use the jog dial to set the "AUDIO OUT" parameter to "HeadPhone."

LOW BATT :
The rechargeable battery or dry battery is weak. Charge the rechargeable battery or replace the dry battery.

MEM OVER :
You started recording with the recorder receiving continuous vibration. Put the recorder on the stable place and start recording again.

MENU :
You pressed a key on the remote control while selecting a menu on the recorder.

NAME FULL :
You tried to enter more than 200 letters to label a single track or disc.
You tried to enter a total of more than 1700 letters for track or disc names.

NO BATT :
The rechargeable battery is not inserted. Insert a rechargeable battery.

NO COPY :
You tried to make a copy from a disc that is protected by the Serial Copy Management System. You cannot make copies from a digitally connected source which was itself recorded using the digital connection. Use the analog connection instead.

NO DISC :
You tried to play or record with no disc in the recorder.

No Entry! :
You tried to erase a setting in the Personal Disc Memory on a disc that contains no settings in the Personal Disc Memory.

NO SIGNAL :
The recorder could not detect digital input signals. Make sure that the source is connected firmly. If the message appears while recording, flip the bar towards ■ (or press ■ on the remote control) to end recording.

NO TEXT
You tried to use the CD text copying function to copy a track or disc name from a CD that has no text data.

P/B ONLY :
You tried to record or edit on a premastered MD (P/B stands for playback).

PROTECTED :
You tried to record or edit on an MD with its tab in the record-protect position.

REC ERR
The recording is not correctly done. Place the recorder at no vibration and record again.
The disc is dirty (withoil stainor finger prints), scratched, or out of standard. Record again with another disc.

READ ERR
The recorder cannot read the disc information correctly. Reinsert the disc.

SORRY :

You tired to set Digital Sound Preset while the “AUDIO OUT” parameter is set to “LINE OUT.” Use the jog dial to set the “AUDIO OUT” parameter to “HeadPhone.”

You tried to erase a track mark while playing the MD or at the beginning of the first track.

You tried to erase a track mark to combine tracks the recorder cannot combine (a track recorded in different recording mode such as in LP2 and LP4, or a track recorded through analog connection and digital connection)*.

You tried to overwrite a track marrk.

You tried to flip the bar towards ❚❚ (or pess ❚❚ on the remote control), T MARK or REC MODE while synchro-recording or the joint text function is active.

* If you have recorded or erased many times on the same MD, the data of a single track may be scattered throughout the MD. When the data is scattered in groups of less than 12 seconds long, the recorder will not be able to combine the tracks.

TEMP OVER :

Heat has built up in the recorder. Wait until the recorder cools down.

TOC Edit :

The MD recorder is recording information (track start and end position) from the memory to the disc. Wait until this process is completed. Do not expose the recorder to physical shock, nor disrupt power supply.

TOC ERR

The recorder cannot read the disc information correctly. Insert another disc. If it is no problem to erase all the contents of the disc, erase all (page 64).

TR FULL:

You tried to record more than 254 tracks.

TrPROTECT :

You tried to record over or edit a track which has been protected from being recorded over*.

* Track-protected MiniDiscs — Some MD recorders will let you protect individual tracks from being recorded over. This recorder, however, does not offer this feature.

お問い合わせ窓口のご案内

パーソナルオーディオ・カスタマーサポート

Net MD対応機器に関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。

http://www.sony.co.jp/support-pa/

テクニカルインフォメーションセンター

お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合わせください。

電話：048-794-5194

受付時間：月〜金　午前9時から午後6時まで（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：MZ-N1
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日
- ご使用のパソコンの環境
  - ご使用のパソコンの機種名
  - メモリー容量
  - ハードディスクなどの容量
  - OSの種類

http://www.sony.co.jp/

ソニー株式会社

〒141-0001　**東京都品川区北品川** 6-7-35

この説明書は100％古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan